

第3次横手市総合計画 前期基本計画

施策方針書

『時代を受け継ぎ 磨き上げ 凛々しく羽ばたくまち よこて』

(令和8年度～令和10年度)



まちの将来像

時代を受け継ぎ 磨き上げ

凛々しく羽ばたくまち よこて

当市は、豊かな自然に恵まれ、交通の要衝、農作物の宝庫、産業の集積地、文化の交流地点として、確かな歴史を紡いできました。この横手市が、この先も魅力にあふれ、きらりと光る都市であり続けるには、先人達の努力と熱意により切り拓かれ、継承されてきた知恵や技術、文化などを市民一人ひとりが認識し深く感謝するとともに、受け継ぎ、磨き上げ、さらに次代へつないでいくという気概をもつことが大切です。

この将来像には、「横手市にかかわる全ての方が一丸となり、歴史や文化をはじめ、日々の生活の中にもある悠久の宝を誇りに思いながら、今を生きる私たちがさらに磨き上げることに挑戦する。10年先、20年先も存在感を放ち続けながら、力強く凛々しい横手市として羽ばたきたい。」という願いを込めています。

横手市を我々の時代で更により良いまちとし、未来へ発展的につないでいくため、市民や団体、企業など、横手市にかかわる全ての方が一体となり、創意工夫を加えながらまちづくりにチャレンジし、東北の地で凛々しく羽ばたくまちを目指します。

目 次

政策1 みんなが健康で安心して暮らせる環境と、未来につながるまちづくりを進めます

- 施策1-1 こどもが生まれ健やかに育つ環境づくりの推進・・・ 2
- 施策1-2 健康づくりと地域医療の充実・・・ 8
- 施策1-3 高齢者福祉の向上による生きがいづくりの推進・・・ 13
- 施策1-4 安心して生活できる障がい者（児）福祉の充実・・・ 17
- 施策1-5 生活に困難を抱える人への自立支援の推進・・・ 21
- 施策1-6 支え合いによる地域共生社会の実現・・・ 24

政策2 豊かな学びの充実により、生きる力と郷土を愛する心を育みます

- 施策2-1 横手を愛する心と生きる力を育む学校教育の充実・・・ 28
- 施策2-2 安全で安心して学べる教育環境の整備・充実・・・ 32
- 施策2-3 スポーツ環境の整備とスポーツによる地域活性化・・・ 36
- 施策2-4 心を豊かにする生涯学習の推進・・・ 39
- 施策2-5 横手の風土に育まれた伝統文化の継承・・・ 43

政策3 自然環境を守り、安全で安心なまちづくりを進めます

- 施策3-1 安全で暮らしやすい環境の整備・・・ 47
- 施策3-2 豊かな自然環境の保全と安全で安心な生活環境の形成・・・ 50
- 施策3-3 災害に強い体制の整備・・・ 54
- 施策3-4 循環型社会の確立と環境保全の推進・・・ 58

政策4 人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります

- 施策4-1 農林業の持続的発展・・・ 62
- 施策4-2 活気ある商業の振興・・・ 70
- 施策4-3 活力ある工業の振興・・・ 74
- 施策4-4 地域資源を生かした観光・物産振興・・・ 77
- 施策4-5 魅力ある企業の育成と雇用機会の拡大・・・ 81

政策5 地域の特色を生かし安心して暮らし続けられる、リスクに強いまちづくりを進めます

- 施策5-1 雪国の安全・安心な暮らしの実現・・・・・・・・・・ 85
- 施策5-2 道路環境の充実と道路ネットワークの強化・・・・・・・・ 88
- 施策5-3 公共交通の充実と利用の促進・・・・・・・・・・ 91
- 施策5-4 地域特性を生かした快適な居住環境の形成・・・・・・・・ 94
- 施策5-5 安全安心な水道水の供給と快適な生活環境を守る下水の
適正処理・・・・・・・・・・ 97
- 施策5-6 公園環境の魅力向上・・・・・・・・・・ 100

政策6 市民と行政が協力し持続可能な地域づくりを進めます

- 施策6-1 地域コミュニティの活性化・・・・・・・・・・ 104
- 施策6-2 情報共有環境の充実と迅速な情報発信・・・・・・・・ 109
- 施策6-3 市内外との交流連携の推進・・・・・・・・・・ 112

政策7 横手を思い、市の繁栄を実現させる創造的な行政経営を進めます

- 施策7-1 効率的な成果重視の行政経営の推進・・・・・・・・・・ 116
- 施策7-2 健全な財政運営の推進・・・・・・・・・・ 123
- 施策7-3 人材育成と人材活用による組織力の向上・・・・・・・・ 128

第3次横手市総合計画 前期基本計画 施策方針書【政策1】

基本目標

共に支え合い生き生きと暮らせるまちづくり

【政策1】

みんなが健康で安心して暮らせる環境と、未来につながる
まちづくりを進めます《健康福祉》

令和 8年度 施策方針書

施策	★
実施計画	
中事業	

令和 8年2月策定

施策名	0101	こどもが生まれ健やかに育つ環境づくりの推進
-----	------	-----------------------

施策担当課	市民福祉部・子育て支援課	
担当課長職・氏名	課長 大友 幸憲	

1. 基本計画の位置付け

基本構想	①将来像	—	時代を受け継ぎ 磨き上げ 凛々しく羽ばたくまち よこて
	②基本目標	—	共に支え合い生き生きと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	みんなが健康で安心して暮らせる環境と、未来につながるまちづくりを進めます
	④施策	0101	こどもが生まれ健やかに育つ環境づくりの推進
	⑤目指す将来の姿	—	こどもが真ん中にいるという意識が地域に根付き、安心してこどもを産み育てられる環境づくりと、こどもや若者一人ひとりの健やかな成長を地域全体で応援するまちになっています。

2. 取り組み方針

<p>こどもや若者の視点に立ち、こどもにとって最善の利益を第一に考え将来にわたって幸福な状態（ウェルビーイング）で生活できるよう「こどもまんなか社会」の実現を目指し、かつ子育て世代の主体性とニーズを尊重しながら「ここで子育てをしたい」と思える「まち」の実現を目指します。</p>

3. 主要事業の取り組み内容

<ul style="list-style-type: none"> こどもの安心・安全な生活の場として、また保護者が安心して働けるよう学童保育の質の向上に向け関係機関と連携強化を図ります 仕事と育児の両立が安心してできるよう延長保育や病児保育、こども誰でも通園制度等、多様な保育ニーズへ対応します。 ヤングケアラーの調査を毎年実施し変化する家庭状況を継続的に把握し必要なサービスにつなげます 妊娠期を含め各月齢に応じた健康診査で母子の健康と健やかな発育・発達を促すための支援を行います 横手市ひきこもり地域支援センターにおいて、こども・若者世代に対し、不登校から卒業後まで切れ目ない支援を行います 安心して産み育てることができるよう保育料の無償化、児童手当の支給、医療費の助成、不妊治療に対する助成を継続します
--

4. 指標の目標と推移

No	指標名 ※下段：指標の取得方法	種別	単位		令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
1	「こども子育て施策」に対する市民満足度 ※まちづくりアンケート（ウェイト平均の100点換算）	成果	点	目標値			72.6	72.6	72.6
				実績値					
2	乳幼児健康診査受診率 ※年間の健診受診者数/年間の健診対象者数	成果	%	目標値			100	100	100
				実績値					
3	学童保育の待機児童数 ※年度初めの学童利用希望者における各所の待機児童者数の総数	成果	人	目標値			0	0	0
				実績値					
				目標値					
				実績値					
				目標値					
				実績値					

5. 施策内事業費の推移

(単位：千円)

		令和 6年度(決算)	令和 7年度(予算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)	令和10年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	2,587,054	3,218,275	3,204,386	3,244,548	3,236,944
	(b) 県支出金	1,321,626	1,423,886	1,470,232	1,440,387	1,426,934
	(c) 地方債	37,900	403,200	45,500	58,500	51,700
	(d) 使用料・手数料	0	1	0	0	0
	(e) その他特定財源	143,806	90,515	74,449	74,265	74,265
	(f) 一般財源	2,195,167	2,379,462	2,340,877	2,360,756	2,350,464
事業費の小計		6,285,553	7,515,339	7,135,444	7,178,456	7,140,307

6. 施策の達成状況 (令和 7年度施策評価結果[評価対象：令和 6年度]より)

①成果の分析	指標の実績では、目標数値に届かないものもあるが、実施してきた様々な子育て支援世代に対する支援策は、ニーズを把握しながら変更を加えつつ実施し、着実に成果を上げてきている。方針として、R7年度からの保育料の完全無償化を決定した他、放課後児童クラブの整備計画に基づく整備、子育て支援拠点施設の再編の決定など、次年度以降の子育て支援策、経済的な支援を考慮した方向性を定めた。
②施策の有効性	少子化が進む中、国は「こども未来戦略」を策定し、今後喫緊に「子育て世代の所得向上・経済支援」と「消化対策」を両輪で進めていく方針を打ち出している。当該施策は、国の施策と連動しつつ、ここ横手市でも安心して子どもを産み育てられる環境整備が重要との観点から、施策の必要性、有効性が高いと考える。
③施策内事業の妥当性	施策内の事業は、既存事業の拡大や新たな事業の実施など多様であり、事務の簡素化を考慮し一部統合した事業もある。現在の事業構成は妥当であると考えられる。
④実施可能な改善内容	企業や地域社会における子育て支援の重要性に関する啓発活動、また他自治体との施策の差別化について検討が引き続き必要である。

7. 令和 8年度に向けた施策の方向性 (令和 7年度施策評価結果[評価対象：令和 6年度]より)

成果向上	★		
成果維持			
	コスト拡大	コスト維持	コスト縮減

★=目指す方向

方向性の理由	安心して子どもを産み育てられる環境をさらに充実させるため、現行の施策を向上させ、国の動向、また子育て世代の声を聞きながら、事業の中身については地域の実情も踏まえた見直しや最適化を図り、新規事業の検討を行っていく。
--------	--

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大＝↑、維持＝→、縮小＝↓、ゼロコスト・休廃止＝×)

No	予算科目・大事業コード				令和 6年度 (決算額)	令和 7年度 (予算額)	令和 8年度 (計画額)	令和 9年度 (計画額)	令和10年度 (計画額)	事業の 方向性		総合 評価点
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源	
	実施計画事業名称											
	担当課名											
1	03	01	06	01	749,998	761,649	757,139	738,524	723,753	→	→	90
	福祉医療事業											
	国保年金課				447,784	445,394	436,705	461,787	460,469			
2	03	01	07	03	0	400	400	400	400	-	-	-
	国民健康保険出産貸付事業											
	国保年金課				0	0	0	0	0			
3	03	02	01	01	64,905	39,599	19,374	12,863	12,663	→	→	81
	児童福祉総務費											
	子育て支援課				51,394	39,119	18,921	12,448	12,248			
4	03	02	01	02	4,822	8,998	521	528	6,402	→	→	-
	子ども・子育て会議費											
	子育て支援課				4,822	8,998	521	528	6,402			
5	03	02	01	03	236	1,420	1,482	1,420	1,420	→	→	90
	児童虐待防止ネットワーク事業											
	子育て支援課				104	611	627	611	611			
6	03	02	01	04	8,640	9,900	9,000	9,900	9,900	→	→	70
	出産祝金支給事業											
	子育て支援課				8,640	9,900	9,000	9,900	9,900			
7	03	02	01	05	6,400	11,985	12,819	11,985	11,985	→	→	84
	ひとり親家庭支援事業											
	子育て支援課				6,362	9,390	10,223	9,390	9,390			
8	03	02	01	06	289,925	330,315	327,310	322,680	322,680	-	-	-
	児童扶養手当給付費											
	子育て支援課				193,328	220,210	218,207	215,120	215,120			
9	03	02	01	07	317	400	400	400	400	→	→	-
	特別児童扶養手当事務費											
	子育て支援課				0	0	0	0	0			
10	03	02	01	08	5,295	5,785	6,335	5,785	5,785	→	→	77
	ファミリー・サポート・センター事業											
	子育て支援課				1,765	1,995	2,419	1,995	1,995			
11	03	02	01	09	17,155	30,726	21,601	20,117	20,516	→	→	91
	家庭児童相談事業											
	子育て支援課				16,851	13,303	3,593	7,972	8,371			
12	03	02	01	10	5,163	5,565	5,715	5,565	5,565	→	→	90
	利用者支援事業											
	子育て支援課				871	928	1,149	928	928			

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大＝↑、維持＝→、縮小＝↓、ゼロコスト・休廃止＝×)

No	予算科目・大事業コード				令和 6年度 (決算額)	令和 7年度 (予算額)	令和 8年度 (計画額)	令和 9年度 (計画額)	令和10年度 (計画額)	事業の 方向性		総合 評価点					
	款	項	目	事業						コスト	活動						
	実施計画事業名称												事業費	事業費	事業費	事業費	事業費
	担当課名												一般財源	一般財源	一般財源	一般財源	一般財源
13	03	02	01	11	37,231	33,938	37,463	34,388	34,388	↓	→	73					
	地域子育て支援拠点事業																
14	03	02	01	12	400,971	494,532	628,131	618,196	618,196	↑	↑	80					
	放課後児童健全育成事業																
15	03	02	01	14	125,127	203,135	38,900	42,550	22,970	→	→	89					
	保育所等支援事業																
16	03	02	01	15	5,920	5,877	9,021	7,877	7,877	→	→	75					
	児童福祉施設整備資金償還支援事業																
17	03	02	01	17	46,118	392,020	62,487	128,687	114,280	→	→	81					
	保育所整備助成事業																
18	03	02	01	19	0	20,000	0	0	0	-	-	-					
	保育所整備貸付事業																
19	03	02	02	01	975,915	1,340,400	1,239,650	1,204,565	1,204,565	→	→	-					
	児童手当給付費																
20	03	02	03	01	2,958,364	3,270,068	3,425,117	3,398,642	3,398,642	→	→	90					
	子どものための教育・保育給付事業																
21	03	02	03	02	0	1,066	1,066	1,066	1,066	→	→	-					
	助産施設入所措置費																
22	03	02	04	01	41,602	41,602	0	0	0	→	→	-					
	母子生活支援施設サンハイム費																
23	03	02	05	01	47,845	50,182	36,245	31,536	31,536	→	→	-					
	児童館費																
24	03	02	06	01	83,100	150,000	38,175	0	0	↑	↑	84					
	学童保育施設整備事業																

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大＝↑、維持＝→、縮小＝↓、ゼロコスト・休廃止＝×)

No	予算科目・大事業コード				令和 6年度 (決算額)	令和 7年度 (予算額)	令和 8年度 (計画額)	令和 9年度 (計画額)	令和10年度 (計画額)	事業の 方向性		総合 評価点
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源	
	実施計画事業名称											
	担当課名											
25	03	02	07	02	215,035	156,519	0	0	0	↓	↓	78
	保育所費											
26	04	01	01	05	6,003	8,775	10,700	14,447	14,447	↑	→	83
	不妊治療費助成事業											
27	04	01	02	04	2,578	4,423	4,344	4,423	4,423	→	→	89
	歯科保健事業											
28	04	01	04	01	35,391	47,278	50,683	50,360	50,360	-	-	-
	妊産婦保健総務費											
29	04	01	04	02	12,969	18,263	20,549	21,027	21,027	-	-	-
	乳幼児保健総務費											
30	03	02	04	01	0	5,631	17,371	6,116	6,116	-	-	-
	母子生活支援施設措置費 (他市分)											
31	03	02	01	16	13,831	18,769	22,176	24,051	24,051	→	→	81
	保育対策総合支援事業											
32	03	01	01	97	8,361	0	0	0	0	→	→	81
	地方創生臨時交付金事業											
33	03	02	01	19	0	0	0	0	0	-	-	-
	子育て世帯生活支援特別給付金給付事業											
34	04	01	04	03	37,939	43,496	42,233	43,496	43,496	↑	→	90
	妊婦のための支援給付交付金事業											
35	04	01	04	04	2,560	2,623	2,619	2,623	2,623	→	↑	79
	母子保健事業											
36	03	02	01	98	0	0	3,000	0	0	-	-	-
	乳児等のための支援給付事業											
					0	0	375	0	0			

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大=↑、維持=→、縮小=↓、ゼロコスト・休廃止=×)

No	予算科目・大事業コード				令和 6年度 (決算額)	令和 7年度 (予算額)	令和 8年度 (計画額)	令和 9年度 (計画額)	令和10年度 (計画額)	事業の方向性		総合 評価点					
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源		事業費 一般財源	事業費 一般財源	事業費 一般財源	コスト	活動
	実施計画事業名称																
	担当課名																
37	03	02	03	04	0	0	125	125,000	125,000	-	-	-					
	子育てのための施設等利用 給付事業																
					0	0	32	31,250	31,250								
	子育て支援課																
38	03	02	03	05	0	0	101,829	104,161	104,161	-	-	-					
	保育料等支援事業																
					0	0	37,624	39,956	39,956								
	子育て支援課																
39	03	02	01	18	0	0	21,323	25,582	30,118	-	-	-					
	産前・産後ファミリー応援 事業																
					0	0	21,323	25,582	30,118								
	子育て支援課																
40	03	02	01	19	0	0	144,676	144,676	144,676	-	-	-					
	地域子ども・子育て支援事 業																
					0	0	47,630	47,630	47,630								
	子育て支援課																
41	03	02	01	13	0	0	2,491	2,000	2,000	-	-	-					
	児童遊園維持管理費																
					0	0	2,491	2,000	2,000								
	子育て支援課																
42	03	02	01	20	0	0	12,974	12,820	12,820	-	-	-					
	子育て世帯生活安定・自立 促進事業																
					0	0	3,550	3,396	3,396								
	子育て支援課																
43					0	0	0	0	0	-	-	-					
	ひとり親家庭等生活支援事 業																
					0	0	0	0	0								
	子育て支援課																

令和 8年度 施策方針書

施策	★
実施計画	
中事業	

令和 8年2月策定

施策名	0102	健康づくりと地域医療の充実
------------	------	---------------

施策担当課	市民福祉部・健康推進課	
担当課長職・氏名	健康推進課長 鈴木 英宗	

1. 基本計画の位置付け

基本構想	①将来像	-	時代を受け継ぎ 磨き上げ 凛々しく羽ばたくまち よこて
	②基本目標	-	共に支え合い生き生きと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	みんなが健康で安心して暮らせる環境と、未来につながるまちづくりを進めます
	④施策	0102	健康づくりと地域医療の充実
	⑤目指す将来の姿	-	市民が心身ともに健やかで充実した生活が送れ、それを支える医療・保健の社会基盤が整っています。

2. 取り組み方針

市民が生き生きと日々生活できるよう心と体の健康づくりへの意識を高め、若い世代からの健康診断や保健指導、メンタルヘルス対策を強化し、生活習慣病の予防や心の健康づくりを図ります。これにより、医療費の適正化を図りながら、安定した医療保険制度の運営を行います。また、患者ニーズを踏まえた質の高い医療の提供に向け、人手不足の解消や経営の健全化・安定化を図ります。

3. 主要事業の取り組み内容

市民が生き生きと日々生活できるように、健康づくりを保健、栄養、運動が一体となって総合的かつ効果的に支援するため、

- ①一次予防を重視した個人の健康づくりの把握と推進
- ②生活習慣病予防の取り組み
- ③がん検診の検診率向上
- ④食生活からの健康づくり
- ⑤健康の駅事業の充実

を実践します。

4. 指標の目標と推移

No	指標名 ※下段：指標の取得方法	種別	単位		令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
1	「保健活動・健康づくりの推進」に対する市民満足度	成果	点	目標値			74.1	74.1	74.1
	※まちづくりアンケート（ウェイト平均の100点換算値）			実績値					
2	特定健康診査受診率	成果	%	目標値			47.6	48.4	49.2
	※年間健診受診者数／年間健診対象者数			実績値					
3	「健康の駅」利用者数	成果	人	目標値			4,790	5,110	5,430
	※健康の駅利用者数プロジェクト参加者数の合計			実績値					
				目標値					
				実績値					
				目標値					
				実績値					
				目標値					
				実績値					

5. 施策内事業費の推移

(単位：千円)

		令和 6年度(決算)	令和 7年度(予算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)	令和10年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	161,911	87,035	90,314	89,815	89,535
	(b) 県支出金	535,099	556,736	589,909	588,741	588,741
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	17,242	15,901	17,259	18,105	16,285
	(e) その他特定財源	157,485	166,044	162,847	164,972	164,972
	(f) 一般財源	3,020,365	3,196,982	3,203,842	3,265,473	3,203,207
事業費の小計		3,892,102	4,022,698	4,064,171	4,127,106	4,062,740

6. 施策の達成状況 (令和 7年度施策評価結果[評価対象：令和 6年度]より)

①成果の分析	今後これまでの事業をより確実に実施するとともに、新しい社会に対応した事業を進めていく。
②施策の有効性	誰もがいつまでも健康に暮らせるため、また、医療・介護などの社会負担を軽減できる有効な施策である。
③施策内事業の妥当性	事業内容や実施方法など、更に事業効果を上げるための検討は必要であるが、必要不可欠な事業であり妥当である。
④実施可能な改善内容	研究結果などを基にした医師の医学的知見やデータが示す根拠を活用し、直接的な成果だけではなく波及的な成果までも視野に事業の組み立てを行う。

7. 令和 8年度に向けた施策の方向性 (令和 7年度施策評価結果[評価対象：令和 6年度]より)

成果向上			
成果維持		★	
	コスト拡大	コスト維持	コスト縮減

★=目指す方向

方向性の理由	事業内容や実施方法など、更に事業効果を上げるための検討を行う。また、事業の効果や施策の成果はすぐに表れるものでなく、長期的・継続的取り組みが必要と考える。
--------	---

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大＝↑、維持＝→、縮小＝↓、ゼロコスト・休廃止＝×)

No	予算科目・大事業コード				令和 6年度 (決算額)	令和 7年度 (予算額)	令和 8年度 (計画額)	令和 9年度 (計画額)	令和10年度 (計画額)	事業の 方向性		総合 評価点					
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源		事業費 一般財源	事業費 一般財源	事業費 一般財源	コスト	活動
	実施計画事業名称																
	担当課名																
1	03	01	06	02	321	800	800	800	800	-	-	-					
	高額介護合算療養費																
2	03	01	07	01	761,250	778,413	684,565	684,565	684,565	-	-	-					
	国民健康保険特別会計繰出金																
3	03	01	07	02	0	125	125	125	125	-	-	-					
	国民健康保険高額療養費貸付事業																
4	04	01	01	02	26,823	30,251	83,882	30,034	30,034	→	→	94					
	保健衛生事業																
5	04	01	01	97	53,147	53,288	0	53,438	0	→	→	90					
	医療体制整備事業																
6	04	01	02	01	293,199	332,652	257,428	335,627	335,627	→	→	93					
	予防接種事業																
7	04	01	02	03	12,429	13,226	14,212	13,061	13,061	→	→	84					
	結核予防事業																
8	04	01	02	05	2,026	2,294	2,327	2,372	2,372	→	→	86					
	生活習慣病予防健診事業																
9	04	01	03	98	4,661	0	0	0	0	→	→	88					
	健康よこて21計画推進費																
10	04	01	03	03	28,201	26,432	31,234	22,900	23,770	→	→	78					
	健康の駅推進事業																
11	04	01	03	07	3,204	4,341	4,276	3,557	3,557	→	↑	88					
	栄養改善事業																
12	04	01	03	08	980	980	980	980	980	-	-	-					
	献血推進費																

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大＝↑、維持＝→、縮小＝↓、ゼロコスト・休廃止＝×)

No	予算科目・大事業コード				令和 6年度 (決算額)	令和 7年度 (予算額)	令和 8年度 (計画額)	令和 9年度 (計画額)	令和10年度 (計画額)	事業の 方向性		総合 評価点					
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源		事業費 一般財源	事業費 一般財源	事業費 一般財源	コスト	活動
	実施計画事業名称																
	担当課名																
13	04	01	03	09	2,546	1,638	1,630	1,638	1,638	→	→	88					
	心の健康づくり費																
14	04	01	03	04	1,412	1,489	1,355	1,617	1,617	→	→	88					
	健康教育費																
15	04	01	03	05	1,810	181	131	181	181	→	→	87					
	健康相談費																
16	04	01	03	01	7,046	7,936	8,017	7,709	7,709	→	↑	80					
	健康診査費																
17	04	01	03	06	40	88	90	94	94	→	→	97					
	訪問指導事業																
18	04	01	03	02	136,884	148,789	153,576	151,485	149,236	→	→	87					
	がん検診事業																
19	04	01	05	01	1,473,154	1,487,600	1,680,231	1,680,231	1,680,231	-	-	-					
	後期高齢者医療制度費																
20	04	01	06	01	66,992	82,564	78,239	82,887	82,887	→	→	90					
	特定健康診査事業																
21	04	01	06	02	3,087	3,528	3,596	3,381	3,381	→	→	93					
	保健指導事業																
22	04	01	06	03	43,742	50,618	47,833	50,989	50,989	→	→	90					
	後期高齢者健診事業																
23	04	01	09	01	714	1,012	875	1,071	881	→	→	-					
	診療所費																
24	04	01	10	01	49,196	57,310	59,118	52,923	43,564	→	→	90					
	保健センター費																

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大=↑、維持=→、縮小=↓、ゼロコスト・休廃止=×)

No	予算科目・大事業コード				令和 6年度 (決算額)	令和 7年度 (予算額)	令和 8年度 (計画額)	令和 9年度 (計画額)	令和10年度 (計画額)	事業の 方向性		総合 評価点					
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源		事業費 一般財源	事業費 一般財源	事業費 一般財源	コスト	活動
	実施計画事業名称																
	担当課名																
25	04	04	01	01	886,158	877,225	889,796	889,796	889,796	→	→	—					
	病院事業繰出金																
	財政課				886,158	877,225	889,796	889,796	889,796								
26	04	01	12	01	1,792	0	0	0	0	×	×	90					
	緊急医療対策事業																
	健康推進課				1	0	0	0	0								
27	04	01	01	98	0	0	0	0	0	-	-	—					
	地方創生臨時交付金事業																
	健康推進課				0	0	0	0	0								
28	04	01	02	02	31,288	59,918	59,855	55,645	55,645	→	→	87					
	任意予防接種助成事業																
	健康推進課				31,288	59,918	59,855	55,645	55,645								

令和 8年度 施策方針書

施策	★
実施計画	
中事業	

令和 8年2月策定

施策名	0103	高齢者福祉の向上による生きがいつくりの推進
------------	------	-----------------------

施策担当課	市民福祉部・まるごと福祉課	
担当課長職・氏名	課長 阿部 淳子	

1. 基本計画の位置付け

基本構想	①将来像	-	時代を受け継ぎ 磨き上げ 凛々しく羽ばたくまち よこて
	②基本目標	-	共に支え合い生き生きと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	みんなが健康で安心して暮らせる環境と、未来につながるまちづくりを進めます
	④施策	0103	高齢者福祉の向上による生きがいつくりの推進
	⑤目指す将来の姿	-	一人ひとりが住み慣れた地域で自分らしく安心して暮らすことができ、高齢者のニーズや状況に対応した切れ目のないサービスを提供しています。

2. 取り組み方針

高齢になっても心身ともに健康で生きがいを感じながら生活できるよう介護予防・健康づくり・生活支援に取り組むとともに、介護が必要になったときでも自分らしく安心して暮らせるよう、地域包括ケアシステムの更なる充実と強化を図ります。

3. 主要事業の取り組み内容

- ・老人クラブ等の団体活動支援や、個人の興味関心にあわせた介護予防教室の開催などにより、高齢者の自主的な取り組みを促進します。
- ・認知症についての周知啓発や、当事者の社会参加支援などにより、認知症の人が地域で安心して暮らせる環境を整備します。
- ・地域での生活支援に関するボランティア活動等により、元気な高齢者が支え手として活躍できる体制を整備します。
- ・移動が困難な高齢者等に対して、在宅医療と在宅介護サービスを一体的に提供できる体制を整備します。
- ・介護サービスの質と量を確保するため、介護人材の確保と育成や、介護保険事業の適正な運営に取り組みます。
- ・高齢者等が安心して在宅生活を送れるよう、除雪や見守り等の日常生活支援を行います。

4. 指標の目標と推移

No	指標名 ※下段：指標の取得方法	種別	単位		令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
1	「高齢者福祉の推進」に対する市民満足度	成果	点	目標値			68.9	68.9	68.9
	※まちづくりアンケート（ウェイト平均の100点換算値）			実績値					
2	認知症サポーター養成講座受講者数（累計）	成果	人	目標値			14,100	14,500	14,900
	※認知症サポーター養成研修受講者数			実績値					
				目標値					
				実績値					
				目標値					
				実績値					
				目標値					
				実績値					

5. 施策内事業費の推移

(単位：千円)

		令和 6年度(決算)	令和 7年度(予算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)	令和10年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	105,347	103,179	85,981	77,865	77,865
	(b) 県支出金	79,394	38,052	31,369	31,478	31,478
	(c) 地方債	0	6,600	4,000	0	0
	(d) 使用料・手数料	8	12	0	0	0
	(e) その他特定財源	51,904	52,158	46,976	53,845	53,845
	(f) 一般財源	2,443,165	2,610,771	2,631,318	2,646,855	2,646,764
事業費の小計		2,679,818	2,810,772	2,799,644	2,810,043	2,809,952

6. 施策の達成状況 (令和 7年度施策評価結果[評価対象：令和 6年度]より)

①成果の分析	指標から見た実績は概ね目標を達成している。
②施策の有効性	高齢者が自立し生きがいを持って生活していくための施策であり、市民の認知度も高く有効な施策である。
③施策内事業の妥当性	第9期介護保険・高齢者福祉事業計画に基づいた事業であり、妥当である。
④実施可能な改善内容	支える側・支えられる側という関係を越えて、高齢になっても役割を持って互いに支え合い、住み慣れた地域において自分らしく暮らせる体制づくり目指し、常に改善に向けた検討を行う。

7. 令和 8年度に向けた施策の方向性 (令和 7年度施策評価結果[評価対象：令和 6年度]より)

成果向上		★	
成果維持			
	コスト拡大	コスト維持	コスト縮減

★=目指す方向

方向性の理由	第9期介護保険・高齢者福祉事業計画に基づき、コストを維持しながらサービス内容の見直し・充実を図る。
--------	---

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大＝↑、維持＝→、縮小＝↓、ゼロコスト・休廃止＝×)

No	予算科目・大事業コード				令和 6年度 (決算額)	令和 7年度 (予算額)	令和 8年度 (計画額)	令和 9年度 (計画額)	令和10年度 (計画額)	事業の 方向性		総合 評価点
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源	
	実施計画事業名称											
	担当課名											
1	03	01	04	02	16,328	19,956	18,075	19,956	19,956	-	-	-
	地域福祉総務費											
	まるごと福祉課				16,328	19,956	18,075	19,956	19,956			
2	03	01	04	03	240,212	274,605	257,518	272,342	272,342	→	→	82
	高齢者福祉施設入所措置事業											
	まるごと福祉課				208,414	242,459	220,527	238,981	238,981			
3	03	01	04	04	37,024	54,896	47,517	54,896	54,896	→	→	83
	日常生活支援事業											
	まるごと福祉課				17,675	30,435	31,158	30,435	30,435			
4	03	01	04	05	4,914	5,504	5,504	5,504	5,504	→	→	69
	老人クラブ支援事業											
	まるごと福祉課				3,084	3,674	3,783	3,674	3,674			
5	03	01	04	06	5,515	6,142	6,696	6,142	6,142	→	→	75
	はり・きゅう・マッサージ助成事業											
	まるごと福祉課				1,141	669	1,289	669	669			
6	03	01	04	09	3,196	3,709	4,276	3,709	3,709	→	→	78
	市民後見推進事業											
	まるごと福祉課				1,696	2,209	2,776	2,209	2,209			
7	03	01	04	95	2,402	0	0	0	0	-	-	-
	社会福祉施設整備助成事業											
	まるごと福祉課				2,402	0	0	0	0			
8	03	01	05	01	10,839	17,359	16,951	11,152	11,152	→	→	65
	高齢者生活支援ハウス費											
	健康の丘居宅支援センター森の家				6,835	6,820	9,333	6,740	6,740			
9	03	01	05	02	1,755	3,981	0	0	0	-	-	-
	老人憩の家費											
	まるごと福祉課				1,755	3,981	0	0	0			
10	03	01	05	02	585	669	669	669	669	-	-	-
	生きがい交流広場費											
	大森市民サービス課				585	669	669	669	669			
11	03	01	05	03	2,745	2,745	2,745	2,745	2,745	-	-	-
	生きがい創作館費											
	大森市民サービス課				2,745	2,745	2,745	2,745	2,745			
12	03	01	05	04	1,700	1,579	1,579	1,670	1,579	-	-	-
	健康福祉センター費											
	十文字市民サービス課				1,700	1,579	1,579	1,670	1,579			

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大＝↑、維持＝→、縮小＝↓、ゼロコスト・休廃止＝×)

No	予算科目・大事業コード				令和 6年度 (決算額)	令和 7年度 (予算額)	令和 8年度 (計画額)	令和 9年度 (計画額)	令和10年度 (計画額)	事業の 方向性		総合 評価点					
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源		事業費 一般財源	事業費 一般財源	事業費 一般財源	コスト	活動
	実施計画事業名称																
	担当課名																
13	03	01	05	05	18,345	3,863	3,863	3,863	3,863	→	→	66					
	地域福祉センター費																
	大雄市民サービス課				18,345	3,863	3,863	3,863	3,863								
14	03	01	05	06	7,987	7,576	7,528	7,576	7,576	→	→	73					
	老人福祉センターゆうらく館費																
	山内市民サービス課				7,987	7,576	7,528	7,576	7,576								
15	03	01	05	07	7,944	9,237	9,237	9,237	9,237	-	-	-					
	軽費老人ホーム費																
	まるごと福祉課				7,944	9,237	9,237	9,237	9,237								
16	03	01	08	01	1,869,628	1,931,035	1,945,358	1,945,358	1,945,358	-	-	-					
	介護保険特別会計繰出金																
	まるごと福祉課				1,781,101	1,841,448	1,857,763	1,857,763	1,857,763								
17	03	01	08	02	337	600	600	600	600	→	→	77					
	利用者負担額減免措置事業																
	まるごと福祉課				85	150	150	150	150								
18	03	04	01	01	5,530	5,812	11,375	4,471	4,471	-	-	-					
	国民年金事務費																
	国保年金課				0	616	690	365	365								
19	06	01	09	11	903	1,304	0	0	0	-	-	-					
	農家高齢者創作館費																
	平鹿地域課				895	1,291	0	0	0								
20	03	01	05	08	362,447	402,588	460,153	460,153	460,153	-	-	-					
	市営介護サービス事業特別会計繰出金																
	まるごと福祉課				362,447	402,588	460,153	460,153	460,153								
21	03	01	04	98	14,000	0	0	0	0	→	→	75					
	地域介護・福祉空間整備等施設整備事業																
	まるごと福祉課				0	0	0	0	0								
22	03	01	04	97	65,482	11,820	0	0	0	×	×	68					
	地方創生臨時交付金事業																
	まるごと福祉課				1	5,910	0	0	0								
23	03	01	04	96	0	45,792	0	0	0	-	-	-					
	高齢者等在宅医療・介護サービス提供体制整備事業																
	まるごと福祉課				0	22,896	0	0	0								

令和 8年度 施策方針書

施策	★
実施計画	
中事業	

令和 8年2月策定

施策名	0104	安心して生活できる障がい者（児）福祉の充実
------------	------	-----------------------

施策担当課	市民福祉部・社会福祉課	
担当課長職・氏名	課長 佐々木 恵	

1. 基本計画の位置付け

基本構想	①将来像	-	時代を受け継ぎ 磨き上げ 凛々しく羽ばたくまち よこて
	②基本目標	-	共に支え合い生き生きと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	みんなが健康で安心して暮らせる環境と、未来につながるまちづくりを進めます
	④施策	0104	安心して生活できる障がい者（児）福祉の充実
	⑤目指す将来の姿	-	障がい者（児）が社会参加し、自立した生活を送るための支援が充実し、差別や偏見のないまちになっています。

2. 取り組み方針

障がいの特性や程度にあった細かなニーズや各ライフステージに応じた切れ目ない支援を受けることができる体制の整備を行います。

こどもから大人まで、障がい特性や障がい者（児）について正しい知識を学ぶことで、障がいのある人もない人もすべての人にやさしい「福祉のまちづくり」を推進します。

広報など従来の情報提供の方法に加えて、新たな情報提供手段の体制を整備するとともに、各種相談体制を強化します。

3. 主要事業の取り組み内容

- ・障がい福祉サービス事業所の地域格差が解消されるよう、事業所の開設相談時に働きかけを行います。
- ・基幹相談支援センターや相談支援事業所と連携し、情報やサービスの提供を適切に進め、障がい者が必要とするサービスを受けながら、暮らしたい場所で自立した生活が出来るよう支援していきます。

4. 指標の目標と推移

No	指標名	※下段：指標の取得方法	種別	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
1	「障がい者（児）福祉の向上」に対する市民満足度	※まちづくりアンケート（ウェイト平均の100点換算）後期計画変更	成果	点	目標値		71.7	71.7	71.7
					実績値				
2	日常生活用具給付等事業の利用件数	※年間の利用件数	成果	件	目標値		2,400	2,400	2,400
					実績値				
					目標値				
					実績値				
					目標値				
					実績値				
					目標値				
					実績値				

5. 施策内事業費の推移

(単位：千円)

		令和 6年度(決算)	令和 7年度(予算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)	令和10年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	1,345,147	1,371,001	1,413,352	1,411,749	1,411,749
	(b) 県支出金	651,847	670,983	693,800	692,947	692,947
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	136	196	107	107	107
	(f) 一般財源	712,109	742,947	762,955	760,501	763,823
事業費の小計		2,709,239	2,785,127	2,870,214	2,865,304	2,868,626

6. 施策の達成状況 (令和 7年度施策評価結果[評価対象：令和 6年度]より)

①成果の分析	障害者総合支援法で義務つけられた事業で制度の適正な運用を行っており、サービス利用者の増加による障がい者の自立支援としての成果も出ている。
②施策の有効性	障がい児者が住み慣れた地域で安全安心に生活しながら、社会参加による充実した自己実現ができるよう支援する上で有効性のある施策である。
③施策内事業の妥当性	事業の実施方法などより効果的な事業にするための検討は必要であるが、法令に基づく必要不可欠な事業であり、妥当性がある。
④実施可能な改善内容	障がい児を支える取り組みの充実や共生社会を支える生活拠点等の整備を推進する。

7. 令和 8年度に向けた施策の方向性 (令和 7年度施策評価結果[評価対象：令和 6年度]より)

成果向上		★	
成果維持			
	コスト拡大	コスト維持	コスト縮減

★=目指す方向

方向性の理由	よこてハートフルプランに基づき、コストは維持しながら更に事業効果を上げるためのサービス等の内容の見直しや充実を図る。
--------	--

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大＝↑、維持＝→、縮小＝↓、ゼロコスト・休廃止＝×)

No	予算科目・大事業コード				令和 6年度 (決算額)	令和 7年度 (予算額)	令和 8年度 (計画額)	令和 9年度 (計画額)	令和10年度 (計画額)	事業の 方向性		総合 評価点
	款	項	目	事業						コスト	活動	
	実施計画事業名称				事業費	事業費	事業費	事業費	事業費			
	担当課名				一般財源	一般財源	一般財源	一般財源	一般財源			
1	03	01	02	01	37,723	5,510	5,445	5,510	5,510	-	-	-
	障がい者自立支援給付総務費 社会福祉課											
2	03	01	02	02	263	330	322	330	330	-	-	-
	自立支援協議会費 社会福祉課											
3	03	01	02	03	2,422,533	2,501,312	2,610,912	2,607,451	2,607,451	-	-	-
	自立支援給付費 社会福祉課											
4	03	01	02	04	65,314	76,125	77,417	77,464	77,464	↑	→	84
	地域生活支援事業 社会福祉課											
5	03	01	02	05	16,845	22,000	20,500	20,500	20,500	→	→	93
	補装具費支給事業 社会福祉課											
6	03	01	02	06	86,945	93,121	79,082	79,082	79,082	→	→	93
	自立支援医療費給付事業 社会福祉課											
7	03	01	02	07	477	624	487	487	487	→	→	87
	すこやか療育支援事業 社会福祉課											
8	03	01	03	01	6,803	10,024	7,193	10,024	10,024	-	-	-
	障がい者福祉総務費 社会福祉課											
9	03	01	03	02	53,187	63,880	57,383	57,383	57,383	→	→	93
	特別障がい者手当等給付事業 社会福祉課											
10	03	01	03	03	36	398	398	398	398	→	→	90
	難聴児補聴器購入費助成事業 社会福祉課											
11	03	01	03	04	0	174	174	174	174	→	→	-
	小児慢性特定疾患児日常生活用具給付事業 社会福祉課											
12	03	01	02	08	5,630	5,630	6,501	6,501	6,501	↑	↑	87
	地域活動支援センター事業 社会福祉課											

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大=↑、維持=→、縮小=↓、ゼロコスト・休廃止=×)

No	予算科目・大事業コード				令和 6年度 (決算額)	令和 7年度 (予算額)	令和 8年度 (計画額)	令和 9年度 (計画額)	令和10年度 (計画額)	事業の 方向性		総合 評価点
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源	
	実施計画事業名称											
	担当課名											
13	03	01	03	05	0	3,322	4,400	0	3,322	→	→	—
	障がい者計画等策定事業											
	社会福祉課				0	3,322	4,400	0	3,322			
14	03	01	03	97	194	1,000	0	0	0	→	→	—
	障害者支援施設管理費											
	社会福祉課				194	1,000	0	0	0			
15	03	01	03	98	13,289	1,677	0	0	0	→	→	78
	地方創生臨時交付金事業											
	社会福祉課				6,645	839	0	0	0			

令和 8年度 施策方針書

施策	★
実施計画	
中事業	

令和 8年2月策定

施策名	0105	生活に困難を抱える人への自立支援の推進
------------	------	---------------------

施策担当課	市民福祉部・社会福祉課	
担当課長職・氏名	課長 佐々木 恵	

1. 基本計画の位置付け

基本構想	①将来像	-	時代を受け継ぎ 磨き上げ 凛々しく羽ばたくまち よこて
	②基本目標	-	共に支え合い生き生きと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	みんなが健康で安心して暮らせる環境と、未来につながるまちづくりを進めます
	④施策	0105	生活に困難を抱える人への自立支援の推進
	⑤目指す将来の姿	-	生活に困難を抱える人が個々の状況やニーズに応じた支援を受け、安定した住まいや生活基盤を確保し、自立した生活を送っています。

2. 取り組み方針

生活困窮者の抱える問題が多様化している状況を踏まえ、生活困窮者自立支援制度と生活保護制度での手厚い支援を継続し、早期の自立支援に取り組みます。また、セーフティネットの役割を果たし続けるため、「適正な生活保護の実施、運営組織の実施体制の充実」を進めます。

低所得の高齢者や障がい者等の住宅確保要配慮者が抱える住宅需要への対応施策を展開し、市民が生き生きと暮らせる良好な住生活の環境整備を計画的に進めます。

3. 主要事業の取り組み内容

- ・最低生活保障の適正な実施と安定的な生活の確保と自立に向けて、相談・指導・支援体制を充実します。
- ・ひきこもり等、多様なニーズに対し、総合的な支援体制を強化します。アセスメント強化によるニーズ把握と個々の状況に応じた支援を地域の関連団体と連携し、効果的に実施します。
- ・市営住宅等の住民生活の安定と社会福祉の増進を果たせるよう適切に運用します。
- ・住宅資源を有効に活用し、住宅確保要配慮者が安心して暮らせる住環境を整えます。
- ・地域の福祉関連団体と連携を進め、住宅所有者も安心して賃貸できるよう相互理解を醸成します。

4. 指標の目標と推移

No	指標名	※下段：指標の取得方法	種別	単位		令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
1	「低所得者の自立支援の推進」に対する市民満足度	※まちづくりアンケート（ウェイト平均の100点換算）後期計画変更	成果	点	目標値			67.9	67.9	67.9
					実績値					
2	生活保護から就労により自立した世帯数	※年度末実績	成果	世帯	目標値			10	10	10
					実績値					
					目標値					
					実績値					
					目標値					
					実績値					
					目標値					
					実績値					

5. 施策内事業費の推移

(単位：千円)

		令和 6年度(決算)	令和 7年度(予算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)	令和10年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	1,291,670	834,069	864,382	852,831	850,356
	(b) 県支出金	28,051	10,000	7,053	6,400	6,400
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	90,266	89,255	90,323	92,182	91,649
	(e) その他特定財源	2,140	4,687	4,749	3,209	3,209
	(f) 一般財源	345,910	360,051	314,925	324,979	318,730
事業費の小計		1,758,037	1,298,062	1,281,432	1,279,601	1,270,344

6. 施策の達成状況 (令和 7年度施策評価結果[評価対象：令和 6年度]より)

①成果の分析	指標の実績では目標に届かないものもあるが、生活保護法等法令に基づいた事業で、制度の適正な運用により着実に成果は出ている。
②施策の有効性	憲法が定める健康で文化的な最低限度の生活を保障し、自立した生活ができるよう援助する上で有効性のある施策である。
③施策内事業の妥当性	事業の実施方法など更に効果を上げるための検討は必要であるが、法令に基づく必要不可欠な事業であり、妥当性がある。
④実施可能な改善内容	生活に困窮する原因を明確にし、課題解決のために適正な支援プランを提供することで、複雑化・重症化予防につながる。

7. 令和 8年度に向けた施策の方向性 (令和 7年度施策評価結果[評価対象：令和 6年度]より)

成果向上			
成果維持		★	
	コスト拡大	コスト維持	コスト縮減

★=目指す方向

方向性の理由	<p>横手市ふくしの窓口はじめ様々な相談窓口や関係者との連携により、包括的な相談体制を引き続き強化していく。</p> <p>公営住宅に関しては、市民ニーズとして新しい物件や交通の便の良い物件を好む傾向があり、入居希望者の状況に変化がみられることから、その在り方については検討が必要である。</p>
--------	--

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大=↑、維持=→、縮小=↓、ゼロコスト・休廃止=×)

No	予算科目・大事業コード				令和 6年度 (決算額)	令和 7年度 (予算額)	令和 8年度 (計画額)	令和 9年度 (計画額)	令和10年度 (計画額)	事業の 方向性		総合 評価点					
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源		事業費 一般財源	事業費 一般財源	事業費 一般財源	コスト	活動
	実施計画事業名称																
	担当課名																
1	03	01	01	05	838	562	562	651	651	-	-	-					
	行旅病者扶助費																
	社会福祉課				345	262	262	435	435								
2	03	03	01	01	66,563	32,168	34,549	32,552	32,552	-	-	-					
	生活保護総務費																
	社会福祉課				53,416	16,615	18,379	17,032	17,032								
3	03	03	01	02	25,879	30,064	33,829	34,544	34,544	→	→	84					
	生活困窮者自立促進支援事業																
	社会福祉課				5,667	8,491	9,564	13,053	13,053								
4	03	03	02	01	1,001,819	1,017,000	1,026,500	1,044,000	1,044,000	-	-	-					
	一般扶助費																
	社会福祉課				238,435	244,250	245,850	264,600	264,600								
5	03	03	02	02	42,147	45,591	44,154	43,529	43,529	-	-	-					
	施設事務費																
	社会福祉課				10,537	11,398	11,039	10,609	10,609								
6	08	05	02	01	98,039	107,177	94,772	95,175	94,642	→	→	76					
	公営住宅管理費																
	建築住宅課				6,126	13,535	0	0	0								
7	08	05	02	02	0	0	47,066	29,150	20,426	↑	↑	72					
	公営住宅整備費																
	建築住宅課				0	0	29,831	19,250	13,001								
8	03	01	01	07	522,752	65,500	0	0	0	×	×	86					
	低所得者生活支援事業																
	社会福祉課				31,384	65,500	0	0	0								

令和 8年度 施策方針書

施策	★
実施計画	
中事業	

令和 8年2月策定

施策名	0106	支え合いによる地域共生社会の実現
------------	------	------------------

施策担当課	市民福祉部・まるごと福祉課	
担当課長職・氏名	課長 阿部 淳子	

1. 基本計画の位置付け

基本構想	①将来像	-	時代を受け継ぎ 磨き上げ 凛々しく羽ばたくまち よこて
	②基本目標	-	共に支え合い生き生きと暮らせるまちづくり
基本計画	③政策	01	みんなが健康で安心して暮らせる環境と、未来につながるまちづくりを進めます
	④施策	0106	支え合いによる地域共生社会の実現
	⑤目指す将来の姿	-	地域住民がお互いに助け合い、地域の良さを生かしながら明るく安心して暮らすことができ、生きがいや役割を持って誰もが支えあうことのできるまちになっています。

2. 取り組み方針

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域全体の支え合いのもと、高齢者、障がい者、子どもなど全ての市民が「支える側」「支えられる側」という関係を越えて、一人ひとりが生きがいや役割をもって助け合いながら暮らしていくことのできる「地域共生社会」の実現につなげていきます。

3. 主要事業の取り組み内容

- ・福祉団体の活動支援や、関係者のネットワークづくり等により、関係機関等が協働して支え合い活動を行えるよう働きかけます。
- ・社会的に孤立する要援護者に対し、相談に来るのを待つのではなく、こちらから出向いて必要な支援を行います。
- ・既存の相談支援や地域づくり支援の取り組みを活かし、地域住民の複雑化、複合化した福祉課題に対する包括的な相談支援体制を強化します。
- ・民生児童委員や福祉ボランティア等、地域福祉を担う人材を確保、育成します。
- ・長寿を祝い、長年の社会貢献に感謝する取り組みを通して、地域における敬老意識を醸成します。

4. 指標の目標と推移

No	指標名 ※下段：指標の取得方法	種別	単位		令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
1	「地域福祉の向上」に対する市民満足度	成果	点	目標値			70.8	70.8	70.8
	※まちづくりアンケート（ウェイト平均の100点換算）後期計画変更			実績値					
2	ボランティア団体への登録団体数（社協福祉協議会登録）	成果	団体	目標値			65	66	67
	※横手市社会福祉協議会への登録団体数			実績値					
				目標値					
				実績値					
				目標値					
				実績値					
				目標値					
				実績値					

5. 施策内事業費の推移

(単位：千円)

		令和 6年度(決算)	令和 7年度(予算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)	令和10年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	2,250	32,432	33,568	32,689	32,689
	(b) 県支出金	20,329	32,396	32,297	31,668	31,548
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	2,277	8,146	7,479	7,479	7,479
	(f) 一般財源	139,304	170,073	163,141	151,960	151,992
事業費の小計		164,160	243,047	236,485	223,796	223,708

6. 施策の達成状況 (令和 7年度施策評価結果[評価対象：令和 6年度]より)

①成果の分析	指標から見た実績は目標に達していないものの、適正に取り組んでおり一定の成果が見られる。
②施策の有効性	高齢化率の高い当市では、公助だけでは地域での生活を維持していくことが非常に難しく、地域における自助、共助を進める上で有効な施策である。
③施策内事業の妥当性	第3次横手市地域福祉計画・地域福祉活動計画及び第9期高齢者福祉事業計画に基づいた事業であり、妥当である。
④実施可能な改善内容	地域での見守りなどの活動を担う人材の確保が困難になってきており、地域や関係機関と連携を図りながら、担い手の育成と確保に取り組んで行く必要がある。

7. 令和 8年度に向けた施策の方向性 (令和 7年度施策評価結果[評価対象：令和 6年度]より)

成果向上		★	
成果維持			
	コスト拡大	コスト維持	コスト縮減

★=目指す方向

方向性の理由	第4次横手市地域福祉計画・地域福祉活動計画及び第9期高齢者福祉計画に基づき事業を着実に進めながら、地域の課題解決に向けて取り組んで行く。
--------	--

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大=↑、維持=→、縮小=↓、ゼロコスト・休廃止=×)

No	予算科目・大事業コード				令和 6年度 (決算額)	令和 7年度 (予算額)	令和 8年度 (計画額)	令和 9年度 (計画額)	令和10年度 (計画額)	事業の 方向性		総合 評価点
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源	
	実施計画事業名称											
	担当課名											
1	03	01	01	02	27,704	35,701	35,958	28,544	28,296	→	→	80
	社会福祉総務費											
2	03	01	01	03	33,862	34,505	33,983	33,945	34,505	→	→	97
	民生委員児童委員事業											
3	03	01	01	04	285	344	344	344	344	-	-	-
	戦没者追悼式関係費											
4	03	01	04	07	947	3,300	3,300	3,300	3,300	→	→	69
	敬老事業											
5	03	01	04	08	4,757	7,076	7,522	7,076	7,076	→	→	69
	長寿祝金支給事業											
6	03	01	01	06	0	8,781	3,196	400	0	-	-	-
	特別弔慰金支給費											
7	03	01	04	10	91,782	98,249	77,000	77,000	77,000	→	→	84
	地域福祉推進事業											
8	03	01	04	12	0	55,091	53,696	51,938	51,938	-	-	-
	重層的支援体制整備事業											
9	03	01	04	14	0	0	21,486	21,249	21,249	-	-	-
	孤独・孤立対策推進事業											
					0	0	11,236	10,999	10,999			

第3次横手市総合計画 前期基本計画 施策方針書【政策2】

基本目標

豊かに学びみんなが輝くまちづくり

【政策2】

豊かな学びの充実により、生きる力と郷土を愛する心を
育みます 《教育文化》

令和 8年度 施策方針書

施策	★
実施計画	
中事業	

令和 8年2月策定

施策名	0201	横手を愛する心と生きる力を育む学校教育の充実
------------	------	------------------------

施策担当課	教育指導部・教育指導課
担当課長職・氏名	課長 高橋 夏子

1. 基本計画の位置付け

基本構想	①将来像	-	時代を受け継ぎ 磨き上げ 凛々しく羽ばたくまち よこて
	②基本目標	-	豊かに学びみんなが輝くまちづくり
基本計画	③政策	02	豊かな学びの充実により、生きる力と郷土を愛する心を育みます
	④施策	0201	横手を愛する心と生きる力を育む学校教育の充実
	⑤目指す将来の姿	-	ふるさと横手を愛し、学ぶ意欲にあふれた児童生徒が、一人ひとりの個性を発揮しながら健やかに成長しています。

2. 取り組み方針

<p>地域に根ざした教育活動を通して、横手を愛する心と生きる力を育み、学校教育の充実を図ります。</p>
--

3. 主要事業の取り組み内容

<ul style="list-style-type: none"> ・教育長訪問及び指導主事訪問において、「自ら学ぶ力」や「ことばの力」の育成等に係る指導・助言を行う。 ・指導主事や教育・保育アドバイザーによる幼児教育施設訪問、幼小合同研修会の実施等により、幼児教育と小学校の円滑な接続を推進する。 ・教育支援センターにおける学習支援や相談、こども・若者相談窓口におけるカウンセリング、学校と関係機関の連携等により個々に応じた支援を行う。 ・学校給食に地場産品を積極的に活用した旬の味覚や郷土食の提供、栄養教諭による食に関する指導など、食育推進のための取組を工夫する。

4. 指標の目標と推移

No	指標名 ※下段：指標の取得方法	種別	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
1	「学校教育の充実」に対する市民満足度	成果	点	目標値		70.4	70.4	70.4
	※まちづくりアンケート（ウェイト平均の100点換算）			実績値				
2	学校が楽しいと思う児童生徒の割合	成果	%	目標値		97	97	97
	※秋田県学習状況調査（小4から中2生対象）			実績値				
3	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う児童生徒の割合	成果	%	目標値		93	93	93
	※全国学力・学習状況調査（小6、中3生対象）			実績値				
				目標値				
				実績値				
				目標値				
				実績値				
				目標値				
				実績値				

5. 施策内事業費の推移

(単位：千円)

		令和 6年度(決算)	令和 7年度(予算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)	令和10年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	3,950	5,689	5,795	5,795	5,795
	(b) 県支出金	3,372	4,225	1,966	1,966	1,966
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	26,861	25,826	25,925	22,464	23,077
	(f) 一般財源	312,529	321,301	300,109	305,787	308,174
事業費の小計		346,712	357,041	333,795	336,012	339,012

6. 施策の達成状況 (令和 7年度施策評価結果[評価対象：令和 6年度]より)

①成果の分析	指標については、目標を下回る項目があるものの、概ね達成している。「学校が楽しい」と思う児童生徒は93.5%と目標に近付いているが、不登校出現率については、小中学校全体で3.5と高く、今後も学校や関係機関と連携した取組が必要である。ICTの授業活用については、児童生徒アンケート及び教員の指導力調査ともにはば目標を達成している。学校給食における地場産野菜(15品目)使用率は32.1%(前年比+6.9)となったが、今後も関係課・農家会と連携を図り、地場産使用率の向上に努めていく。
②施策の有効性	本市の児童生徒に対して、学校規模や学習環境、地域性、家庭環境・状況による差が生じないよう、平等かつ公平な教育を保障するとともに、個々のニーズに対応するという観点からも有効性が認められる。今後も各事業の趣旨を踏まえて、関連しながら継続的・計画的に推進すべきものとする。
③施策内事業の妥当性	児童生徒の実態や多様な教育的ニーズに応じた施策が講じられている。各事業の推進に当たっては、社会情勢の激しい変化に柔軟に、かつ迅速に対応していくことが求められる。児童生徒を取り巻く環境の変化を認識しながら、目的を明確にすること、成果と課題をしっかりと検証し、改善の方向や方策を明確にして運営に当たることにより、事業の妥当性は、より高まるものとする。
④実施可能な改善内容	各事業のそれぞれの目的を達成することにより施策全体の成果となって表れることから、継続して実施すべきものとする。学習指導要領を踏まえて、学習内容や教育環境も大きく変化している。情報を取捨選択・精査し、児童生徒が自立的に生き、社会形成に参画するための資質・能力の育成を図る施策を講じていく必要がある。

7. 令和 8年度に向けた施策の方向性 (令和 7年度施策評価結果[評価対象：令和 6年度]より)

成果向上		★	
成果維持			
	コスト拡大	コスト維持	コスト縮減

★=目指す方向

方向性の理由	少子化による児童生徒数の減少、多様な家庭環境など、個々の教育的ニーズに応じた教育・支援の充実が一層求められている。一方、学習指導要領の趣旨を踏まえ、未来社会を切り拓くための生きる力(資質・能力)を育む組織的・計画的な教育活動の推進や、GIGAスクール構想によってICT導入が加速された中での情報活用能力の育成なども課題となっている。教育指導部の施策分野は、社会が変化しても厳しい時代に向き合いながら将来の横手市の未来を築いていく人を育てるといった観点からも重要な分野である。横手を愛する心と生きる力を育む教育を目指し、安全で、安心して楽しく学ぶことができる教育環境の整備と社会の変化に対応した市全体の共通した学校教育の充実を図る在り方を探っていく必要があると考える。
--------	---

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大＝↑、維持＝→、縮小＝↓、ゼロコスト・休廃止＝×)

No	予算科目・大事業コード				令和 6年度 (決算額)	令和 7年度 (予算額)	令和 8年度 (計画額)	令和 9年度 (計画額)	令和10年度 (計画額)	事業の 方向性		総合 評価点
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源	
	実施計画事業名称											
	担当課名											
1	06	01	03	09	1,210	1,648	1,622	2,068	2,068	→	→	77
	食育・地産地消推進事業											
	食農推進課				1,210	1,648	1,622	2,068	2,068			
2	10	01	01	01	2,968	3,290	3,223	3,245	3,245	-	-	-
	教育委員会費											
	教育総務課				2,968	3,290	3,223	3,245	3,245			
3	10	01	02	03	4,759	5,417	5,010	5,325	5,325	-	-	-
	事務局総務費											
	教育総務課				4,759	5,417	5,010	5,325	5,325			
4	10	01	02	04	51,302	52,449	58,486	59,669	59,669	→	→	79
	外国語教育・国際理解教育 推進事業											
	教育指導課				44,770	45,873	51,910	53,093	53,093			
5	10	01	02	06	18,314	24,129	28,648	28,078	31,078	-	-	-
	奨学金貸付事業											
	学校教育課				154	6,971	11,294	14,183	16,570			
6	10	01	02	08	37,611	39,923	39,378	39,669	39,669	→	→	81
	学校保健事業											
	学校教育課				35,442	37,831	37,383	37,676	37,676			
7	10	01	03	01	11,134	11,254	11,315	11,315	11,315	→	→	75
	教育指導支援事業											
	教育指導課				11,134	11,254	11,315	11,315	11,315			
8	10	01	03	02	12,102	15,756	16,961	16,961	16,961	→	↑	79
	教育相談・教育支援センタ ー事業											
	教育指導課				12,102	15,756	16,961	16,961	16,961			
9	10	01	03	04	3,992	4,018	4,685	4,685	4,685	→	→	79
	就学前言語障害児指導事業											
	教育指導課				3,992	4,018	4,685	4,685	4,685			
10	10	01	03	03	117,372	122,614	127,905	127,905	127,905	→	→	89
	学校生活サポート事業											
	教育指導課				116,617	121,216	126,035	126,035	126,035			
11	10	01	03	07	106	126	126	126	126	→	→	85
	いじめ防止等対策事業											
	教育指導課				106	126	126	126	126			
12	10	01	03	05	150	156	154	156	156	→	↑	79
	次世代ものづくり人材育成 事業											
	教育指導課				150	156	154	156	156			

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大＝↑、維持＝→、縮小＝↓、ゼロコスト・休廃止＝×)

No	予算科目・大事業コード				令和 6年度 (決算額)	令和 7年度 (予算額)	令和 8年度 (計画額)	令和 9年度 (計画額)	令和10年度 (計画額)	事業の 方向性		総合 評価点					
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源		事業費 一般財源	事業費 一般財源	事業費 一般財源	コスト	活動
	実施計画事業名称																
	担当課名																
13	10	01	03	08	1,999	2,491	2,020	2,491	2,491	→	↑	89					
	教育研究推進事業																
	教育指導課				1,999	2,491	2,020	2,491	2,491								
14	10	01	03	06	482	482	485	482	482	→	→	73					
	スクールガード・リーダー 配置事業																
	教育指導課				388	386	389	386	386								
15	10	02	02	98	33,886	0	0	0	0	-	-	-					
	小学校指導要領改訂経費																
	教育指導課				33,886	0	0	0	0								
16	10	02	02	02	413	592	660	720	720	→	→	89					
	小学校通学補助事業																
	学校教育課				413	592	660	720	720								
17	10	02	02	04	16,111	19,608	9,640	9,640	9,640	-	-	-					
	小学校要保護及び準要保護 就学援助費																
	学校教育課				16,093	19,528	9,592	9,592	9,592								
18	10	02	02	03	4,560	6,343	2,294	2,294	2,294	-	-	-					
	小学校特別支援教育就学奨 励費																
	学校教育課				2,329	3,172	1,148	1,148	1,148								
19	10	03	02	03	14,072	20,863	12,885	12,885	12,885	-	-	-					
	中学校要保護及び準要保護 就学援助費																
	学校教育課				14,032	20,713	12,782	12,782	12,782								
20	10	03	02	02	3,808	4,685	2,915	2,915	2,915	-	-	-					
	中学校特別支援教育就学奨 励費																
	学校教育課				2,147	2,397	1,506	1,506	1,506								
21	10	03	02	98	0	16,105	0	0	0	×	-	-					
	中学校指導要領改訂費																
	教育指導課				0	16,105	0	0	0								
22	10	01	02	11	5,037	5,092	5,383	5,383	5,383	→	→	83					
	幼児教育推進事業																
	教育指導課				2,514	2,361	2,294	2,294	2,294								

令和 8年度 施策方針書

施策	★
実施計画	
中事業	

令和 8年2月策定

施策名	0202	安全で安心して学べる教育環境の整備・充実
------------	------	----------------------

施策担当課	教育総務部・教育総務課
担当課長職・氏名	教育総務課長 木村 智子

1. 基本計画の位置付け

基本構想	①将来像	-	時代を受け継ぎ 磨き上げ 凛々しく羽ばたくまち よこて
	②基本目標	-	豊かに学びみんなが輝くまちづくり
基本計画	③政策	02	豊かな学びの充実により、生きる力と郷土を愛する心を育みます
	④施策	0202	安全で安心して学べる教育環境の整備・充実
	⑤目指す将来の姿	-	未来の横手市を担う児童生徒が、新しい時代を生き抜く力を身に付け、個性を生かして多様な人々と協働しながら学習することができる、安全で安心な教育環境が整備されています。

2. 取り組み方針

新しい時代の学びに対応し、安全で安心して学べる質の高い教育環境を整備するとともに、学校施設等の適正な管理を行います。

3. 主要事業の取り組み内容

- ・吉田小学校大規模改修工事（R7-8）、小中学校校舎LED化事業を計画的に進める。
- ・校務DXを推進するとともに、更新後の一人1台端末運用開始及び小中学校公衆無線LAN機器更新により学校ICT環境の充実を図る。
- ・スクールバスの適正な運行管理と車両の計画的な更新を行う。
- ・学校給食センターの調理及び配送業務の民間委託を継続し、徹底した衛生管理のもと給食を提供するとともに、施設の適正な維持管理や厨房機器、設備の計画的な更新を行う。

4. 指標の目標と推移

No	指標名 ※下段：指標の取得方法	種別	単位		令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
1	「教育環境の整備」に対する市民満足度	成果	点	目標値			72.2	72.2	72.2
	※まちづくりアンケート（ウェイト平均の100点換算）			実績値					
2	特別教室用に無線LANが利用可能な大型提示装置が6台以上ある学校数	活動	校	目標値			3	5	10
	※学校に聞き取りまたは担当者の現地調査			実績値					
				目標値					
				実績値					
				目標値					
				実績値					
				目標値					
				実績値					

5. 施策内事業費の推移

(単位：千円)

		令和 6年度(決算)	令和 7年度(予算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)	令和10年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	32,780	1,445	121,445	94,765	48,105
	(b) 県支出金	5,500	182,526	500	0	0
	(c) 地方債	989,700	750,000	300,700	293,400	128,400
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	304,793	283,468	119,081	52,072	51,994
	(f) 一般財源	1,325,949	1,520,307	1,639,981	1,737,593	1,685,987
事業費の小計		2,658,722	2,737,746	2,181,707	2,177,830	1,914,486

6. 施策の達成状況 (令和 7年度施策評価結果[評価対象：令和 6年度]より)

①成果の分析	指標1「教育環境の整備」に対する市民満足度は、年々上昇しているものの目標を達成していない。指標2「長寿命化対策事業実施数」は、令和6年度に朝倉小学校の大規模改修工事が完了したことから目標を達成した。引き続き、通学路の安全確保や学校給食の安全・安心な提供なども含め、施策の方針に則り、適正に取り組みを進めていく。
②施策の有効性	児童生徒数の減少、校舎ほか教育関連施設、設備、備品の老朽化や経年劣化が進む中で児童生徒の安全・安心な教育環境が求められており、充実した学びの環境確保のため有効な施策である。
③施策内事業の妥当性	質の高い教育環境を目指し、児童生徒を取り巻く多様なニーズに対応した事業構成となっている。学校施設等の適正な配置と管理が行われることにより、子どもたちが多くの時間を過ごす学習・生活の場が、十分な安全性、防災性、防犯性、衛生的な環境を維持される。また、地域から学校施設に求められる機能を整理していくことで、より事業の妥当性につながると考える。
④実施可能な改善内容	教育環境の計画的な維持保全や更新、長寿命化対策を図るとともに、学校ICT環境など新しい時代の学びに対応していくことが求められている。引き続き、予算の平準化やトータルコスト縮減に留意し、持続可能な教育環境の整備を進めていく。

7. 令和 8年度に向けた施策の方向性 (令和 7年度施策評価結果[評価対象：令和 6年度]より)

成果向上	★		
成果維持			
	コスト拡大	コスト維持	コスト縮減

★=目指す方向

方向性の理由	<p>本施策にかかる各事業の充実を図りながら、歩みを止めることなく安全で安心な教育環境の整備に取り組む。令和8年度は主に下記のように各事業を予定している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長寿命化にかかる小学校大規模改修工事（吉田小R 7～8）。 ・学校ICT環境については、GIGAスクール構想第2期により更新した1人1台端末の運用が開始される。小中学校の無線LAN機器や図書システム、教職員校務用端末の更新も控えており、着実に準備を進めていく。 ・スクールバスについては、適正な運行管理及び車両管理を行うとともに、車両の計画的な更新を実施する。 ・学校給食については、調理・配送業務の民間委託を継続しつつ、老朽化が進む厨房機器・設備の更新を計画的に行いながら、徹底した衛生管理のもと学校給食を提供する。
--------	---

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大＝↑、維持＝→、縮小＝↓、ゼロコスト・休廃止＝×)

No	予算科目・大事業コード				令和 6年度 (決算額)	令和 7年度 (予算額)	令和 8年度 (計画額)	令和 9年度 (計画額)	令和10年度 (計画額)	事業の 方向性		総合 評価点
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源	
	実施計画事業名称											
	担当課名											
1	10	01	02	05	216,564	245,504	266,579	227,973	227,973	→	→	77
	スクールバス運行管理費											
	学校教育課				183,364	206,604	219,179	227,973	227,973			
2	10	01	02	09	113,041	123,331	204,922	223,156	220,288	-	-	-
	小中学校 I T 環境管理経費											
	教育総務課				110,268	123,331	204,922	223,156	220,288			
3	10	05	02	98	48	48	0	0	0	-	-	-
	学校給食センター運営委員会費											
	学校給食課				48	48	0	0	0			
4	10	05	02	02	435,684	456,292	504,304	495,507	449,284	→	→	80
	学校給食事業											
	学校給食課				131,181	173,184	332,471	443,735	397,590			
5	10	05	02	03	234,289	239,654	288,029	310,932	326,545	-	-	-
	学校給食調理等業務委託費											
	学校給食課				234,289	239,654	288,029	310,932	326,545			
6	10	05	02	04	10,752	12,522	17,358	12,656	12,748	-	-	-
	学校給食センター維持補修費											
	学校給食課				10,752	12,522	17,358	12,656	12,748			
7	10	02	01	02	315,932	361,692	377,926	269,099	269,099	→	→	83
	小学校管理費											
	教育総務課				315,432	361,692	339,185	269,099	269,099			
8	10	02	02	01	2,112	2,170	2,170	2,202	2,202	-	-	-
	小学校教育振興総務費											
	教育総務課				1,313	1,295	1,295	1,327	1,327			
9	10	02	02	05	1,029	2,090	1,660	1,995	1,995	→	→	75
	小学校各種大会派遣事業											
	学校教育課				1,029	2,090	1,660	1,995	1,995			
10	10	02	02	01	16,107	14,987	14,946	14,992	14,992	-	-	-
	小学校教育振興費											
	教育総務課				16,107	14,987	14,946	14,992	14,992			
11	10	03	02	04	12,162	13,060	17,110	17,280	17,280	→	→	75
	中学校各種大会派遣事業											
	学校教育課				12,162	13,060	17,110	17,280	17,280			
12	11	03	01	01	0	1	1	1	1	-	-	-
	学校施設災害復旧事業											
	教育総務課				0	1	1	1	1			

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大=↑、維持=→、縮小=↓、ゼロコスト・休廃止=×)

No	予算科目・大事業コード				令和 6年度 (決算額)	令和 7年度 (予算額)	令和 8年度 (計画額)	令和 9年度 (計画額)	令和10年度 (計画額)	事業の方向性		総合 評価点					
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源		事業費 一般財源	事業費 一般財源	事業費 一般財源	コスト	活動
	実施計画事業名称																
	担当課名																
13	10	03	01	02	212,812	187,181	186,073	170,980	170,980	→	→	80					
	中学校管理費																
	教育総務課				184,322	186,821	185,713	170,680	170,680								
14	中学校教育振興総務費				1,297	1,350	0	0	0	-	-	-					
	教育総務課				779	780	0	0	0								
15	10	03	02	01	10,388	10,335	11,685	11,702	11,702	-	-	-					
	中学校教育振興費																
	教育総務課				10,388	10,335	11,115	11,132	11,132								
16	10	02	01	03	926,340	586,863	0	0	0	→	→	78					
	小学校長寿命化対策事業																
	教育総務課				58,540	29,463	0	0	0								
17	10	01	02	98	103,237	0	0	0	0	↓	→	61					
	小中学校空調設備整備事業																
	教育総務課				47,388	0	0	0	0								
18	10	01	02	10	46,928	480,161	281,447	419,355	189,397	→	→	78					
	小中学校環境整備事業																
	教育総務課				8,587	144,435	0	32,635	14,337								
19	10	02	01	03	0	505	505	0	0	-	-	-					
	水と緑の森づくり税関係補助事業																
	教育総務課				0	5	5	0	0								
20	10	01	02	12	0	0	6,992	0	0	-	-	-					
	小中学校獣害防止対策事業																
	教育総務課				0	0	6,992	0	0								

令和 8 年度 施策方針書

施策	★
実施計画	
中事業	

令和 8年2月策定

施策名	0203	スポーツ環境の整備とスポーツによる地域活性化
------------	------	------------------------

施策担当課	教育総務部・スポーツ振興課	
担当課長職・氏名	スポーツ振興課長 進藤 倫啓	

1. 基本計画の位置付け

基本構想	①将来像	-	時代を受け継ぎ 磨き上げ 凛々しく羽ばたくまち よこて
	②基本目標	-	豊かに学びみんなが輝くまちづくり
基本計画	③政策	02	豊かな学びの充実により、生きる力と郷土を愛する心を育みます
	④施策	0203	スポーツ環境の整備とスポーツによる地域活性化
	⑤目指す将来の姿	-	市民一人ひとりが様々な楽しみ方でスポーツに親しみ、多くの人との交流を通して地域が活性化しています。

2. 取り組み方針

年齢や性別、障がいの有無などにかかわらず、すべての市民が気軽、かつ安全にスポーツを楽しむことができる環境を整えとともに、関係団体や市民の参画のもとでスポーツの魅力を発信し、交流人口の拡大や地域経済の活性化を含めたスポーツによるまちづくりを推進します。

3. 主要事業の取り組み内容

①個々のライフスタイルやライフステージに応じた活動ができるよう、スポーツ推進委員やスポーツ団体等と連携を図りながら支援する。アスリートの育成や支援に加え、指導者の指導技術や資質の向上、人材の発掘などにつながる取り組みを支援する。
 ②横手市立体育館の開館準備を着実に進める。市内スポーツ施設の安全管理の徹底と、利用者の利便性が高まるよう、管理運営にかかる業務の平準化や効率的な運用につながる取り組みを推進する。
 ③横手市立体育館や赤坂総合公園野球場、十文字陸上競技場、天下森スキー場など、魅力あるスポーツ施設を、市の観光資源や食文化などと合わせて最大限に活用し、交流人口の拡大や地域の活性化を図る。

4. 指標の目標と推移

No	指標名 ※下段：指標の取得方法	種別	単位		令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
1	「スポーツ環境の整備とスポーツによる地域活性化」に対する市民満足度 ※まちづくりアンケート（ウェイト平均の100点換算）	成果	点	目標値			69.4	69.4	69.4
				実績値					
2	週1回以上スポーツをする成人の割合 ※秋田県スポーツ実態調査	成果	%	目標値			47	49	51
				実績値					
3	人口1人あたりのスポーツ施設利用者数（年間） ※総年間利用者数÷年度末人口	成果	回	目標値			4.7	4.7	4.8
				実績値					
4	スポーツ合宿の延べ滞在者数（年間） ※滞在者数に滞在日数を乗じて算出	成果	人	目標値			1,240	1,280	1,310
				実績値					
				目標値					
				実績値					
				目標値					
				実績値					

5. 施策内事業費の推移

(単位：千円)

		令和 6年度(決算)	令和 7年度(予算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)	令和10年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	915,100	257,300	86,000	257,000	38,000
	(d) 使用料・手数料	10,048	10,248	7,487	7,322	7,322
	(e) その他特定財源	18,117	2,518	9,164	8,618	8,618
	(f) 一般財源	364,658	512,947	416,261	436,777	407,726
事業費の小計		1,307,923	783,013	518,912	709,717	461,666

6. 施策の達成状況 (令和 7年度施策評価結果[評価対象：令和 6年度]より)

①成果の分析	週1回以上スポーツをする成人の割合は、秋田県スポーツ実態調査の結果を用いて評価しており、国の指標に基づき成人を20歳以上としている。コロナ禍以降は減少傾向が続いているが、横手市分のデータは県調査の内数であり、統計上では約5%の誤差を考慮する必要がある。スポーツイベントへの協力団体数については、多様な実施主体や支援体制の構築の広がりが見られ、目標値を大きく上回っている。
②施策の有効性	元気なまちを築く生涯スポーツの促進は、スポーツによる健康づくりや生きがいがづくりに加え、スポーツを核とした交流人口の拡大や地域の活性化につながる有効な施策である。スポーツの楽しみ方が多様化し、健康に対する関心も高まる中で、市民が気軽にスポーツを楽しむことができる機会の創出と、安全に利用できるスポーツ施設の環境整備の重要性が高まっている。
③施策内事業の妥当性	施策目的を達成するためには、生涯にわたるスポーツ活動の推進、スポーツ施設の充実、スポーツを核とした地域の活性化を図る必要があり、第7次横手市スポーツ推進計画の施策の体系にも対応している。基本的な構成に問題や課題はないが、主要スポーツ施設の整備や改修の状況も考慮しつつ、第8次計画に位置付ける具体的な施策と照らし、分かりやすい事業構成となるよう整合性を図る。
④実施可能な改善内容	今後のスポーツ振興においては、多様な実施主体による取り組みがますます重要となる。横手市スポーツ協会をはじめとしたスポーツ関係団体、スポーツ推進委員会等との連携をはじめ、市民参画の推進を図りながら、持続可能な施策の推進体制の整備が必要である。

7. 令和 8年度に向けた施策の方向性 (令和 7年度施策評価結果[評価対象：令和 6年度]より)

成果向上		★	
成果維持			
	コスト拡大	コスト維持	コスト縮減

★=目指す方向

方向性の理由	<p>コロナ禍で一時落ち込んだスポーツ活動は全体的に回復傾向が続いているものの、市民一人ひとりの活動やスポーツとの関わり方については個人差が大きく、普及の面で工夫が必要である。スポーツやその楽しみ方が多様化する中で、スポーツ環境の充実や持続可能な推進体制の確立を図りながら、より多くの市民がスポーツに親しみながら、スポーツを核とした交流人口の拡大を図ることで地域の活性化につなげていく。</p> <p>令和7年度にかけて横手市立体育館の整備や主要スポーツ施設の改修等の多くが終了するものの、横手市立体育館の開館やスポーツ施設の老朽化対策・安全対策等を継続し、コストの方向性については「維持」を選択した。</p>
--------	---

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大=↑、維持=→、縮小=↓、ゼロコスト・休廃止=×)

No	予算科目・大事業コード				令和 6年度 (決算額)	令和 7年度 (予算額)	令和 8年度 (計画額)	令和 9年度 (計画額)	令和10年度 (計画額)	事業の 方向性		総合 評価点
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源	
	実施計画事業名称											
	担当課名											
1	10	05	01	01	10,955	4,437	4,307	4,307	4,307	→	→	84
	スポーツ振興総務費											
	スポーツ振興課				10,955	4,437	4,307	4,307	4,307			
2	10	05	01	03	7,583	8,043	8,315	8,411	8,411	→	→	86
	市民スポーツ振興事業											
	スポーツ振興課				7,583	8,043	8,315	8,411	8,411			
3	10	05	01	03	4,324	8,757	6,200	9,275	9,275	→	→	74
	スポーツのまちづくり事業											
	スポーツ振興課				4,324	8,757	6,200	9,275	9,275			
4					957	1,453	0	0	0	→	→	77
	スポーツ交流事業											
	スポーツ振興課				957	1,453	0	0	0			
5	10	05	01	06	58,693	68,669	90,977	88,442	88,442	→	→	80
	体育施設総務費											
	スポーツ振興課				57,941	67,895	89,743	87,745	87,745			
6	10	05	01	07	95,124	435,938	261,360	232,968	210,389	↑	↑	80
	屋内体育施設費											
	スポーツ振興課				91,645	312,203	221,760	226,439	203,860			
7	10	05	01	08	1,123,770	244,010	133,363	351,924	126,452	→	↑	84
	屋外体育施設費											
	スポーツ振興課				184,736	98,453	71,546	86,210	79,738			
8	10	05	01	05	6,517	11,706	14,390	14,390	14,390	↑	↑	80
	競技スポーツパワーアップ事業											
	スポーツ振興課				6,517	11,706	14,390	14,390	14,390			
9					0	0	0	0	0	-	-	-
	スポーツ普及事業											
	スポーツ振興課				0	0	0	0	0			

令和 8年度 施策方針書

施策	★
実施計画	
中事業	

令和 8年2月策定

施策名	0204	心を豊かにする生涯学習の推進
------------	------	----------------

施策担当課	教育総務部・生涯学習課	
担当課長職・氏名	課長 佐藤 直志	

1. 基本計画の位置付け

基本構想	①将来像	-	時代を受け継ぎ 磨き上げ 凛々しく羽ばたくまち よこて
	②基本目標	-	豊かに学びみんなが輝くまちづくり
基本計画	③政策	02	豊かな学びの充実により、生きる力と郷土を愛する心を育みます
	④施策	0204	心を豊かにする生涯学習の推進
	⑤目指す将来の姿	-	市民は、「いつでも」「どこでも」「だれでも」「なんでも」学ぶことができ人生を楽しんでいます。また、学びを通じて人々の交流や賑わいを創出するとともに学んだ成果はまちづくりにも生かされています。

2. 取り組み方針

<p>市民が生涯にわたり学び続けられるよう、ライフステージに応じた学習機会の充実を図るとともに、学びを通じて人々の交流や賑わいの創出に取り組みます。</p> <p>文化芸術においては、優れた文化芸術に触れる機会や体験する機会の提供に努め、気軽に楽しむ環境づくりを進めます。</p>
--

3. 主要事業の取り組み内容

<ul style="list-style-type: none"> ・新たな学びのきっかけづくりと関係機関との連携やマンガの魅力を活用した学習機会の提供 ・学びを通じた多様な人々の交流拠点とした生涯学習館Ao-naと図書館の賑わいの創出 ・子どもたちの体験活動や交流事業の充実と地域全体で子どもの成長や保護者の学びを支える体制の強化 ・文化芸術に親しむ機会の充実とその活動成果発表の機会・場の提供 ・生涯学習関連施設の適正な維持管理と利便性の向上 ・読書活動の支援と地域の財産である郷土資料の収集・保存
--

4. 指標の目標と推移

No	指標名 ※下段：指標の取得方法	種別	単位	目標値	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
1	「生涯学習の推進」に対する市民満足度	成果	点	目標値			70.4	70.4	70.4
	※まちづくりアンケート（ウェイト平均の100点換算）			実績値					
2	生涯学習講座・教室の参加者数（年間）	成果	人	目標値			25,000	25,000	25,000
	※第4次横手市生涯学習推進計画 個別事業報告			実績値					
3	生涯学習関連施設の利用人数（年間）	成果	人	目標値			950,000	950,000	950,000
	※公共施設予約システム			実績値					
				目標値					
				実績値					
				目標値					
				実績値					
				目標値					
				実績値					

5. 施策内事業費の推移

(単位：千円)

		令和 6年度(決算)	令和 7年度(予算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)	令和10年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	3,682	0	0	0	0
	(b) 県支出金	1,916	2,742	2,299	2,742	2,742
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	7,805	7,740	8,259	9,247	9,247
	(e) その他特定財源	1,837	5,539	2,365	1,063	1,063
	(f) 一般財源	347,749	436,132	391,373	381,103	381,303
事業費の小計		362,989	452,153	404,296	394,155	394,355

6. 施策の達成状況 (令和 7年度施策評価結果[評価対象：令和 6年度]より)

①成果の分析	生涯学習の講座や教室については、参加者数が前年度を下回ったものの、様々な世代を対象としながら趣向を凝らした内容で実施している。社会教育施設の利用人数や図書館に関する指標については、生涯学習館Ao-naの開館が実績値を引き上げている。マンガを生かした特別授業については、毎年度満足度が高く、引き続き当市ならではの学習機会の提供に努めていく。
②施策の有効性	市民一人ひとりが生涯を通して学び続けることができる学習環境や、優れた文化芸術活動に親しむ機会が提供され、ふるさと横手に愛着と誇りを持ち、未来を切り拓いていく人づくりに有効な施策が展開されている。また、生涯学習館Ao-naは交流拠点として、市民のさらなる学習意欲の向上と質の高いサービスの提供を図ることが期待されている。
③施策内事業の妥当性	市民の学習意欲やライフステージに応じた学習機会の充実が図られているとともに、生涯学習館Ao-naや増田まんが美術館等においては、それぞれのコンセプトに沿った有用な事業が展開できている。
④実施可能な改善内容	学びの成果を地域活動や社会貢献活動に活かせるよう、関係する団体や機関と連携を図っていく必要がある。また、生涯学習施設の運営については、利用者目線に沿った見直しを適宜検討していき、利便性の向上に努めていく。

7. 令和 8年度に向けた施策の方向性 (令和 7年度施策評価結果[評価対象：令和 6年度]より)

成果向上		★	
成果維持			
	コスト拡大	コスト維持	コスト縮減

★=目指す方向

方向性の理由	引き続き、第4次生涯学習推進計画や第1次読書活動推進計画を着実に推進していく。その上で、横手図書館を含めた生涯学習館Ao-naの運営やコミュニティ・スクールの推進も定着してきていることから、さらなる成果の向上を図りたい。 一方で、移転建替が中断された市民会館の方向性については検討を継続していきながら、新施設の管理運営計画の考え方で示された事業のうち現行でも実現可能なものを積極的に取り入れていく。
--------	--

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大＝↑、維持＝→、縮小＝↓、ゼロコスト・休廃止＝×)

No	予算科目・大事業コード				令和 6年度 (決算額)	令和 7年度 (予算額)	令和 8年度 (計画額)	令和 9年度 (計画額)	令和10年度 (計画額)	事業の 方向性		総合 評価点
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源	
	実施計画事業名称											
	担当課名											
1	10	04	01	02	2,939	3,547	4,892	3,547	3,547	-	-	-
	社会教育総務費											
2	10	04	02	01	4,451	3,679	2,013	1,679	1,879	→	↑	88
	生涯学習推進事業											
3	10	04	02	02	419	352	352	352	352	→	→	76
	二十歳のつどい開催事業											
4	10	04	02	03	468	4,217	3,875	4,217	4,217	→	↑	87
	学校・家庭・地域連携総合推進事業											
5	10	04	02	04	3,232	3,352	3,766	3,352	3,352	→	→	94
	秋田大学横手サテライト事業											
6	10	04	04	01	3,828	5,525	3,361	5,025	5,025	→	→	77
	芸術文化推進事業											
7					0	0	0	0	0	-	-	-
	自主文化事業委託費											
8	10	04	04	02	38,651	59,224	43,201	41,732	41,732	-	-	-
	芸術文化施設費											
9	10	04	03	02	8,554	9,259	13,479	10,037	10,037	-	-	-
	図書館総務費											
10	10	04	03	03	625	875	850	875	875	→	→	84
	読書活動促進事業											
11	10	04	03	01	141,230	164,180	152,301	134,349	134,349	→	→	91
	図書館費											
12	10	04	04	03	103,525	113,149	103,762	105,362	105,362	→	→	78
	増田まんが美術館事業											
					99,843	113,149	103,762	105,362	105,362			

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大=↑、維持=→、縮小=↓、ゼロコスト・休廃止=×)

No	予算科目・大事業コード				令和 6年度 (決算額)	令和 7年度 (予算額)	令和 8年度 (計画額)	令和 9年度 (計画額)	令和10年度 (計画額)	事業の 方向性		総合 評価点
	款	項	目	事業						事業費	事業費	
	実施計画事業名称				事業費	事業費	事業費	事業費	事業費			
	担当課名				一般財源	一般財源	一般財源	一般財源	一般財源			
13	10	04	01	98	47,941	84,794	72,444	83,628	83,628	→	↑	87
	生涯学習館費											
	生涯学習課				47,111	83,368	70,697	81,724	81,724			

令和 8年度 施策方針書

施策	★
実施計画	
中事業	

令和 8年2月策定

施策名	0205	横手の風土に育まれた伝統文化の継承
------------	------	-------------------

施策担当課	教育総務部・伝統文化課	
担当課長職・氏名	課長 石田 正明	

1. 基本計画の位置付け

基本構想	①将来像	-	時代を受け継ぎ 磨き上げ 凛々しく羽ばたくまち よこて
	②基本目標	-	豊かに学びみんなが輝くまちづくり
基本計画	③政策	02	豊かな学びの充実により、生きる力と郷土を愛する心を育みます
	④施策	0205	横手の風土に育まれた伝統文化の継承
	⑤目指す将来の姿	-	市民が横手の伝統文化に関心を持ち、探求によって気づいた魅力を学びやまちづくりに活用しています。

2. 取り組み方針

市民が文化遺産に愛着をもち、多様な形態において活用できるように、その把握と周知に努め、伝統文化を次世代に継承します。
--

3. 主要事業の取り組み内容

<ol style="list-style-type: none"> 1. 文化遺産の把握と調査、価値付け（伝統文化総務費、文化財調査保存事業、埋蔵文化財発掘調査事業） 2. 文化遺産の保存の推進（重要伝統的建造物群保存事業、伝統文化総務費、文化財調査保存事業、埋蔵文化財発掘調査事業） 3. 文化遺産や伝統文化の周知と活用の推進（重要伝統的建造物群保存事業、伝統文化普及事業） 4. 学びの機会の充実（伝統文化普及事業） 5. 資料館施設の充実（伝統文化普及事業、資料館費）

4. 指標の目標と推移

No	指標名 ※下段：指標の取得方法	種別	単位	指標	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
1	「伝統文化の継承」に対する市民満足度 ※まちづくりアンケート（ウェイト平均の100点換算）	成果	点	目標値			72.3	72.3	72.3
				実績値					
2	資料館施設等の来館者数（年間） ※雄物川郷土資料館及び後三年合戦金沢資料館の年間来館者数の合計	成果	人	目標値			5,100	5,200	5,300
				実績値					
3	まちあるきや公開講座等市民参加型イベントへの参加者数（年間） ※市民参加型イベントへの年間参加者数の合計	成果	人	目標値			300	305	310
				実績値					
				目標値					
				実績値					
				目標値					
				実績値					
				目標値					
				実績値					

5. 施策内事業費の推移

(単位：千円)

		令和 6年度(決算)	令和 7年度(予算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)	令和10年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	10,902	23,814	11,529	44,510	37,510
	(b) 県支出金	31,120	36,775	13,203	22,443	22,443
	(c) 地方債	0	0	4,500	0	0
	(d) 使用料・手数料	189	300	305	305	305
	(e) その他特定財源	173	229	228	170	170
	(f) 一般財源	91,525	78,737	73,632	85,050	86,360
事業費の小計		133,909	139,855	103,397	152,478	146,788

6. 施策の達成状況 (令和 7年度施策評価結果[評価対象：令和 6年度]より)

①成果の分析	資料館施設来館者数等については、定期的な企画展の開催により微増となるも、シンポジウム等参加者実績は調査のまとめ時期により開催機会が少なかったため、目標を大きく下回った。指定文化財数では目標を上回った。国の認定計画である「歴史的風致維持向上計画」や「歴史文化遺産保存活用地域計画」に基づく取り組みが順調に進捗しており、市内文化財の把握を進め、調査及び指定による保存と活用が進められている。
②施策の有効性	国・県指定文化財の維持管理支援や伝統的建造物群保存地区における修理、後三年合戦関連遺跡の調査の実施などの保存に関する取組みと成果の発信は、市民にとっても地域に誇りを持つ契機となりうるほか、文化財の活用や継承につながる事業である。また、把握や調査等により得られた成果を基にした資料館施設等での展示やまちあるき等による周知の実施は、地域に根付いた伝統文化の継承にとっても有効な施策である。
③施策内事業の妥当性	これまで文化財の保存修理のほか、重要文化財や伝統的建造物群保存地区内での防災対策を実施しており、今後も適切な修理及び防災対策事業を推進していく必要がある。また、後三年合戦関連遺跡等の埋蔵文化財調査や建造物調査では、文化財としての価値が明らかになるばかりでなく、地域にスポットが当たる機会となっている。このような文化財の調査と保存に加えて活用のための事業を進めており、総体として「横手の伝統文化の継承と再発見」を図るために必要な事業の構成となっている。
④実施可能な改善内容	従来の取り組みに加え、地域の伝統文化に関心を寄せ、活動に参加する市民の拡大を図るために、文化財や地域の歴史文化への親しみやすさを上げるための工夫により注力することが施策の達成に効果的である。このため、資料館で定期的実施する企画展と、「まちあるき」や「市民大学講座(公開講座)」などの既存事業を連動して実施するなど、幅広い世代や関心を持つ市民層に訴求する企画の検討が必要である。

7. 令和 8年度に向けた施策の方向性 (令和 7年度施策評価結果[評価対象：令和 6年度]より)

成果向上			
成果維持		★	
	コスト拡大	コスト維持	コスト縮減

★=目指す方向

方向性の理由	歴史的な資源が豊かな本市においては、文化財を活かした地域づくりに積極的に取り組むことが有効であり、市民の期待も大きい。 歴史的風致維持向上計画及び歴史文化遺産保存活用地域計画に基づき事業を実施することで、市内文化財の調査と保存及び活用を進める必要がある。
--------	--

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大=↑、維持=→、縮小=↓、ゼロコスト・休廃止=×)

No	予算科目・大事業コード				令和 6年度 (決算額)	令和 7年度 (予算額)	令和 8年度 (計画額)	令和 9年度 (計画額)	令和10年度 (計画額)	事業の 方向性		総合 評価点
	款	項	目	事業						コスト	活動	
	実施計画事業名称				事業費	事業費	事業費	事業費	事業費			
	担当課名				一般財源	一般財源	一般財源	一般財源	一般財源			
1	10	04	04	04	15,919	33,820	16,472	53,380	53,380	→	→	78
	重要伝統的建造物群保存事業 増田地域課											
2	10	04	04	06	28,381	13,882	0	0	0	→	↑	86
	歴史まちづくり事業 伝統文化課											
3	10	04	05	01	20,270	16,605	25,802	32,110	30,110	-	-	-
	伝統文化総務費 伝統文化課											
4	10	04	05	02	2,459	369	5,464	11,853	4,353	→	→	71
	文化財調査保存事業 伝統文化課											
5	10	04	05	03	37,798	45,117	22,012	21,635	21,635	→	→	82
	埋蔵文化財発掘調査事業 伝統文化課											
6	10	04	05	04	2,492	2,355	3,012	2,872	6,682	→	→	83
	伝統文化普及事業 伝統文化課											
7	10	04	06	01	26,590	27,707	30,635	30,628	30,628	-	-	-
	資料館費 伝統文化課											

第3次横手市総合計画 前期基本計画 施策方針書【政策3】

基本目標

自然と調和した快適な暮らしを実感できるまちづくり

【政策3】

自然環境を守り、安全で安心なまちづくりを進めます

《生活環境》

令和 8年度 施策方針書

施策	★
実施計画	
中事業	

令和 8年2月策定

施策名	0301	安全で暮らしやすい環境の整備
------------	------	----------------

施策担当課	まちづくり推進部・地域づくり支援課	
担当課長職・氏名	課長 高橋 良明	

1. 基本計画の位置付け

基本構想	①将来像	-	時代を受け継ぎ 磨き上げ 凛々しく羽ばたくまち よこて
	②基本目標	-	自然と調和した快適な暮らしを実感できるまちづくり
基本計画	③政策	03	自然環境を守り、安全で安心なまちづくりを進めます
	④施策	0301	安全で暮らしやすい環境の整備
	⑤目指す将来の姿	-	多様化する特殊詐欺や消費者トラブルなどへの対策が図られ、また事故や犯罪の件数が減少しており、安心して生活を送っています。

2. 取り組み方針

交通事故や犯罪、消費者トラブルから身を守る正しい知識の普及啓発などにより、犯罪等を抑止するための効果的な取組を行うほか、各種相談窓口の周知を図ります。

空き家の所有者等への指導・助言を強化するとともに、空き家の総合的な対策を推進するため、市民・関係団体と連携し官民協働での対策を計画的に実施します。

3. 主要事業の取り組み内容

○交通安全対策の推進… 交通安全意識の普及・啓蒙を図るため、各種団体と連携し、地域ぐるみで交通災害の防止に努めます。

○防犯対策の推進… 警察や防犯関係団体と連携し、犯罪被害の未然防止と防犯思想の普及に取り組みます。

○空家等対策の推進… 安全で安心な生活環境を実現するために「予防の推進」、「適正管理の推進」、「利活用の推進」の取組方針に基づき、効果的な空家等対策を実施します。

○市民相談の実施… 市民が抱える様々な多様化した問題を解決するため、無料法律相談や消費生活相談など、各種窓口の周知を図り相談体制の充実と強化を図ります。

4. 指標の目標と推移

No	指標名	※下段：指標の取得方法	種別	単位		令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
1	「交通安全・防犯対策の推進」に対する市民満足度	※まちづくりアンケート（ウェイト平均の100点換算）	成果	点	目標値			73.9	73.9	73.9
					実績値					
2	特定空家等認定数（累計）	※特定空家等一覧への新規認定、認定解除	成果	戸	目標値			70	68	66
					実績値					
					目標値					
					実績値					
					目標値					
					実績値					
					目標値					
					実績値					

5. 施策内事業費の推移

(単位：千円)

		令和 6年度(決算)	令和 7年度(予算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)	令和10年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	9,174	14,221	21,119	22,971	22,971
	(b) 県支出金	3,879	168	215	168	168
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	298	288	289	280	280
	(f) 一般財源	65,826	72,366	86,070	94,530	94,481
事業費の小計		79,177	87,043	107,693	117,949	117,900

6. 施策の達成状況 (令和 7年度施策評価結果[評価対象：令和 6年度]より)

①成果の分析	<ul style="list-style-type: none"> よこて安全・安心メールは、市民への情報伝達手段の一つとして定着しきており、事案発生後、迅速に情報提供し注意喚起を促している。なおシステムの更新に伴い、令和6年8月より当該事業の所管は危機対策課へ移管となった。 空家等の苦情、相談等に対する対応割合は100%であり、問題の解決に結びつく方法を速やかに見出している。
②施策の有効性	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全対策や防犯対策、空き家対策、市民相談等は、安全・安心な市民生活の確保のため必要不可欠な事業である。
③施策内事業の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の安全・安心を守るために必要な事業であり、妥当と判断される。
④実施可能な改善内容	<ul style="list-style-type: none"> 交通指導員や防犯指導員による活動の推進とともに、新規隊員の確保に注力する必要がある。 社会情勢の変化等により年々複雑化する相談内容に対応するため、最新の情報収集や啓発活動を行っていく必要がある。

7. 令和 8年度に向けた施策の方向性 (令和 7年度施策評価結果[評価対象：令和 6年度]より)

成果向上			
成果維持		★	
	コスト拡大	コスト維持	コスト縮減

★=目指す方向

方向性の理由	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生活と財産を守るという、自治体の基本的役割を果たすための事業であり、継続した取り組みが必要である。 第2期横手市空家等対策基本計画に基づく既存事業を継続して実施するとともに、第3期基本計画の策定に向け、国や県の動向を注視しながら、市の地域特性に合う効果的な施策の検討を進めていく。
--------	--

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大=↑、維持=→、縮小=↓、ゼロコスト・休廃止=×)

No	予算科目・大事業コード				令和 6年度 (決算額)	令和 7年度 (予算額)	令和 8年度 (計画額)	令和 9年度 (計画額)	令和10年度 (計画額)	事業の 方向性		総合 評価点					
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源		事業費 一般財源	事業費 一般財源	事業費 一般財源	コスト	活動
	実施計画事業名称																
	担当課名																
1	02	01	13	01	16,985	20,772	20,206	20,649	20,600	→	→	84					
	交通安全対策事業																
	地域づくり支援課				16,687	20,484	19,917	20,369	20,320								
2	02	01	13	02	3,438	3,556	3,493	3,493	3,493	→	→	84					
	防犯対策事業																
	地域づくり支援課				3,438	3,556	3,493	3,493	3,493								
3	03	01	09	01	11,613	11,801	12,649	11,800	11,800	→	→	90					
	市民相談事業																
	生活環境課				11,484	11,633	12,434	11,632	11,632								
4	03	01	09	02	24,255	31,191	51,852	61,691	61,691	↑	↑	89					
	空家等対策事業																
	生活環境課				15,081	16,970	30,733	38,720	38,720								
5	03	05	01	01	630	1,070	1,070	1,070	1,070	→	→	81					
	災害見舞金支給費																
	社会福祉課				630	1,070	1,070	1,070	1,070								
6	08	02	02	02	17,256	18,653	18,423	19,246	19,246	→	→	93					
	交通安全施設整備事業																
	建設課				17,256	18,653	18,423	19,246	19,246								
7	03	05	01	98	5,000	0	0	0	0	→	→	81					
	災害弔慰金支給事業																
	社会福祉課				1,250	0	0	0	0								
8	03	05	01	98	0	0	0	0	0	-	-	-					
	災害援護資金貸付事業																
	社会福祉課				0	0	0	0	0								

令和 8年度 施策方針書

施策	★
実施計画	
中事業	

令和 8年2月策定

施策名	0302	豊かな自然環境の保全と安全で安心な生活環境の形成
------------	------	--------------------------

施策担当課	市民福祉部・生活環境課	
担当課長職・氏名	生活環境課長 高橋 道明	

1. 基本計画の位置付け

基本構想	①将来像	-	時代を受け継ぎ 磨き上げ 凛々しく羽ばたくまち よこて
	②基本目標	-	自然と調和した快適な暮らしを実感できるまちづくり
基本計画	③政策	03	自然環境を守り、安全で安心なまちづくりを進めます
	④施策	0302	豊かな自然環境の保全と安全で安心な生活環境の形成
	⑤目指す将来の姿	-	自然と人が調和し、全ての世代がいきいきと笑顔で暮らせる、持続可能で魅力あふれる生活環境が整っています。また、四季折々の豊かな自然環境が次世代へ引き継がれており、市民の誰もが心から安心を実感できる生活を送っています。

2. 取り組み方針

地球環境への悪影響を減らすための対策や公害の防止、天然資源の使用削減などを推進します。また、森林病虫害防除や、森林環境及び公益性を意識した森づくりに取り組むとともに、野生鳥獣による人身被害や農林被害の発生防止に努めます。

3. 主要事業の取り組み内容

- ・里山や森林、生態系が相互に関連しあう自然環境の保全…病虫害の防除や被害木の駆除 枯死木の伐採。
- ・公害の防止…大気質や水質、騒音などの環境測定の実施 悪臭（家畜や野焼きなど）の原因者を特定し法令等に基づく取り組みの推進
- ・環境美化活動の推進…環境美推進員を中心とした美化活動の実践と意識の向上 全市一斉クリーンアップの実践による市民意識の向上
- ・鳥獣被害の防止…クマなどの野生鳥獣が人の生活圏へ近づくことを防止するための緩衝帯整備と誘引物の除去 鳥獣被害対策実施隊の活動体制の強化 クマ対策などに役立つ情報の発信

4. 指標の目標と推移

No	指標名 ※下段：指標の取得方法	種別	単位		令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
1	「自然環境の保全と安全安心な生活環境の形成」に対する市民満足度 ※まちづくりアンケート（ウェイト平均の100点換算）	成果	点	目標値			70.8	70.8	70.8
				実績値					
2	ツキノワグマによる人身被害発生件数 ※業務取得	成果	件	目標値			0	0	0
				実績値					
				目標値					
				実績値					
				目標値					
				実績値					
				目標値					
				実績値					

5. 施策内事業費の推移

(単位：千円)

		令和 6年度(決算)	令和 7年度(予算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)	令和10年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	15,542	20,552	33,054	400,470	1,340,687
	(b) 県支出金	45,059	47,045	59,298	69,198	70,198
	(c) 地方債	87,500	6,000	22,400	0	0
	(d) 使用料・手数料	28,001	28,709	28,238	28,598	28,600
	(e) その他特定財源	0	1	82,971	1	1
	(f) 一般財源	335,519	362,275	310,023	1,161,768	2,943,623
事業費の小計		511,621	464,582	535,984	1,660,035	4,383,109

6. 施策の達成状況 (令和 7年度施策評価結果[評価対象：令和 6年度]より)

①成果の分析	指標において市の取組みだけでは達成できない項目はあるものの、一定の成果が出ている。
②施策の有効性	市民ニーズの高い分野であり、必要不可欠な施策である。
③施策内事業の妥当性	事業内容や実施方法に検討の余地はあるものの、妥当である。
④実施可能な改善内容	循環型社会形成推進地域計画と横手衛生センター長寿命化総合計画をもとに、横手衛生センター基幹的設備改良事業実施に向け準備を進め、雄物川衛生センターの閉鎖を計画的に進める。 また、クマ等野生動物の出没増加に伴う鳥獣被害防止対策を進めていく。

7. 令和 8年度に向けた施策の方向性 (令和 7年度施策評価結果[評価対象：令和 6年度]より)

成果向上	★		
成果維持			
	コスト拡大	コスト維持	コスト縮減

★=目指す方向

方向性の理由	市民の環境問題に対する知識や関心は高まっているものの、その一方では市街地等における人的環境汚染問題や鳥獣による環境被害問題などが多く発生していることから、関係機関や団体、有識者等と連携し、その対応に取り組んでいく必要がある。特に、クマ等野生動物の出没増加に対する鳥獣被害対策実施隊の活動増加が、隊員の大きな負担となっていることから、報酬の見直しを行い、令和7年度から国の交付金を活用することとした。実施主体となる横手市鳥獣被害対策協議会の適正な運営とともに、関係団体との緊密な連携を図り、鳥獣被害防止対策を推進していく。
--------	--

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大＝↑、維持＝→、縮小＝↓、ゼロコスト・休廃止＝×)

No	予算科目・大事業コード				令和 6年度 (決算額)	令和 7年度 (予算額)	令和 8年度 (計画額)	令和 9年度 (計画額)	令和10年度 (計画額)	事業の 方向性		総合 評価点
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源	
	実施計画事業名称											
	担当課名											
1	04	01	01	03	5,580	7,297	6,603	7,095	7,097	→	→	—
	墓園費											
生活環境課					1,869	2,740	2,057	2,638	2,638			
2	04	01	07	01	256	547	507	1,012	1,012	→	→	—
	環境保全管理費											
生活環境課					256	547	507	1,012	1,012			
3	04	01	07	03	8,598	9,533	9,512	9,712	9,712	→	→	87
	環境美化推進事業											
生活環境課					8,028	8,939	8,942	9,142	9,142			
4	04	01	07	02	149	222	222	222	222	→	→	—
	生活衛生営業等事務費											
生活環境課					69	142	174	142	142			
5	04	01	08	01	2,101	2,751	2,751	2,751	2,751	→	→	—
	公害対策総務費											
生活環境課					2,101	2,751	2,751	2,751	2,751			
6	04	01	08	02	16,806	23,000	22,500	23,000	23,000	→	→	100
	休廃止鉱山坑廃水処理事業											
生活環境課					1,929	3,844	3,302	3,844	3,844			
7	04	01	11	01	83,566	90,777	97,021	66,094	66,094	→	→	97
	斎場施設費											
生活環境課					70,774	78,830	62,562	54,158	54,158			
8	04	02	03	01	246,630	268,086	312,264	1,457,439	4,179,374	↑	→	97
	衛生センター費											
生活環境課					232,429	245,854	201,136	1,061,289	2,843,007			
9	06	01	09	04	2,463	3,040	3,584	3,584	3,584	-	-	—
	自然体験型交流施設費											
増田地域課					2,463	3,030	3,574	3,574	3,574			
10	06	02	01	04	1,193	1,489	1,571	1,580	1,580	→	→	79
	緑化推進事業											
農林整備課					1,193	1,489	1,571	1,580	1,580			
11	06	02	01	05	11,285	11,077	9,264	11,856	11,856	→	→	89
	森林病虫害等防除事業											
農林整備課					2,821	2,771	2,318	2,964	2,964			
12	06	02	01	06	7,291	9,615	20,154	17,340	17,340	↑	→	94
	有害鳥獣対策事業											
農林整備課					7,291	7,009	16,847	14,340	14,340			

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大=↑、維持=→、縮小=↓、ゼロコスト・休廃止=×)

No	予算科目・大事業コード				令和 6年度 (決算額)	令和 7年度 (予算額)	令和 8年度 (計画額)	令和 9年度 (計画額)	令和10年度 (計画額)	事業の方向性		総合 評価点					
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源		事業費 一般財源	事業費 一般財源	事業費 一般財源	コスト	活動
	実施計画事業名称																
	担当課名																
13	06	02	02	04	33,913	32,823	45,754	54,020	55,030	→	→	90					
	水と緑の森づくり事業																
	農林整備課				13	20	21	20	30								
14	06	02	03	01	3,289	3,622	3,701	3,754	3,754	-	-	-					
	いこいの森費																
	農林整備課				3,289	3,622	3,701	3,754	3,754								
15	06	02	03	03	749	703	576	576	703	-	-	-					
	やまばと山荘費																
	山内地域課				742	687	560	560	687								
16	04	01	11	98	87,752	0	0	0	0	×	×	96					
	斎場施設整備事業																
	生活環境課				252	0	0	0	0								
17	04	01	01	97	0	0	0	0	0	↑	-	-					
	墓園整備費																
	生活環境課				0	0	0	0	0								

令和 8年度 施策方針書

施策	★
実施計画	
中事業	

令和 8年2月策定

施策名	0303	災害に強い体制の整備
------------	------	------------

施策担当課	総務企画部・危機対策課	
担当課長職・氏名	課長 川津 久和	

1. 基本計画の位置付け

基本構想	①将来像	-	時代を受け継ぎ 磨き上げ 凛々しく羽ばたくまち よこて
	②基本目標	-	自然と調和した快適な暮らしを実感できるまちづくり
基本計画	③政策	03	自然環境を守り、安全で安心なまちづくりを進めます
	④施策	0303	災害に強い体制の整備
	⑤目指す将来の姿	-	消防や救急体制がより充実し、地域での防災活動が活発に行われ、市民と行政の協働による災害に強いまちづくりが進んでいます。

2. 取り組み方針

災害時の被害を最小化する「減災」の考え方を基本方針とします。災害に対しては「自らの命は自ら守る行動（自助）」と「身近な地域コミュニティによる助け合い（共助）」が非常に大切です。市民の防災意識の啓発・消防団への加入促進・自主防災リーダーの育成を推進し、これに「企業・団体等の協力を得た公的機関の支援（公助）」を加えた地域の総合力で対応していきます。また、災害や救急救助要請に迅速に対応するため、消防車両や資機材の計画的な整備・更新を進めます。

3. 主要事業の取り組み内容

市民が安全に、安心して暮らせるまちをつくるために、

- ・消防車両や消防水利及び消防団員の安全装備等の整備による消防救急体制の強化
- ・防災教育や広報活動等を通じた消防団員の確保と活動に対する支援の充実
- ・県総合防災情報システムやハザードマップの更新、避難所の生活環境改善等、災害への備えの充実
- ・防災訓練や防災講話等を通じた地域住民や自主防災組織及び関係機関の防災意識の向上と連携強化
- ・災害が発生するおそれがある箇所への防災対策の推進
- ・災害発生時に避難支援が必要な方の避難方法や避難先を定めた個別計画の整備

4. 指標の目標と推移

No	指標名	※下段：指標の取得方法	種別	単位		令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
1	「消防・防災体制の充実」に対する市民満足度 ※まちづくりアンケート（ウェイト平均の100点換算）		成果	点	目標値			76.1	76.1	76.1
					実績値					
2	救命講習受講者数（年間） ※救命講習修了証発行数		成果	人	目標値			1,200	1,200	1,200
					実績値					
3	県との共同備蓄22品目の目標数量に対する備蓄率 ※備蓄管理数量		成果	%	目標値			94.7	96.6	98.5
					実績値					
					目標値					
					実績値					
					目標値					
					実績値					

5. 施策内事業費の推移

(単位：千円)

		令和 6年度(決算)	令和 7年度(予算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)	令和10年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	19,969	38,461	59,332	18,822	78,962
	(b) 県支出金	353	250	250	1,250	250
	(c) 地方債	333,300	967,500	395,900	117,000	209,200
	(d) 使用料・手数料	0	800	900	900	900
	(e) その他特定財源	3,809	5,781	3,418	3,626	3,626
	(f) 一般財源	360,074	385,293	424,938	362,613	362,059
事業費の小計		717,505	1,398,085	884,738	504,211	654,997

6. 施策の達成状況 (令和 7年度施策評価結果[評価対象：令和 6年度]より)

①成果の分析	耐震性能を満たす消防水利の整備等、ハード面における事業は着実に進んでいる。 ソフト面の普通救命講習の修了者養成数は、目標値に届いていないものの応急手当に関する講習会を多数開催し、延べ受講者数は増加している。また、消防団応援事業所数は横ばいで推移していることから、制度を広く周知し、消防団員が活動しやすい環境づくりに理解を求め、団員数を確保していく必要がある。
②施策の有効性	全国的に頻発化及び激甚化する自然災害や火災に対し、ソフト・ハード両面における予防対策と発災時の迅速かつ適切な対応への必要性はますます高まっている。 また、高齢化に伴う救急需要の増加は今後も続くものと見込まれ、市民が行う応急手当の普及啓発活動は継続していく必要がある。
③施策内事業の妥当性	ハード面における設備や器具等の整備、ソフト面での避難行動要支援者対策、住民の防災意識高揚、知識の習得に向けた研修や災害対応訓練などは平時から取り組まなければならない施策である。 また、常備消防力の強化や消防団活動の充実等も安全安心な暮らしに欠かせない施策である。
④実施可能な改善内容	各事業において改善を図りながら継続する。 多様な媒体による防災情報の発信を受け、適切な避難行動へとつなげられるよう市民の防災意識の啓発に積極的に取り組み、あわせて市民が行う応急手当の重要性を広く周知していく。

7. 令和 8年度に向けた施策の方向性 (令和 7年度施策評価結果[評価対象：令和 6年度]より)

成果向上			
成果維持			★
	コスト拡大	コスト維持	コスト縮減

★=目指す方向

方向性の理由	先進的な事例について情報収集を行い、災害に強い横手市を目指す必要がある。 ハード面においては、コストの拡大に比例して設備の充実が図られるが、限りある経営資源の中で計画的に事業を進め防災力を維持していく。令和7年度までの継続事業である高機能消防指令センター更新整備事業が終了することもありコストは縮減とした。 また、ソフト面においては、高齢化、人口減少が進む中であっても、自助・共助を中心とした防災活動が行われるよう、防災講話や応急手当に関する救命講習会等を継続して取り組み地域防災の強化を図る。
--------	---

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大＝↑、維持＝→、縮小＝↓、ゼロコスト・休廃止＝×)

No	予算科目・大事業コード				令和 6年度 (決算額)	令和 7年度 (予算額)	令和 8年度 (計画額)	令和 9年度 (計画額)	令和10年度 (計画額)	事業の 方向性		総合 評価点
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源	
	実施計画事業名称											
	担当課名											
1	03	01	01	06	3,921	2,610	2,576	2,610	2,610	→	→	80
	避難行動要支援者名簿整備 事業 まるごと福祉課											
2	04	01	01	04	4,712	4,713	4,713	4,713	4,713	→	→	—
	救急医療機器管理費 消防本部救急課											
3	08	03	01	01	21	109	981	109	109	—	—	—
	河川総務費 建設課											
4	08	03	01	98	6,421	7,600	0	2,500	0	→	→	89
	急傾斜地崩壊対策費 建設課											
5	08	03	02	01	933	984	63,058	1,067	1,067	—	—	—
	河川維持管理費 建設課											
6	09	01	01	02	143,599	118,887	112,058	123,982	123,982	→	→	—
	常備消防経費 消防本部総務課											
7	09	01	01	03	229,570	888,225	242,906	6,362	150,436	↓	→	94
	常備消防施設等整備事業 消防本部総務課											
8	09	01	02	01	129,580	164,171	226,420	185,533	184,572	→	→	94
	非常備消防事業 消防本部総務課											
9	09	01	03	01	17,626	17,819	18,780	18,687	19,793	→	→	88
	消防施設管理費 消防本部警防課											
10	09	01	03	02	127,682	137,023	115,281	120,933	133,231	→	→	91
	消防施設整備事業 消防本部警防課											
11	09	01	03	03	11,946	15,810	17,420	6,000	6,000	→	→	88
	水道事業(消防水利施設) 費 消防本部警防課											
12	09	01	98	98	0	0	0	0	0	→	→	94
	水防管理費 危機対策課											

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大=↑、維持=→、縮小=↓、ゼロコスト・休廃止=×)

No	予算科目・大事業コード				令和 6年度 (決算額)	令和 7年度 (予算額)	令和 8年度 (計画額)	令和 9年度 (計画額)	令和10年度 (計画額)	事業の 方向性		総合 評価点
	款	項	目	事業						コスト	活動	
	実施計画事業名称				事業費	事業費	事業費	事業費	事業費			
	担当課名				一般財源	一般財源	一般財源	一般財源	一般財源			
13	09	01	04	01	15,386	33,481	46,812	18,804	16,963	-	-	-
	災害対策費											
14	09	01	04	02	2,662	1,553	4,868	2,051	1,649	→	→	90
	防災センター管理費											
15	11	02	02	01	23,331	3,000	3,000	3,000	3,000	→	→	-
	河川災害復旧事業											
16	10	01	03	09	115	100	63	110	122	→	→	82
	防災・減災まちづくり学習事業											
17	08	03	02	02	0	0	25,802	7,750	6,750	→	→	97
	河川改修事業											
18	09	01	04	97	0	0	0	0	0	-	-	-
	地域防災緊急整備事業											
19	09	01	04	98	0	2,000	0	0	0	-	-	-
	コミュニティー助成事業 (地域防災組織育成)											
					0	0	0	0	0			

令和 8年度 施策方針書

施策	★
実施計画	
中事業	

令和 8年2月策定

施策名	0304	循環型社会の確立と環境保全の推進
-----	------	------------------

施策担当課	市民福祉部・生活環境課	
担当課長職・氏名	生活環境課長 高橋 道明	

1. 基本計画の位置付け

基本構想	①将来像	—	時代を受け継ぎ 磨き上げ 凛々しく羽ばたくまち よこて
	②基本目標	—	自然と調和した快適な暮らしを実感できるまちづくり
基本計画	③政策	03	自然環境を守り、安全で安心なまちづくりを進めます
	④施策	0304	循環型社会の確立と環境保全の推進
	⑤目指す将来の姿	—	環境に対する市民の意識が高まり、資源循環の定着と気候変動対策への取組が進み、豊かな自然と調和した生活環境が保たれています。

2. 取り組み方針

「新ペットボトル等処理施設」の建設に合わせ、分別ルールに製品プラスチックを新たに加え、周知浸透を図り、資源循環意識の醸成を図ります。

精度の高い3R（リデュース・リユース・リサイクル）の推進により、環境への負荷低減と資源の有効活用を図り、循環型社会の確立を目指します。

公共施設から排出される温室効果ガスの削減目標・結果を活用しながら、市民や法人等に向けた気候変動対策の推進を促す啓発を行います。

3. 主要事業の取り組み内容

- ・ごみの適正処理と資源循環の推進…集団資源回収活動の推奨 製品プラスチックを分別に加え、資源化率の向上を図る 産業廃棄物の混入防止の為の啓発活動雄強化
- ②ごみの収集体制の確立…高齢者世帯からのごみ収集体制の確立と集合住宅地への集積庫の設置、既存集積庫の統廃合
- ③脱炭素社会に向けた取組の推進…再生可能エネルギーや省エネルギー設備の導入、活用の推進 カーボンニュートラルの実現に向けた市民意識の向上と環境保全活動の推進 横手J-クレジットを活用したカーボンオフセットへの取組 新築住宅などの木質化推奨

4. 指標の目標と推移

No	指標名 ※下段：指標の取得方法	種別	単位		令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
1	「環境保全政策の充実」に対する市民満足度	成果	点	目標値			78.1	78.1	78.1
	※まちづくりアンケート（ウェイト平均の100点換算）			実績値					
2	1日一人当たりの家庭ごみの排出量	成果	g	目標値			631	628	625
	※クリーンプラザよこて処理実績			実績値					
3	ごみの資源化率（年間）	成果	%	目標値			19.9	20.3	20.7
	※クリーンプラザよこて、大雄堆肥センター処理実績			実績値					
4	横手J-クレジット販売量（年間）	成果	t	目標値			150	150	150
	※横手市・森林組合森林吸収共同プロジェクト推進協議会での集計			実績値					
				目標値					
				実績値					
				目標値					
				実績値					

5. 施策内事業費の推移

(単位：千円)

		令和 6年度(決算)	令和 7年度(予算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)	令和10年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	2,340	36,666	266,991	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	15,000
	(c) 地方債	4,400	70,600	545,300	0	15,000
	(d) 使用料・手数料	211,339	217,540	213,810	217,532	217,532
	(e) その他特定財源	81,694	85,748	93,081	86,016	86,016
	(f) 一般財源	819,938	835,677	970,245	760,609	760,345
事業費の小計		1,119,711	1,246,231	2,089,427	1,064,157	1,093,893

6. 施策の達成状況 (令和 7年度施策評価結果[評価対象：令和 6年度]より)

①成果の分析	ごみの排出量は、家の片づけごみの持ち込みが増えた時期もあったが、現在は以前に戻りつつある。また、社会情勢の変化に伴う不況により、事業系一般廃棄物の持ち込みが減っていることもあり、全体的に見るとごみの排出量は減りつつある。指標の目標は達成しており、成果は上がっていると判断しているものの、ごみの排出量は情勢の変化に伴い増加することもあることから、今後もこれまでと同様に取り組んでいく必要がある。
②施策の有効性	循環型社会を実現するためには必要不可欠であり、市民ニーズの高い施策である。
③施策内事業の妥当性	事業内容や実施方法に検討の余地はあるものの、妥当である。
④実施可能な改善内容	ごみの分別のほか、減量化や資源化を市民に意識し行動してもらえるよう、出前講座などを開催し周知に努める。「プラスチック資源循環法（廃プラ新法）」へ対応するため、循環型社会形成推進地域計画に基づいたペットボトル等処理施設の建設、機器の更新整備で機能強化を図るため、令和 9年度稼働を目指し事業に着手する。

7. 令和 8年度に向けた施策の方向性 (令和 7年度施策評価結果[評価対象：令和 6年度]より)

成果向上	★		
成果維持			
	コスト拡大	コスト維持	コスト縮減

★=目指す方向

方向性の理由	「プラスチック資源循環法（廃プラ新法）」に対応するため、施設の建設・圧縮梱包機など機器の更新を図り、機能強化を図る必要がある。同時に製品プラスチックの収集運搬について検討し、ごみ収集計画の見直しを行い、市民へ周知していかなければならない。
--------	---

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大=↑、維持=→、縮小=↓、ゼロコスト・休廃止=×)

No	予算科目・大事業コード				令和 6年度 (決算額)	令和 7年度 (予算額)	令和 8年度 (計画額)	令和 9年度 (計画額)	令和10年度 (計画額)	事業の 方向性		総合 評価点
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源	
	実施計画事業名称											
	担当課名											
1	04	02	01	02	787	1,151	1,049	1,151	1,185	-	-	-
	清掃総務管理費											
	生活環境課				787	1,151	1,049	1,151	1,185			
2	04	02	02	01	412,707	424,569	427,146	424,569	424,534	→	→	94
	ごみ収集事業											
	生活環境課				266,763	272,881	270,703	272,881	272,846			
3	04	02	02	02	476,301	513,290	574,054	502,688	502,688	-	-	-
	クリーンプラザよこて費											
	生活環境課				362,102	397,070	438,862	386,468	386,468			
4	04	02	02	03	130,085	84,807	42,763	38,560	38,414	→	→	97
	最終処分場管理費											
	生活環境課				130,085	84,807	42,763	38,560	38,414			
5	04	02	02	04	32,438	38,456	43,113	38,939	38,912	-	-	-
	ペットボトル等処理施設費											
	生活環境課				24,471	28,616	33,113	29,099	29,072			
6	06	01	09	07	57,713	68,995	84,731	56,950	86,860	→	→	90
	地域資源循環施設費											
	農業振興課				32,790	43,455	58,475	31,150	31,060			
7	04	02	02	05	8,452	113,663	915,271	0	0	↑	→	88
	ペットボトル等処理施設整備事業											
	生活環境課				1,712	6,397	123,980	0	0			
8	04	02	02	98	0	0	0	0	0	-	-	-
	ペットボトル等処理センター費											
	生活環境課				0	0	0	0	0			
9	04	01	07	06	1,077	1,098	1,098	1,098	1,098	→	→	77
	気候変動対策事業											
	生活環境課				1,077	1,098	1,098	1,098	1,098			
10	06	02	01	03	151	202	202	202	202	-	-	-
	カーボンオフセット地球温暖化対策費											
	農林整備課				151	202	202	202	202			

第3次横手市総合計画 前期基本計画 施策方針書【政策4】

基本目標

活力と魅力にあふれ、産業が成長し続けるまちづくり

【政策4】

人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります

《産業振興》

令和 8年度 施策方針書

施策	★
実施計画	
中事業	

令和 8年2月策定

施策名	0401	農林業の持続的発展
------------	------	-----------

施策担当課	農林部・農業振興課	
担当課長職・氏名	課長 小松 淳	

1. 基本計画の位置付け

基本構想	①将来像	-	時代を受け継ぎ 磨き上げ 凛々しく羽ばたくまち よこて
	②基本目標	-	活力と魅力にあふれ、産業が成長し続けるまちづくり
基本計画	③政策	04	人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0401	農林業の持続的発展
	⑤目指す将来の姿	-	生産性と収益性の高い魅力ある農林業の展開により、活力ある地域社会が形成され、基幹産業である農林業が持続的に発展しています。

2. 取り組み方針

多様な担い手の確保と育成、農地の集積・集約化による生産基盤強化、及び気候変動に強い農業の推進に取り組みます。さらに農業の複合化と6次産業化による収益性の向上、スマート農業技術等の活用による農業生産の効率化と省力化を進めます。また、林業においても木材利用の推進や林業人材の育成に取り組み、森林環境譲与税を活用した適正な森林整備を推進します。

3. 主要事業の取り組み内容

- ①新規就農者の確保・育成はもとより、就労条件や労働環境の整備及び人材の確保支援、地域計画の実践による農地の面的集約などにより経営能力に優れた多様な経営体を育成。
- ②園芸作物の生産体制強化やスマート農業技術の活用により生産性と収益性の高い農業を推進。
- ③発酵文化や地域に根差す伝統的食文化、地域性のある作物生産など、地域の特性を生かした魅力ある農業を推進。
- ④農地の大区画化や水利施設の整備など生産基盤整備を進めるとともに、地域の共同活動によるこれら生産基盤の維持管理を推進。
- ⑤健全な森林づくりを目指し、再造林や保育への支援、また木材利用の促進や林業人材の育成により森林資源の循環利用を推進。

4. 指標の目標と推移

No	指標名	※下段：指標の取得方法	種別	単位		令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
1	「農林業の持続的発展」に対する市民満足度 ※まちづくりアンケート（ウェイト平均の100点換算）		成果	点	目標値			68	68	68
					実績値					
2	新規就農者数（年間） ※業務取得		成果	人	目標値			55	55	55
					実績値					
3	農業産出額（前前年度推計値） ※業務取得（前前年度推計値3月公表）		成果	億円	目標値			375	375	375
					実績値					
					目標値					
					実績値					
					目標値					
					実績値					
					目標値					
					実績値					

5. 施策内事業費の推移

(単位：千円)

		令和 6年度(決算)	令和 7年度(予算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)	令和10年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	114,774	0	14,141	21,913	26,913
	(b) 県支出金	734,559	820,917	891,919	2,177,552	897,211
	(c) 地方債	301,000	303,700	242,100	304,200	290,300
	(d) 使用料・手数料	2,090	2,299	2,327	2,315	2,315
	(e) その他特定財源	565,345	571,203	564,646	565,512	564,512
	(f) 一般財源	797,224	752,789	741,362	838,216	792,214
事業費の小計		2,514,992	2,450,908	2,456,495	3,909,708	2,573,465

6. 施策の達成状況 (令和 7年度施策評価結果[評価対象：令和 6年度]より)

①成果の分析	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農業産出額は価格の上昇もあり、ほぼコロナ禍以前のレベルまで戻っている。県内では野菜、果実が1位、米、畜産が2位などトータルで10年連続の1位となった。雪害から復興した果樹は被害前の生産額を超え順調な伸びを見せているなど、指標はおおむね目標を達成し順調に推移している。 ・ 従前からの複合農業の推進施策や就農支援のほか、農業用施設や果樹への災害復旧支援、小規模農家や中山間地域での営農継続支援などの各種事業の成果が表れているものと判断している。
②施策の有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資材価格高騰などの影響を受けながらも作付面積は大きく減少せずに営農が継続されている。 ・ 園芸振興拠点センターを核とした就農支援事業の充実や、県などと連携した経営支援、法人化支援の取り組みにより、将来を担う農業者の育成と確保が図られ、県内一の新規就農者を維持している。 ・ 大規模圃場や水利施設などの生産基盤の整備を推進するとともに、JAなどの関係機関と連携したアクションプランの実行により、高収益作物の振興と複合化の推進による農業所得の向上が図られている。
③施策内事業の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第二次農業振興計画に基づく「多様な経営体の育成」「生産基盤の強化」「地域特性を生かした農業の推進」「ブランド化と産地づくりの推進」「農林業・農村の多面的機能の発揮」の5つの視点からの事業であり、適切な事業構成となっている。 ・ 指標目標に対する実績はおおむね順調に推移しているが、今後も気象災害や社会情勢による農業経営への影響等を考慮し、事業構成や方向性について適宜検証を行い、見直しを図る必要がある。
④実施可能な改善内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 複合農業産地の更なる推進に向けて、社会情勢の変化などを的確に捉えながら県やJA等の関係団体との連携の下、各種支援事業の適宜見直しを図っていく。 ・ 担い手の確保・育成とともに、作業の効率化や高品質化、多様な労働力確保を支援する事業の充実を図る。また、農業の新たな価値創造、所得確保に向けた6次産業化推進の取り組みへの支援を強化する。 ・ 森林管理の適正化や森林資源の利活用に向けて、森林環境譲与税の有効活用に努める。

7. 令和 8年度に向けた施策の方向性 (令和 7年度施策評価結果[評価対象：令和 6年度]より)

成果向上		★	
成果維持			
	コスト拡大	コスト維持	コスト縮減

★=目指す方向

方向性の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・ 不安定な社会情勢による物価高騰や生産費の上昇など、農業経営にとって厳しい状況が続く中、営農継続への支援と耕作放棄地の拡大防止を目的とした施策を柱とし、各種事業の見直しを行い成果の向上を目指すことによって、産地としての地位向上と地域の維持に繋げていく必要がある。 ・ 中心経営体への農地集積が進み、単位経営体あたりの経営規模が急速に拡大していることを踏まえ、更なる農業生産基盤の整備と担い手となる経営体の育成・組織化の推進、スマート農業技術の普及による作業の効率化・省力化と農産物の高品質化が図られる取り組みへの支援を強化する必要がある。 ・ 夏場の異常高温が常態化しており、農産物の品質低下や収量減少など農家経営に大きな影響を及ぼしていることから、新たな農業技術や品種の導入を速やかに導入していく必要がある。 ・ 将来の横手市農業を牽引する担い手の確保と営農定着を図るため、幅広い年代層の就農支援に取り組むとともに、規模拡大や6次産業化などの取り組みが推進されるよう、農業者等が魅力を感じ、利用しやすい支援事業を継続的に実施していく必要がある。 ・ 「食料・農業・農村基本法」の改正や令和6年度に発生したコメ不足により、食料安保の議論も活発になっていることから国による農業施策の強化も期待されており、協調してしっかりと取り組む必要がある。 ・ 森林施業の適切な実施による森林の公益的機能の発揮、及び木材利用の促進や林業人材の確保に向け、森林環境譲与税の有効活用に努める必要がある。
--------	---

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大＝↑、維持＝→、縮小＝↓、ゼロコスト・休廃止＝×)

No	予算科目・大事業コード				令和 6年度 (決算額)	令和 7年度 (予算額)	令和 8年度 (計画額)	令和 9年度 (計画額)	令和10年度 (計画額)	事業の 方向性		総合 評価点
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源	
	実施計画事業名称											
	担当課名											
1	06	01	01	02	22,407	22,682	27,096	27,968	27,968	-	-	-
	農業委員会費											
2	農業委員会事務局				22,407	22,682	26,665	27,557	27,557	-	-	-
	農業委員会事務局											
3	06	01	01	03	3,466	3,652	3,792	3,652	3,652	-	-	-
	農業者年金受託事業											
4	農業委員会事務局				4,482	4,268	0	0	0	-	-	-
	農業委員会事務局											
5	06	01	01	03	3,466	3,652	3,792	3,652	3,652	-	-	-
	農業委員会事務局											
6	06	01	02	02	21,591	23,462	23,873	23,959	23,959	-	-	-
	農業総務事務費											
7	農業振興課				21,591	23,462	23,873	23,959	23,959	-	-	-
	農業振興課											
8	06	01	03	01	675	741	3,631	3,726	3,726	→	→	79
	農業振興センター事業											
9	農業振興課				675	741	3,631	3,726	3,726	→	→	79
	農業振興課											
10	農業指導センター事業				2,964	2,942	0	0	0	→	→	75
	農業指導センター事業											
11	農業振興課				2,964	2,942	0	0	0	→	→	75
	農業振興課											
12	06	01	03	02	596,774	639,548	803,915	1,587,125	808,582	→	→	83
	農業経営支援事業											
13	農業振興課				19,766	31,778	47,290	41,582	41,582	→	→	83
	農業振興課											
14	06	01	03	03	84,478	87,795	51,004	48,776	48,776	→	→	79
	直接支払交付金事業											
15	農業振興課				21,864	23,047	13,298	12,366	12,366	→	→	79
	農業振興課											
16	06	01	03	04	63,820	64,200	66,000	66,000	66,000	→	→	80
	作物振興事業											
17	農業振興課				29,643	29,200	31,800	31,000	31,000	→	→	80
	農業振興課											
18	06	01	03	05	45,097	42,473	34,216	35,458	29,217	→	→	90
	就農支援事業											
19	食農推進課				11,357	16,241	13,656	14,868	9,627	→	→	90
	食農推進課											
20	06	01	03	06	13,585	16,620	33,100	77,400	75,500	→	→	84
	果樹振興事業											
21	農業振興課				13,585	16,620	33,100	77,400	75,500	→	→	84
	農業振興課											
22	06	01	03	07	5,964	7,671	7,735	11,308	11,308	→	↑	81
	食農推進事業											
23	食農推進課				5,964	7,671	7,735	11,308	11,308	→	↑	81
	食農推進課											

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大＝↑、維持＝→、縮小＝↓、ゼロコスト・休廃止＝×)

No	予算科目・大事業コード				令和 6年度 (決算額)	令和 7年度 (予算額)	令和 8年度 (計画額)	令和 9年度 (計画額)	令和10年度 (計画額)	事業の 方向性		総合 評価点
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源	
	実施計画事業名称											
	担当課名											
13	06	01	03	08	3,791	4,598	4,392	3,298	3,198	→	→	77
	発酵文化のまちづくり事業											
	食農推進課				3,791	4,598	4,392	3,298	3,198			
14	06	01	03	10	706	1,223	1,166	1,200	1,200	→	→	76
	農山村振興事業											
	農業振興課				706	1,223	1,166	1,200	1,200			
15	06	01	03	11	407	210	330	330	330	→	→	75
	機能合体事業											
	農業振興課				0	0	0	0	0			
16	06	01	03	12	48,002	37,286	17,764	22,286	22,286	→	→	76
	果樹等自然災害復旧対策事業											
	農業振興課				48,002	37,286	17,764	22,286	22,286			
17	06	01	03	13	837	1,048	932	1,032	1,032	→	→	70
	地域活性化イベント事業											
	農業振興課				837	1,048	932	1,032	1,032			
18	06	01	04	01	44,928	47,380	42,783	54,500	54,500	→	→	83
	産地づくり事業											
	農業振興課				44,928	47,380	42,783	54,500	54,500			
19	06	01	04	02	19,973	23,578	24,158	22,387	22,387	→	→	79
	経営所得安定対策推進事業											
	農業振興課				0	750	799	300	300			
20	06	01	04	03	11,535	11,270	11,270	11,545	11,545	→	→	87
	水田活用推進事業											
	農業振興課				11,535	11,270	11,270	11,545	11,545			
21	06	01	05	01	10,276	10,276	7,500	10,276	10,276	↓	↓	80
	農作物防除推進対策事業											
	農業振興課				10,276	10,276	7,500	10,276	10,276			
22	06	01	06	01	791	971	971	1,021	1,021	→	→	72
	家畜伝染病予防対策事業											
	農業振興課				791	971	971	1,021	1,021			
23	06	01	06	02	1,283	1,463	1,463	1,575	1,575	→	→	68
	子牛生産奨励事業											
	農業振興課				1,283	1,463	1,463	1,575	1,575			
24	06	01	07	01	679	552	431	311	212	-	-	-
	農業経営利子補給費											
	農業振興課				250	203	158	116	77			

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大＝↑、維持＝→、縮小＝↓、ゼロコスト・休廃止＝×)

No	予算科目・大事業コード				令和 6年度 (決算額)	令和 7年度 (予算額)	令和 8年度 (計画額)	令和 9年度 (計画額)	令和10年度 (計画額)	事業の 方向性		総合 評価点
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源	
	実施計画事業名称											
	担当課名											
25	06	01	08	01	12,492	13,910	13,611	13,389	13,389	→	→	90
	農地総務事務費											
	農林整備課				12,478	13,896	13,597	13,375	13,375			
26	06	01	08	02	3,562	2,550	2,352	2,352	2,550	→	→	85
	高度土地利用調整事業											
	農林整備課				1,050	750	684	684	750			
27	06	01	08	03	153,832	185,210	102,602	122,752	146,760	→	→	89
	農業生産基盤整備事業											
	農林整備課				13,194	7,315	4,502	6,552	9,560			
28	06	01	08	04	156,266	154,133	133,696	208,050	139,338	↑	→	93
	農業水利施設整備事業											
	農林整備課				51,730	46,033	27,096	57,650	15,438			
29	06	01	08	05	6,590	14,200	15,400	2,501	503	→	→	93
	農村地域防災減災事業											
	農林整備課				790	1,500	1,600	301	103			
30	06	01	08	06	2,785	3,228	3,228	3,291	3,291	→	→	83
	基幹水利施設管理事業											
	農林整備課				531	825	745	860	860			
31	06	01	08	07	1,313	1,365	1,326	1,326	1,326	↓	→	76
	土壌汚染対策事業											
	農業振興課				1,313	1,365	1,326	1,326	1,326			
32	xx	xx	xx	98	0	0	0	0	0	-	-	-
	農道整備事業											
	山内地域課				0	0	0	0	0			
33	06	01	08	08	620,064	629,654	647,401	647,401	647,401	-	-	-
	多面的機能支払交付金事業											
	農林整備課				155,632	158,170	162,758	162,758	162,758			
34	06	01	08	09	598	701	714	701	701	-	-	-
	市民農園費											
	農業振興課				473	561	574	567	567			
35	06	01	09	01	1,720	2,210	2,292	2,130	2,130	-	-	-
	就業改善センター費											
	農業振興課				1,684	2,166	2,248	2,106	2,106			
36	06	01	09	02	492	512	512	512	512	-	-	-
	生活改善センター費											
	山内地域課				492	511	511	511	511			

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大＝↑、維持＝→、縮小＝↓、ゼロコスト・休廃止＝×)

No	予算科目・大事業コード				令和 6年度 (決算額)	令和 7年度 (予算額)	令和 8年度 (計画額)	令和 9年度 (計画額)	令和10年度 (計画額)	事業の 方向性		総合 評価点
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源	
	実施計画事業名称											
	担当課名											
37	06	01	09	03	2,754	3,102	3,216	3,102	3,102	→	→	71
	大雄農業団地センター費											
	大雄地域課				2,745	3,097	3,213	3,100	3,100			
38	06	01	09	05	3,692	3,318	2,726	2,730	2,824	-	-	-
	農産物加工・特産品生産振興施設費											
	農業振興課				2,669	2,257	2,172	2,174	2,268			
39	06	01	09	06	430	445	447	445	445	-	-	-
	泉の里地区水環境施設費											
	平鹿地域課				430	445	447	445	445			
40	06	01	09	08	4,922	6,683	6,269	6,269	6,269	-	-	-
	牧場費											
	農業振興課				4,364	6,133	5,773	5,769	5,769			
41	06	01	09	09	6,819	6,855	8,314	7,935	7,935	-	-	-
	死亡獣畜保冷施設費											
	農業振興課				6,109	5,953	7,421	7,033	7,033			
42	06	02	01	02	2,850	3,738	3,741	2,294	2,294	-	-	-
	林業総務事務費											
	農林整備課				2,850	3,738	3,739	2,293	2,293			
43	06	02	02	98	1,297	0	0	0	0	-	-	-
	林業振興総務費											
	農林整備課				502	0	0	0	0			
44	06	02	02	01	4,948	5,139	6,027	5,200	5,200	→	→	86
	民有林整備育成事業											
	農林整備課				0	4,143	5,527	4,700	4,700			
45	06	02	02	02	36,916	56,157	57,481	54,705	54,705	→	→	90
	造林事業											
	農林整備課				0	12,050	2,762	211	211			
46	06	02	02	07	11,000	11,000	9,900	9,900	9,900	→	→	86
	林道整備費											
	農林整備課				0	0	0	0	0			
47	06	02	02	03	24,804	42,221	27,826	46,300	38,300	→	→	87
	林道維持補修費											
	農林整備課				15,904	17,271	18,876	18,300	18,300			
48	06	02	03	02	4,820	4,169	8,854	34,169	34,169	-	-	-
	国産材需要開発センター費											
	山内地域課				4,820	4,169	8,854	34,169	34,169			

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大＝↑、維持＝→、縮小＝↓、ゼロコスト・休廃止＝×)

No	予算科目・大事業コード				令和 6年度 (決算額)	令和 7年度 (予算額)	令和 8年度 (計画額)	令和 9年度 (計画額)	令和10年度 (計画額)	事業の 方向性		総合 評価点					
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源		事業費 一般財源	事業費 一般財源	事業費 一般財源	コスト	活動
	実施計画事業名称																
	担当課名																
49	11	01	01	01	50,024	2,000	2,000	2,000	2,000	-	-	-					
	農地農業用施設災害復旧事業 農林整備課																
50	11	01	02	01	89,614	5,000	12,226	5,000	5,000	→	→	97					
	林業施設災害復旧事業 農林整備課																
51	06	01	03	14	56,129	54,522	14,865	15,581	15,831	→	→	80					
	よこて農業創生大学事業 食農推進課																
52	06	02	02	06	5,500	10,000	36,000	35,000	39,600	→	→	83					
	林道施設長寿命化事業 農林整備課																
53	06	02	02	05	62,185	76,140	71,464	65,200	65,400	↑	↑	91					
	森林経営管理事業 農林整備課																
54	06	01	03	97	0	0	0	0	0	-	-	-					
	インドネシア農業交流支援 事業 農業振興課																
55	06	01	03	95	114,774	0	0	0	0	↓	↓	83					
	地方創生臨時交付金事業 農業振興課																
56	06	01	03	15	9,828	35,000	33,000	33,000	33,000	↑	↑	82					
	スマート農業普及支援事業 農業振興課																
57					6,115	29	0	0	0	-	-	-					
	森林環境基金積立金 農林整備課																
58	06	01	03	17	3,801	40,908	0	0	0	↓	↓	78					
	農業災害等緊急支援事業 農業振興課																
59	06	01	06	03	568	14,000	18,000	520,000	20,000	→	→	75					
	畜産経営支援事業 農業振興課																
60					0	0	0	0	0	-	-	-					
	デジタル田園都市国家構想 交付金事業 農業振興課																

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大=↑、維持=→、縮小=↓、ゼロコスト・休廃止=×)

No	予算科目・大事業コード				令和 6年度 (決算額)	令和 7年度 (予算額)	令和 8年度 (計画額)	令和 9年度 (計画額)	令和10年度 (計画額)	事業の 方向性		総合 評価点					
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源		事業費 一般財源	事業費 一般財源	事業費 一般財源	コスト	活動
	実施計画事業名称																
	担当課名																
61	06	01	03	17	2,485	6,300	1,005	1,005	1,005	→	→	82					
	畑地化促進支援事業																
					0	0	0	0	0								
	農業振興課																
62	06	01	03	95	0	600	0	0	0	-	-	-					
	農山村振興事業																
					0	300	0	0	0								
	農業振興課																
63	06	01	03	97	0	200	0	0	0	-	-	-					
	みどりの食料システム戦略 推進事業																
					0	0	0	0	0								
	農業振興課																
64	06	01	03	98	0	0	0	0	0	-	-	-					
	スマート農業・農業支援サ ービス事業導入総合サポー																
					0	0	0	0	0								
	農業振興課																
65	06	01	03	18	0	0	42,478	40,335	40,335	-	-	-					
	園芸振興拠点管理費																
					0	0	42,218	40,084	40,084								
	食農推進課																

令和 8年度 施策方針書

施策	★
実施計画	
中事業	

令和 8年2月策定

施策名	0402	活気ある商業の振興
------------	------	-----------

施策担当課	商工観光部・商工労働課
担当課長職・氏名	課長 赤川 博幸

1. 基本計画の位置付け

基本構想	①将来像	-	時代を受け継ぎ 磨き上げ 凛々しく羽ばたくまち よこて
	②基本目標	-	活力と魅力にあふれ、産業が成長し続けるまちづくり
基本計画	③政策	04	人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0402	活気ある商業の振興
	⑤目指す将来の姿	-	起業・創業により新たなビジネスが創出されるとともに、地域に根差した魅力ある事業が未来へと承継されることで、市内商業が活性化しています。

2. 取り組み方針

個々の事業者の経営強化を支援するとともに、空き店舗対策や、商店街、商工団体などが行う地域商業を活性化させるための取組を支援します。あわせて事業承継のマッチングを進めます。また、Bizサポートよこてを活用した起業家への支援や相談体制を充実させ、経営者としての成長、事業の発展、活動を後押しするための育成支援を行います。

3. 主要事業の取り組み内容

①空き店舗の活用推進 ②市内事業者のチャレンジ支援 ③商店街の環境整備への支援
 ④市内事業者の事業承継ニーズの把握 ⑤事業承継支援策の検討及び情報発信
 ⑥起業・創業への機運醸成 ⑦起業・創業のための支援体制の充実 ⑧起業・創業後のフォローアップの充実

4. 指標の目標と推移

No	指標名 ※下段：指標の取得方法	種別	単位		令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
1	「商業の振興」に対する市民満足度	成果	点	目標値			62.7	62.7	62.7
	※まちづくりアンケート（ウェイト平均の100点換算）			実績値					
2	起業家数（年間）（起業創業支援事業等活用延べ人数）	成果	人	目標値			55	55	55
	※「創業支援等事業計画」により市等が実施する支援を受けた起業・創業者			実績値					
				目標値					
				実績値					
				目標値					
				実績値					
				目標値					
				実績値					

5. 施策内事業費の推移

(単位：千円)

		令和 6年度(決算)	令和 7年度(予算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)	令和10年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	4,700	5,500	5,500	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	2,922	2,868	2,791	2,883	2,883
	(e) その他特定財源	802,866	685,358	600,362	600,415	600,415
	(f) 一般財源	120,673	249,056	312,544	292,445	259,783
事業費の小計		931,161	942,782	921,197	895,743	863,081

6. 施策の達成状況 (令和 7年度施策評価結果[評価対象：令和 6年度]より)

①成果の分析	<ul style="list-style-type: none"> ・物価高騰等の影響により、市民満足度は依然として低い状態であった。 ・事業所数は横ばい状態であった。 ・起業、創業者数については安定傾向であった。 ・空き店舗利活用事業は、前年度を上回ったものの、創出事業については2件と同数であった。
②施策の有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・現状に即した商業振興事業の取組が重要であり、事業所等の経営安定策の実施や地域経済活性化のための支援策を行った。
③施策内事業の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・商工団体や金融機関等関係団体との連携を密にしながら事業を推進することができた。
④実施可能な改善内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市商工業振興計画にそって着実な事業実施と進捗、効果の検証を適切に行い推進する。 ・きめ細かな起業支援を行いながら、起業後の支援（伴走型）事業に重点を置き、活気ある商業の振興を図る。 ・物価高騰に対する施策を検討する。

7. 令和 8年度に向けた施策の方向性 (令和 7年度施策評価結果[評価対象：令和 6年度]より)

成果向上			
成果維持		★	
	コスト拡大	コスト維持	コスト縮減

★=目指す方向

方向性の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりアンケート結果においては、市民満足度が最下位であったことから、効果的な対策が求められている。 ・物価高騰やエネルギー価格高騰の影響が経営を圧迫しており、それらに対応した支援策が必要である。 ・市商工業振興計画期間延長に伴い、着実な事業実施と進捗、効果の検証を適切に行うことで「まちに元気とにぎわい」を創出するとともに、事業承継ならびに更なる起業・創業への後押し支援策を講じる必要がある。
--------	---

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大＝↑、維持＝→、縮小＝↓、ゼロコスト・休廃止＝×)

No	予算科目・大事業コード				令和 6年度 (決算額)	令和 7年度 (予算額)	令和 8年度 (計画額)	令和 9年度 (計画額)	令和10年度 (計画額)	事業の 方向性		総合 評価点
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源	
	実施計画事業名称											
	担当課名											
1	07	01	01	02	1,044	3,893	3,251	3,781	3,781	-	-	-
	商工総務事務費											
2	07	01	02	01	862,100	866,851	847,621	821,937	788,825	→	→	86
	金融対策費											
3	07	01	02	02	30,435	30,650	31,250	31,550	31,550	→	→	83
	地域商業活性化支援事業											
4	07	01	02	03	1,500	1,500	1,694	1,530	1,530	→	→	83
	商工団体連携地域活性化事業											
5	07	01	02	04	1,905	1,927	1,915	1,927	1,927	-	-	-
	市場管理費											
6	07	01	02	07	390	390	390	390	390	→	→	86
	山内杜氏組合支援事業											
7	07	01	04	03	4,926	5,234	5,035	5,035	5,485	-	-	-
	顧客利便施設費											
8					1,692	1,551	0	0	0	-	-	-
	コミュニティラウンジ管理費											
9	07	01	04	09	4,001	4,179	4,251	4,150	4,150	-	-	-
	商店街振興施設管理事業											
10	07	01	02	97	208,338	0	0	0	0	↓	↓	84
	地方創生臨時交付金事業											
11	07	01	02	08	23,168	26,607	21,176	21,176	21,176	→	↑	87
	起業・創業支援事業											
12	07	01	02	97	0	0	0	0	0	-	-	-
	伝統的産業緊急支援事業											

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大=↑、維持=→、縮小=↓、ゼロコスト・休廃止=×)

No	予算科目・大事業コード				令和 6年度 (決算額)	令和 7年度 (予算額)	令和 8年度 (計画額)	令和 9年度 (計画額)	令和10年度 (計画額)	事業の 方向性		総合 評価点
	款	項	目	事業						事業費	事業費	
	実施計画事業名称				事業費	事業費	事業費	事業費	事業費			
	担当課名				一般財源	一般財源	一般財源	一般財源	一般財源			
13	07	01	02	21	0	0	4,614	4,267	4,267	-	-	-
	Bizサポートよこて費											
	商工労働課				0	0	2,438	2,091	2,091			

令和 8年度 施策方針書

施策	★
実施計画	
中事業	

令和 8年2月策定

施策名	0403	活力ある工業の振興
------------	------	-----------

施策担当課	商工観光部・商工労働課
担当課長職・氏名	商工労働課長 赤川 博幸

1. 基本計画の位置付け

基本構想	①将来像	-	時代を受け継ぎ 磨き上げ 凛々しく羽ばたくまち よこて
	②基本目標	-	活力と魅力にあふれ、産業が成長し続けるまちづくり
基本計画	③政策	04	人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0403	活力ある工業の振興
	⑤目指す将来の姿	-	高付加価値を生み出す競争力の高い企業が多く操業していることで市内経済活動が活性化し、地域産業が発展しています。

2. 取り組み方針

当市経済の牽引産業である輸送機関連産業をはじめ市内の地域産業を更に成長させるため、企業間のマッチングや設備投資を支援し、産業としての厚みの増加を図ります。また、競争力の高い企業育成のため、効率的な生産体制の構築や付加価値化を推進し支援することで、活力ある地域産業及び雇用創出に取り組みます。

3. 主要事業の取り組み内容

①市内事業者の経営力強化のための施策の推進 ②市内製造業の更なる成長に向けた適切な支援 ③多角的な視点による地域産業の育成 ④多種多様な産業の誘致活動 ⑤効果的な企業支援

4. 指標の目標と推移

No	指標名 ※下段：指標の取得方法	種別	単位	目標値	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
1	「工業の振興」に対する市民満足度	成果	点	目標値			66	66	66
	※まちづくりアンケート（ウェイト平均の100点換算）			実績値					
2	輸送機関連産業集積数（累計）	成果	社	目標値			12	12	12
	※経済構造実態調査（実績は調査年）			実績値					
				目標値					
				実績値					
				目標値					
				実績値					
				目標値					
				実績値					

5. 施策内事業費の推移

(単位：千円)

		令和 6年度(決算)	令和 7年度(予算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)	令和10年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	1,711	2,200	2,300	2,200	2,200
	(c) 地方債	851,600	358,300	349,400	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	70	70	70	70
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	189,329	246,153	252,823	194,333	194,333
事業費の小計		1,042,640	606,723	604,593	196,603	196,603

6. 施策の達成状況 (令和 7年度施策評価結果[評価対象：令和 6年度]より)

①成果の分析	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりアンケートによる結果から、重要度に対し依然として満足度が低い状態である。 ・市内事業所数（製造業）は増加傾向であるが、製造品出荷額等については目標値に届かなかった。
②施策の有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・市内事業者等が抱える課題解決に向けた支援と生産性向上への意識の醸成、動機づけに資する施策を積極的に展開することができた。（横手市企業振興条例に基づく各種支援等）
③施策内事業の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・輸送用機械器具製造業をはじめとする製造業は市内総生産額や雇用規模が大きく、本市経済のけん引役産業であることから、更なる成長を促進する支援が必要。
④実施可能な改善内容	<ul style="list-style-type: none"> ・生産性向上への意識の醸成、動機づけに資する施策の展開が必要。 ・国、県等の助成制度や各種セミナーの開催など、有益な情報の積極的な提供が必要。 ・エネルギー価格高騰の影響により経営が圧迫されていることから、それに対する支援が必要。

7. 令和 8年度に向けた施策の方向性 (令和 7年度施策評価結果[評価対象：令和 6年度]より)

成果向上			
成果維持		★	
	コスト拡大	コスト維持	コスト縮減

★=目指す方向

方向性の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・市商工業振興計画期間延長による着実な事業実施と、進捗、効果の検証を適切に行うことで「挑戦する事業者を支援、まちを豊か」にするとともに、市内製造業等の更なる成長支援策が必要。 ・引き続き、地域企業が連携、協力して生産に取り組める環境づくりと、課題解決や競争力強化のきめ細かな支援が必要。 ・横手市企業振興条例に基づく各種支援の継続が必要。 ・国、県等の助成制度や各種セミナーの開催など、有益な情報の積極的な提供が必要。 ・エネルギー価格高騰の影響により経営が圧迫されていることから、それに対する支援が必要。
--------	---

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大=↑、維持=→、縮小=↓、ゼロコスト・休廃止=×)

No	予算科目・大事業コード				令和 6年度 (決算額)	令和 7年度 (予算額)	令和 8年度 (計画額)	令和 9年度 (計画額)	令和10年度 (計画額)	事業の 方向性		総合 評価点
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源	
	実施計画事業名称											
	担当課名											
1	07	01	02	05	145,397	180,163	2,532	2,282	2,282	→	→	86
	工業振興費 商工労働課											
2	07	01	02	20	400,000	400,000	400,000	100,000	100,000	→	→	86
	成長産業支援事業 商工労働課											
3	07	01	02	09	2,165	2,120	0	0	0	↓	↓	70
	地域ビジネス発掘調査事業 商工労働課											
4	07	01	02	09	13,236	22,000	17,000	20,000	20,000	→	→	80
	中小企業活性化支援事業 商工労働課											
5	07	01	02	10	1,082	1,200	1,200	1,200	1,200	→	→	83
	機能合体事業 商工労働課											
6	07	01	02	15	760	1,240	7,980	1,240	1,240	-	-	-
	工業団地管理費 商工労働課											
7	07	01	02	22	0	0	175,881	71,881	71,881	-	-	-
	企業振興・企業立地促進事業 商工労働課											

令和 8年度 施策方針書

施策	★
実施計画	
中事業	

令和 8年2月策定

施策名	0404	地域資源を生かした観光・物産振興
------------	------	------------------

施策担当課	商工観光部・観光おもてなし課	
担当課長職・氏名	観光おもてなし課長 山本 剛	

1. 基本計画の位置付け

基本構想	①将来像	-	時代を受け継ぎ 磨き上げ 凛々しく羽ばたくまち よこて
	②基本目標	-	活力と魅力にあふれ、産業が成長し続けるまちづくり
基本計画	③政策	04	人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0404	地域資源を生かした観光・物産振興
	⑤目指す将来の姿	-	当地の地域資源を活用した観光の推進により、国内外観光客の満足度と市民の関心が高まり、観光客増加の好循環が起こっています。また、農商工が連携した「稼ぐ観光」施策を展開することで観光消費額が拡大し、市内経済が活性化しています。

2. 取り組み方針

当市が有する地域資源を守り、磨き上げを行うことで、その魅力を最大限に引き出し、観光客のニーズに対応した「観光のまちよこて」を推進します。その上で、戦略的な観光誘客と物産振興、情報発信や消費の誘導により、市内事業者の連動性と生産性を高め、「稼ぐ観光」の実現に向けた取組・支援を推進していきます。

3. 主要事業の取り組み内容

- ①魅力ある観光資源の活用：多様な観光資源のポテンシャルを引き出し、活用する取り組みを進めていきます。
- ②観光誘客の取り組み強化：冬季観光需要の底上げや広域的な取り組み、シビックプライドの醸成などを進めていきます。
- ③効果的な情報発信：ターゲットに合わせた情報媒体の活用や、データを活用した戦略的プロモーションに取り組みます。
- ④地域資源を活用した産業振興：応援人口をターゲットに地域製品の販売や、付加価値の高いサービスを地域内外に展開します。
- ⑤稼ぐ観光の推進：データやマーケティングに基づいたコンテンツや商品造成を支援します。
- ⑥観光施設の適正な管理：安心で安全な観光のための情報周知の強化と適正な施設維持管理を実施し、魅力アップに努めます。

4. 指標の目標と推移

No	指標名 ※下段：指標の取得方法	種別	単位		令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
1	「観光の振興」に対する市民満足度	成果	点	目標値			65.9	65.9	65.9
	※まちづくりアンケート（ウェイト平均の100点換算）			実績値					
2	市内延べ宿泊者数（年間）	成果	千人	目標値			235	237	239
	※市内宿泊施設調査			実績値					
3	市内観光入込客数（年間）	成果	千人	目標値			3,092	3,123	3,154
	※秋田県観光統計調査（秋田県取りまとめ、横手市調査）			実績値					
				目標値					
				実績値					
				目標値					
				実績値					
				目標値					
				実績値					

5. 施策内事業費の推移

(単位：千円)

		令和 6年度(決算)	令和 7年度(予算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)	令和10年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	716	5,751	0	0	0
	(b) 県支出金	5,399	4,456	4,467	4,468	4,468
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	2,166	2,009	2,170	2,009	2,009
	(e) その他特定財源	2,908	5,662	54,941	2,380	2,380
	(f) 一般財源	545,224	596,380	546,520	328,798	318,655
事業費の小計		556,413	614,258	608,098	337,655	327,512

6. 施策の達成状況 (令和 7年度施策評価結果[評価対象：令和 6年度]より)

①成果の分析	<ul style="list-style-type: none"> 観光入込み客数については令和元年以来の300万人超え、宿泊客数は233千人と歴代2番目を記録した。全国的にも観光需要が増加していることに加え、市内においては官民が連携してきた成果と捉えている。 よこてfun通信の読者は順調に増加しており、応援人口の確保につながっている。リトルよこてなど対面型の事業と連動して展開していることも相乗効果と呼んでいる。
②施策の有効性	<ul style="list-style-type: none"> 人口減少により地域内消費が減少していく中において、既存のインフラを活用し外貨獲得や地域内経済の活性化に即効性を発揮する産業施策として有効である。 応援人口の確保は、潜在的・将来的な観光・物産消費需要の増加につながり、横手に思い入れが強い顧客層の獲得策として有効である。
③施策内事業の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 観光施策については目的とする「外貨獲得」「地域経済活性化」「横手市の顔作り」を目的とする事業展開が行われており、総じて横手ブランドの創出につながっており妥当である。 物産施策については、横手市の潜在的な顧客を獲得する「よこてファン」作りについて、物産振興事業や小売市場を対象とした事業が戦略的に組み立てられており、妥当である。
④実施可能な改善内容	<ul style="list-style-type: none"> 誘客面では一定の効果が表れていると認識しているが、今後は一步踏み込んで、市内事業者の収益につなげる視点を持った事業展開が必要である。 少子化が進行する中、伝統のまつり・イベントは地域経済の活性化だけでなく、子供たちにとって地元を記憶に刻む数少ない機会となっているため、まつりやイベントを広い視野で捉える必要がある。

7. 令和 8年度に向けた施策の方向性 (令和 7年度施策評価結果[評価対象：令和 6年度]より)

成果向上	★		
成果維持			
	コスト拡大	コスト維持	コスト縮減

★=目指す方向

方向性の理由	<p>人口が減少し地域内消費の減少が予測される中、外貨を獲得していくことは必須である。中でも観光・物産分野は既存のインフラで展開可能であり、景気浮揚や雇用拡大に比較的即効性のある施策である。また、目に見えて人の流れが増える事は、市民の元気と誇りにもつながる。</p> <p>このように観光施策は、「産業施策」と「まちの顔作り・シビックプライド向上」の両面を併せ持っているが、市内観光団体・業界では、より収益につながる展開を考えていきたい意向であり、産業施策としての側面を重視しながら、相乗効果を追求するための経営資源を投入していく必要がある。</p> <p>また、少子化が進行する中、伝統のまつり・イベントは地域経済の活性化だけでなく、子供たちにとって地元を記憶に刻む数少ない機会となっているため、これまで観光分野で支えてきたまつりやイベントを従来の枠組みで支えながら、観光分野だけでなく広い視野で捉える必要がある。</p> <p>さらに令和 8年には新体育館が完成し、新たな人の流れが創出される。これを既存の観光資源と組み合わせ、官民を挙げて観光全体をステップアップさせていく必要がある。</p> <p>以上を踏まえ、経営資源の拡大と効果の向上を目指すべき施策であると捉えている。</p>
--------	---

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大＝↑、維持＝→、縮小＝↓、ゼロコスト・休廃止＝×)

No	予算科目・大事業コード				令和 6年度 (決算額)	令和 7年度 (予算額)	令和 8年度 (計画額)	令和 9年度 (計画額)	令和10年度 (計画額)	事業の 方向性		総合 評価点
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源	
	実施計画事業名称											
	担当課名											
1	07	01	02	06	420	598	631	631	631	-	-	-
	山内地場産品直売施設費											
山内地域課				420	598	631	631	631	-	-	-	
2	07	01	02	10	2,403	2,462	2,474	2,473	2,473	→	→	80
	機能合体事業											
横手の魅力営業課				4	6	7	5	5	-	-	-	
3	07	01	02	11	2,690	2,679	2,823	2,690	2,690	-	-	-
	横手の魅力営業総務費											
横手の魅力営業課				2,690	2,679	2,823	2,690	2,690	-	-	-	
4	07	01	02	13	8,606	9,995	9,995	9,695	9,695	↑	↑	83
	横手産品販路拡大事業											
横手の魅力営業課				8,606	9,995	9,995	9,695	9,695	-	-	-	
5	07	01	03	01	85,183	116,057	89,141	82,111	84,231	↑	↑	81
	観光振興事業											
観光おもてなし課				81,256	108,306	87,141	80,111	82,231	-	-	-	
6	07	01	04	02	23,721	28,712	26,178	24,829	24,829	-	-	-
	横手駅東西交流施設費											
観光おもてなし課				23,009	26,849	25,459	24,110	24,110	-	-	-	
7	07	01	04	04	7,689	8,820	9,088	9,225	9,225	-	-	-
	展望台費											
観光おもてなし課				6,316	7,348	7,143	7,348	7,348	-	-	-	
8	07	01	04	01	53,931	64,246	112,459	59,684	59,684	-	-	-
	ふれあいセンターかまくら館費											
観光おもてなし課				53,931	64,246	59,899	59,684	59,684	-	-	-	
9	07	01	04	06	4,389	3,622	3,612	3,731	3,622	→	→	-
	真人山荘費											
増田地域課				4,389	3,622	3,612	3,731	3,622	-	-	-	
10	07	01	04	07	6,582	7,665	7,476	7,488	7,665	-	-	-
	ふれあい交流センター費											
山内地域課				6,582	7,665	7,476	7,488	7,665	-	-	-	
11	07	01	04	08	39,153	18,997	18,298	15,037	15,038	→	→	74
	道の駅費											
観光おもてなし課				38,747	18,547	18,297	15,037	15,038	-	-	-	
12	07	01	04	05	25,482	27,256	30,823	30,823	30,823	→	↑	-
	増田のまちなみ観光施設費											
増田地域課				24,689	26,479	29,901	29,994	29,994	-	-	-	

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大=↑、維持=→、縮小=↓、ゼロコスト・休廃止=×)

No	予算科目・大事業コード				令和 6年度 (決算額)	令和 7年度 (予算額)	令和 8年度 (計画額)	令和 9年度 (計画額)	令和10年度 (計画額)	事業の 方向性		総合 評価点					
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源		事業費 一般財源	事業費 一般財源	事業費 一般財源	コスト	活動
	実施計画事業名称																
	担当課名																
13	07	01	05	01	23,633	21,903	5,855	6,200	6,200	↓	↓	65					
	温泉観光施設費																
	商工労働課				23,633	21,591	5,591	5,936	5,936								
14	07	01	05	02	189,000	204,261	206,934	0	0	↓	↓	52					
	市営温泉施設特別会計繰出金																
	商工労働課				189,000	204,261	206,934	0	0								
15	07	01	03	02	58,616	65,295	52,118	52,845	40,513	↑	↑	81					
	観光誘客推進事業																
	観光おもてなし課				57,397	62,898	52,118	52,845	40,513								
16	07	01	02	14	16,105	15,996	15,220	15,220	15,220	↑	↑	80					
	応援人口拡大事業																
	横手の魅力営業課				15,745	15,596	14,820	14,820	14,820								
17	07	01	03	04	1,240	1,440	1,440	1,440	1,440	→	→	72					
	よこて観光地域づくり推進事業																
	観光おもてなし課				1,240	1,440	1,440	1,440	1,440								
18	07	01	02	12	4,156	4,254	6,533	6,533	6,533	↑	↑	76					
	横手の物産活性化事業																
	横手の魅力営業課				4,156	4,254	6,233	6,233	6,233								
19	07	01	03	06	3,412	10,000	7,000	7,000	7,000	→	→	58					
	民間温泉施設支援事業																
	商工労働課				3,412	10,000	7,000	7,000	7,000								

令和 8年度 施策方針書

施策	★
実施計画	
中事業	

令和 8年2月策定

施策名	0405	魅力ある企業の育成と雇用機会の拡大
------------	------	-------------------

施策担当課	商工観光部・商工労働課	
担当課長職・氏名	課長 赤川 博幸	

1. 基本計画の位置付け

基本構想	①将来像	-	時代を受け継ぎ 磨き上げ 凛々しく羽ばたくまち よこて
	②基本目標	-	活力と魅力にあふれ、産業が成長し続けるまちづくり
基本計画	③政策	04	人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
	④施策	0405	魅力ある企業の育成と雇用機会の拡大
	⑤目指す将来の姿	-	多様な職種の企業が成長し、魅力ある就業の場が増えることで、地域の将来を担う世代をはじめ、多くの人々が地元で生き生きと活躍しています。

2. 取り組み方針

若者の地元企業への定着のため、県や関係機関と連携しながら産業用地の確保に努め、多種多様な企業の誘致を推進します。また、より働きやすい職場づくりを推進する企業等の支援や、その魅力を効果的に発信し、地元定着を促すとともに、進学等で地元を離れた若者に地元回帰を促す取組を推進します。

3. 主要事業の取り組み内容

①市内事業所の人材確保の機会創出とマッチング支援 ②企業の採用活動への支援 ③幅広い世代への市内事業所の魅力発信
 ④多様で柔軟な働き方の推進 ⑤働き方改革に取り組む事業者への支援 ⑥関係機関との連携強化による働き方改革に関する制度、セミナーなどの情報発信 ⑦勤労者向け福利厚生事業の推進 ⑧高齢者活躍の機会創出支援

4. 指標の目標と推移

No	指標名	※下段：指標の取得方法	種別	単位		令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
1	「企業育成と雇用対策」に対する市民満足度	※まちづくりアンケート（ウェイト平均の100点換算）	成果	点	目標値			62.3	62.3	62.3
					実績値					
2	操業中の誘致企業数	※横手市誘致企業一覧	成果	社	目標値			63	64	65
					実績値					
3	市内延べ就職者数（年間）	※横手公共職業安定所	成果	人	目標値			1,900	1,900	1,900
					実績値					
					目標値					
					実績値					
					目標値					
					実績値					

5. 施策内事業費の推移

(単位：千円)

		令和 6年度(決算)	令和 7年度(予算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)	令和10年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	132,676	0	0
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	72,875	71,007	71,007	71,001	71,001
	(f) 一般財源	144,335	383,440	180,125	50,203	50,426
事業費の小計		217,210	454,447	383,808	121,204	121,427

6. 施策の達成状況 (令和 7年度施策評価結果[評価対象：令和 6年度]より)

①成果の分析	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりアンケートの結果から、重要度は上位であるものの、満足度は下位であった。 ・少子高齢化により新規高卒者数も年々減少してきている状況でありながらも、県内就職希望者率が前年度よりも上昇した。 ・企業立地の進行により働く場が増加傾向にあり、大学生等の市内就職にも期待している。 ・横手第二工業団地への企業誘致が進み、誘致企業数の総数としては増となった。
②施策の有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用の場の確保は進んでいるものの、働き手となる労働人口の確保対策を再検討する必要がある。 ・企業誘致や既存企業を支援することで、若者に選んでもらえる職場を創出することが重要である。 ・新たに誘致した企業と市内企業との連携した事業展開が期待できる。
③施策内事業の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少、少子高齢化による生産年齢人口減少社会において、若者の地元定着に結びつけるため、地元企業等の魅力を伝えるための事業展開が必要。
④実施可能な改善内容	<ul style="list-style-type: none"> ・採用活動に関し、インターンシップ活動事業に変わる事業を計画する必要がある。 ・若者等の地元定着のため、県やハローワーク、商工団体等関係者と更なる連携が必要。 ・市内企業のPRに力を入れ、スムーズに操業開始できるよう企業が求めるスキルを持った人材の確保をサポートしていく。

7. 令和 8年度に向けた施策の方向性 (令和 7年度施策評価結果[評価対象：令和 6年度]より)

成果向上			
成果維持	★		
	コスト拡大	コスト維持	コスト縮減

★=目指す方向

方向性の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・市商工業振興計画期間延長による着実な事業実施と、進捗、効果の検証を適切に行うことで「働く場を創出し、永く暮らし続けるまちに」、「横手の優秀な人材でまちを元気に」するため引き続きの支援、取り組みが必要。 ・企業誘致による多様な職場確保と、企業が求める人材確保への支援策として「採用活動応援事業」を充実させ、併せて採用情報等の発信元となる「Jobナビ」の更新が求められている。 ・企業の成長に向けた支援や、企業誘致に力を入れ、高卒者への就職説明会等開催による市内就職を促す施策を強力的に行っていくことが重要である。なお、就職面接会についてはコロナ禍より形態が変化していることから求職者が望んでいるスタイルに転換する必要がある。 <p>また、小、中学校の児童生徒や進学を希望する高校生へ地元の事業所の魅力を発信し、就業啓発による地元定着に結び付けが必要。</p>
--------	---

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大=↑、維持=→、縮小=↓、ゼロコスト・休廃止=×)

No	予算科目・大事業コード				令和 6年度 (決算額)	令和 7年度 (予算額)	令和 8年度 (計画額)	令和 9年度 (計画額)	令和10年度 (計画額)	事業の 方向性		総合 評価点
	款	項	目	事業						コスト	活動	
	実施計画事業名称				事業費	事業費	事業費	事業費	事業費			
	担当課名				一般財源	一般財源	一般財源	一般財源	一般財源			
1	05	01	01	01	92,275	92,492	92,436	92,461	92,461	→	→	83
	労働・雇用対策事業											
2	05	01	01	02	1,454	1,652	1,698	1,652	1,875	-	-	-
	総合技能センター費											
3	05	01	01	03	4,325	4,450	18,801	5,881	5,881	↑	↑	83
	若年者等人財育成・地元定着支援事業											
4	05	01	02	01	11,112	13,880	13,849	13,732	13,732	-	-	-
	勤労者等福祉施設費											
5	07	01	02	17	2,912	3,151	3,188	3,151	3,151	→	→	75
	産業誘致対策事業											
6	07	01	02	16	3,496	4,386	3,332	3,327	3,327	→	→	78
	企業誘致対策費											
7	07	01	02	18	3,373	3,500	3,500	0	0	→	→	73
	IT・ソフトウェア関連産業企業立地優遇制度助成事業											
8	07	01	02	97	0	0	0	0	0	-	-	-
	地方創生臨時交付金事業											
9	07	01	02	19	98,263	330,936	246,004	0	0	→	→	86
	工業団地整備事業											
10	07	01	02	23	0	0	1,000	1,000	1,000	-	-	-
	サテライトオフィス誘致推進事業											
					0	0	1,000	1,000	1,000			

第3次横手市総合計画 前期基本計画 施策方針書【政策5】

基本目標

四季を通じ暮らしやすいまちづくり

【政策5】

地域の特色を生かし安心して暮らし続けられる、リスクに強いまちづくりを進めます《建設交通》

令和 8年度 施策方針書

施策	★
実施計画	
中事業	

令和 8年2月策定

施策名	0501	雪国の安全・安心な暮らしの実現
------------	------	-----------------

施策担当課	建設部・建設課	
担当課長職・氏名	建設課長 高橋 英樹	

1. 基本計画の位置付け

基本構想	①将来像	-	時代を受け継ぎ 磨き上げ 凛々しく羽ばたくまち よこて
	②基本目標	-	四季を通じ暮らしやすいまちづくり
基本計画	③政策	05	地域の特色を生かし安心して暮らし続けられる、リスクに強いまちづくりを進めます
	④施策	0501	雪国の安全・安心な暮らしの実現
	⑤目指す将来の姿	-	民間と行政の協働による雪対策の実施や道路交通網の整備により、安全で快適な冬期間の暮らしが実現されています。

2. 取り組み方針

雪処理を行政だけで対応していくには限界がある状況となっています。市民の安全で快適な冬期間の暮らしを実現するため、更なる効率化と市民との協働の視点に留意し、総合雪対策基本計画に基づき各種施策を展開します。

3. 主要事業の取り組み内容

- ・安全で暮らしやすい雪みちを確保するため、道路除排雪の効率化と安定的・持続的な除雪体制づくりを進めます。
- ・豪雪時でも、安全な交通を確保するため、市民の協働除雪に対する意識醸成に努めます。
- ・雪処理に伴う負担軽減や事故等を未然に防ぐための、住環境整備への支援を継続的に進めます。

4. 指標の目標と推移

No	指標名 ※下段：指標の取得方法	種別	単位		令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
1	市の雪対策（道路除排雪）への市民満足度	成果	点	目標値			63.1	63.1	63.1
	※まちづくりアンケート（ウェイト平均の100点換算）			実績値					
2	除排雪作業に係る事故件数（年間）	成果	件	目標値			0	0	0
	※財産経営課による公用車事故取りまとめによる			実績値					
3	1 早朝あたりの道路除排雪に関する苦情件数	成果	件	目標値			5	5	5
	※各地域局毎の苦情処理件数集計及び早朝除雪出動集計			実績値					
				目標値					
				実績値					
				目標値					
				実績値					

5. 施策内事業費の推移

(単位：千円)

		令和 6年度(決算)	令和 7年度(予算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)	令和10年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	359,883	83,453	118,245	113,716	159,482
	(b) 県支出金	1,786	1,735	1,185	1,185	1,185
	(c) 地方債	137,900	161,500	227,000	55,300	78,200
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	12,721	13,321	13,326	13,558	13,558
	(f) 一般財源	2,180,230	1,238,803	1,381,593	1,342,354	1,342,337
事業費の小計		2,692,520	1,498,812	1,741,349	1,526,113	1,594,762

6. 施策の達成状況 (令和 7年度施策評価結果[評価対象：令和 6年度]より)

①成果の分析	<ul style="list-style-type: none"> 少雪だった令和5年度よりは多かったものの、平年と比較すると雪の量は少し少ない年となった。一時的に大雪となった期間もあったが、計画的に除排雪作業を実施したことで、概ね目標を達成することが出来た。
②施策の有効性	<ul style="list-style-type: none"> 冬期間における歩行者や車両等の安全な通行を確保するとともに、住民の快適な生活環境を実現するために有効な施策である。
③施策内事業の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市民生活と産業を支える道路交通の確保と安全安心な雪国の暮らしの支援のため、必要不可欠な事業であると考えられる。
④実施可能な改善内容	<ul style="list-style-type: none"> 「総合雪対策基本計画」のアクションプログラムを着実に実現していく。

7. 令和 8年度に向けた施策の方向性 (令和 7年度施策評価結果[評価対象：令和 6年度]より)

成果向上			
成果維持		★	
	コスト拡大	コスト維持	コスト縮減

★=目指す方向

方向性の理由	<ul style="list-style-type: none"> 人口減少は進んでいるが、現在の都市構造のままでは大幅な除雪路線の延長縮小を見込める状況ではない。また、豪雪の際の反省から排雪作業を重点的に実施していることに加え、昨今の労務費や燃料費の高騰により、コストは増大傾向にある。 市民も雪対策は重要と認識しており、「総合雪対策基本計画」アクションプログラムに基づき、雪国での安全で快適な暮らしの実現に向け着実に各事業を実行していくことが重要と考える。
--------	---

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大=↑、維持=→、縮小=↓、ゼロコスト・休廃止=×)

No	予算科目・大事業コード				令和 6年度 (決算額)	令和 7年度 (予算額)	令和 8年度 (計画額)	令和 9年度 (計画額)	令和10年度 (計画額)	事業の 方向性		総合 評価点
	款	項	目	事業						コスト	活動	
	実施計画事業名称				事業費	事業費	事業費	事業費	事業費			
	担当課名				一般財源	一般財源	一般財源	一般財源	一般財源			
1	02	01	08	08	98	224	193	224	224	→	↓	60
	雪となかよく暮らす条例推進事業											
	地域づくり支援課				98	224	193	224	224			
2	08	02	05	01	2,330,524	1,149,784	1,448,275	1,418,459	1,487,108	→	→	91
	道路等除排雪事業											
	建設課				2,067,079	1,148,634	1,274,750	1,251,763	1,251,746			
3	除雪機械購入費				148,942	120,800	0	0	0	→	→	97
	建設課				1,433	67	0	0	0			
4	08	02	05	02	173,922	184,714	249,591	64,140	64,140	→	→	94
	克雪施設（流雪溝・消雪パイプ・消融雪溝等）管理費											
	建設課				75,301	50,093	66,865	50,582	50,582			
5	08	02	05	03	21,091	22,050	22,050	22,050	22,050	→	→	90
	町内会等除雪活動支援事業											
	建設課				21,091	22,050	22,050	22,050	22,050			
6	08	05	01	04	13,623	15,400	15,400	15,400	15,400	→	→	89
	雪国よこて安全安心住宅普及促進事業											
	建築住宅課				13,623	15,400	15,400	15,400	15,400			
7	08	05	01	05	4,320	5,840	5,840	5,840	5,840	→	→	87
	木造住宅耐震改修等事業											
	建築住宅課				1,605	2,335	2,335	2,335	2,335			

令和 8年度 施策方針書

施策	★
実施計画	
中事業	

令和 8年2月策定

施策名	0502	道路環境の充実と道路ネットワークの強化
------------	------	---------------------

施策担当課	建設部・建設課	
担当課長職・氏名	建設課長 高橋 英樹	

1. 基本計画の位置付け

基本構想	①将来像	-	時代を受け継ぎ 磨き上げ 凛々しく羽ばたくまち よこて
	②基本目標	-	四季を通じ暮らしやすいまちづくり
基本計画	③政策	05	地域の特色を生かし安心して暮らし続けられる、リスクに強いまちづくりを進めます
	④施策	0502	道路環境の充実と道路ネットワークの強化
	⑤目指す将来の姿	-	安全安心で快適な道路環境が確保されています。また、道路ネットワークの強化が進み、地域経済が活性化しています。

2. 取り組み方針

道路・橋梁などのインフラ資産については、定期的な点検やパトロールを実施し、適正な維持管理、更新を行います。また、予防的修繕を実施することにより、健全な状態を維持しながら長寿命化を図ることで、修繕コストの縮減を目指します。

あわせて、国道や県道、秋田自動車道の整備や、スマートインターチェンジの設置などの早期実現による道路ネットワークの強化に向けて取り組みます。

3. 主要事業の取り組み内容

- ・安全安心で快適な道路環境を確保するため、現状把握と、日常的な維持管理を徹底しつつ、効率的かつ計画的なメンテナンスを実施することで、道路施設の長寿命化を図ります。
- ・市民生活に密着した生活道路を健全な状態で維持するため、市民との協働による維持管理に取り組みます。
- ・市の基幹的な道路である都市計画道路（街路）等の計画的な整備を進めるとともに、高速道路や国道・県道の整備促進に関する要望活動に引き続き取り組みます。

4. 指標の目標と推移

No	指標名 ※下段：指標の取得方法	種別	単位		令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
1	「道路環境の充実」に対する市民満足度	成果	点	目標値			66.6	66.6	66.6
	※まちづくりアンケート（ウェイト平均の100点換算）			実績値					
2	道路維持管理の瑕疵により発生した事故に関する損害賠償件数	成果	件	目標値			0	0	0
	※財産経営課による道路賠償取りまとめによる			実績値					
				目標値					
				実績値					
				目標値					
				実績値					
				目標値					
				実績値					

5. 施策内事業費の推移

(単位：千円)

		令和 6年度(決算)	令和 7年度(予算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)	令和10年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	420,661	393,954	335,503	362,727	359,730
	(b) 県支出金	1,617	1,500	1,500	1,500	1,500
	(c) 地方債	827,600	820,300	697,800	466,600	666,600
	(d) 使用料・手数料	19,789	19,094	19,265	18,960	18,937
	(e) その他特定財源	9,704	8,849	9,049	9,055	9,054
	(f) 一般財源	690,776	757,026	659,882	873,612	861,379
事業費の小計		1,970,147	2,000,723	1,722,999	1,732,454	1,917,200

6. 施策の達成状況 (令和 7年度施策評価結果[評価対象：令和 6年度]より)

①成果の分析	・目標値に達していない項目はあるものの、概ね着実な成果が出ているものと判断できる。
②施策の有効性	・安全安心で快適な市民生活の確保と社会経済活動の推進のため、道路や橋りょうなど社会インフラの整備と維持管理は有効かつ重要な施策であると考えます。
③施策内事業の妥当性	・インフラ施設は安全安心で快適な市民生活や社会経済活動を支える重要な基盤であり、その整備と維持管理については妥当な事業と判断される。
④実施可能な改善内容	・インフラの老朽化による不具合の発生は、人命を失う重大事故や生活に支障をきたす大きな問題に発展する可能性があることから、適切かつ効率的なメンテナンスの実施を加速させる必要がある。

7. 令和 8年度に向けた施策の方向性 (令和 7年度施策評価結果[評価対象：令和 6年度]より)

成果向上	★		
成果維持			
	コスト拡大	コスト維持	コスト縮減

★=目指す方向

方向性の理由	<p>・社会インフラの老朽化が進むなか、これまでの新設により利便性を高めることを重視することから、それらをいかに長期的かつ安全に使用し続けるかが、社会的な課題となっている。</p> <p>当市においても安全安心で快適な市民生活や、社会経済活動を確保するため、効率的かつ効果的な整備および維持管理業務をより一層進める必要がある。</p>
--------	---

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大=↑、維持=→、縮小=↓、ゼロコスト・休廃止=×)

No	予算科目・大事業コード				令和 6年度 (決算額)	令和 7年度 (予算額)	令和 8年度 (計画額)	令和 9年度 (計画額)	令和10年度 (計画額)	事業の 方向性		総合 評価点
	款	項	目	事業						コスト	活動	
	実施計画事業名称				事業費	事業費	事業費	事業費	事業費			
	担当課名				一般財源	一般財源	一般財源	一般財源	一般財源			
1	08	01	01	02	13,435	29,539	14,497	14,601	14,241	-	-	-
	土木総務管理費											
2	08	02	01	03	19,978	20,000	20,000	20,000	20,000	→	→	97
	道路台帳補正費											
3	08	02	01	02	10,282	10,559	17,079	10,719	11,425	→	→	87
	道路橋りょう総務管理費											
4	08	02	01	04	967	1,314	1,352	1,351	1,351	-	-	-
	駅前自転車駐車場維持管理費											
5	08	02	02	01	282,466	237,816	217,217	217,217	217,217	→	→	94
	道路維持管理費											
6	08	02	02	03	113,963	159,875	148,894	159,466	159,466	→	→	87
	街路灯・防犯灯管理費											
7	08	02	03	02	627,681	707,500	544,500	504,500	694,500	↑	→	97
	道路新設改良事業											
8	08	02	03	03	531,866	593,020	555,000	560,000	555,000	↑	→	97
	社会資本整備総合交付金等事業(道路)											
9	08	02	04	01	284,541	223,400	199,500	240,000	240,000	↑	→	97
	道路メンテナンス補助事業(橋りょう維持)											
10	11	02	01	01	70,581	4,000	4,000	4,000	4,000	-	-	-
	道路橋りょう災害復旧事業											
11	08	04	03	01	14,387	13,700	960	600	0	→	→	91
	地方街路整備事業											
	都市計画課				9,187	4,900	960	600	0			

令和 8 年度 施策方針書

施策	★
実施計画	
中事業	

令和 8年2月策定

施策名	0503	公共交通の充実と利用の促進
------------	------	---------------

施策担当課	総務企画部・経営企画課	
担当課長職・氏名	課長 大友 孝之	

1. 基本計画の位置付け

基本構想	①将来像	-	時代を受け継ぎ 磨き上げ 凛々しく羽ばたくまち よこて
	②基本目標	-	四季を通じ暮らしやすいまちづくり
基本計画	③政策	05	地域の特色を生かし安心して暮らし続けられる、リスクに強いまちづくりを進めます
	④施策	0503	公共交通の充実と利用の促進
	⑤目指す将来の姿	-	D X技術の活用等による利便性向上や様々な分野と連携した利用促進策によって、市民の暮らしを支える公共交通が充実しています。

2. 取り組み方針

鉄道や路線バス、横手デマンド交通などのあらゆる交通手段において、利用者の動向やまちづくりの方針と密に連携しながら利用促進に取り組むとともに、行政と交通事業者や他分野における関係者も含めた相互間の連携を通じ、利便性の高い持続可能な公共交通ネットワークの構築を目指します。

3. 主要事業の取り組み内容

- ・公共交通の充実…実証実験結果を踏まえた循環バスの運行形態の見直し、地域の実情にあわせた交通手段の再編の検討
- ・公共交通の利用促進…利用促進に向けたPRの実施、地域の出前講座の実施による周知
- ・公共交通の利便性向上…運行ダイヤやルート等の見直し、デジタル技術の活用による利便性向上策の検討

4. 指標の目標と推移

No	指標名 ※下段：指標の取得方法	種別	単位		令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
1	「公共交通機関の利便性の向上」に対する市民満足度	成果	点	目標値			61.2	61.2	61.2
	※まちづくりアンケート（ウェイト平均の100点換算）			実績値					
2	公共交通利用者割合（対前年度比）	成果	%	目標値			95.2	95.4	95.5
	※基準年の利用者数/前年の利用者数			実績値					
				目標値					
				実績値					
				目標値					
				実績値					
				目標値					
				実績値					

5. 施策内事業費の推移

(単位：千円)

		令和 6年度(決算)	令和 7年度(予算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)	令和10年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	20,682	20,682	17,850	18,569	18,876
	(c) 地方債	0	0	4,500	0	0
	(d) 使用料・手数料	482	575	636	582	575
	(e) その他特定財源	612	645	611	645	645
	(f) 一般財源	155,536	152,563	151,362	147,527	162,732
事業費の小計		177,312	174,465	174,959	167,323	182,828

6. 施策の達成状況 (令和 7年度施策評価結果[評価対象：令和 6年度]より)

①成果の分析	路線バスについては、右肩下がり傾向が強くなっているが、デマンド交通や循環バス、代替交通などを面で展開することによって、市民ニーズには一定程度対応できていると考える。一方で将来に向けて持続的な公共交通網を維持するためには、利用ニーズの変化などを的確に把握し、さらなる利用促進を図ることが重要と思う。
②施策の有効性	市民のモビリティ確保のため、地域公共交通の維持及び利便性の向上は今後も重要な施策である。特に可住地面積が広い本市においては、複数の交通モードによるきめ細かな対応が必要である。
③施策内事業の妥当性	高齢化が進む中で、今後はさらに公共交通の重要性は増すものと捉えており、各交通モードのバランスを意識しながら施策における事業全体の最適化を図る必要がある。現時点では事業構成は妥当と捉えているが、既存の運行形態やルート等は市民ニーズに合わせて適宜見直しが必要と考える。
④実施可能な改善内容	現状だけでなく将来も見据えて、公共交通網のあり方を改善し続ける必要がある。一方で、安易な改革の実施により全体のバランスが崩れる懸念もあることから、まずは各交通モードにおいて利用促進や利便性向上に向けて取り組むことが重要と考える。

7. 令和 8年度に向けた施策の方向性 (令和 7年度施策評価結果[評価対象：令和 6年度]より)

成果向上			
成果維持		★	
	コスト拡大	コスト維持	コスト縮減

★=目指す方向

方向性の理由	利用状況が減少傾向にあるJR北上線については、R6.11.15で全線開通100周年を迎え、利用促進や機運醸成を目的として、JR北上線利用促進協議会が主体となって事業を展開した。公共交通全体としては、路線バスやデマンド交通、循環バス、代替交通などの交通モードの組み合わせによって、面的な公共交通網を構築しているのが本市の強みであると捉えているが、利便性という面では改善の余地があると感じている。特に循環バスや代替交通については、長期間にわたり同一ルートの運行となっており、現在の市民ニーズや将来ニーズに合致しているのか、今一度検証が必要と考える。R7年度においては、人口推計メッシュ等により将来ニーズの分析を行うこととしており、ルートや運行形態などの見直しに着手することとしている。今後も、市民ニーズとコストのバランスを意識しつつ、利便性向上に向けたICTの活用や地域が主体となったライドシェアの導入など、公共交通全体のあり方について継続的に検討する必要がある。
--------	--

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大=↑、維持=→、縮小=↓、ゼロコスト・休廃止=×)

No	予算科目・大事業コード				令和 6年度 (決算額)	令和 7年度 (予算額)	令和 8年度 (計画額)	令和 9年度 (計画額)	令和10年度 (計画額)	事業の 方向性		総合 評価点
	款	項	目	事業						コスト	活動	
	実施計画事業名称				事業費	事業費	事業費	事業費	事業費			
	担当課名				一般財源	一般財源	一般財源	一般財源	一般財源			
1	02	01	08	11	3,576	1,238	6,301	6,141	6,141	→	→	87
	鉄道利用促進事業											
	経営企画課				3,576	1,238	5,690	5,496	5,496			
2	02	01	08	02	173,736	173,227	168,658	161,182	176,687	→	→	81
	地域公共交通活性化事業											
	経営企画課				151,960	151,325	145,672	142,031	157,236			

令和 8年度 施策方針書

施策	★
実施計画	
中事業	

令和 8年2月策定

施策名	0504	地域特性を生かした快適な居住環境の形成
------------	------	---------------------

施策担当課	建設部・都市計画課	
担当課長職・氏名	都市計画課長 高橋 惣平	

1. 基本計画の位置付け

基本構想	①将来像	-	時代を受け継ぎ 磨き上げ 凛々しく羽ばたくまち よこて
	②基本目標	-	四季を通じ暮らしやすいまちづくり
基本計画	③政策	05	地域の特色を生かし安心して暮らし続けられる、リスクに強いまちづくりを進めます
	④施策	0504	地域特性を生かした快適な居住環境の形成
	⑤目指す将来の姿	-	土地利用の誘導施策や克雪対策により、暮らしやすく住み続けられる生活空間が形成されているほか、地域の特色を生かしたまちづくりが進められ、居住人口が増加し賑わいが生まれています。

2. 取り組み方針

立地適正化やコンパクトシティという考え方にに基づき、都市機能誘導区域、居住誘導区域では宅地造成など土地利用の誘導や指導を図り、融雪設備の整備等、質の高い暮らしを実現します。地域拠点では各地域の特色を生かし、今後も住み続けられるよう、生活排水処理施設や道路等の適切な維持に取り組みます。

また、景観計画や屋外広告物条例に基づく規制誘導により横手らしい自然豊かな美しい景観を保全し、うるおいのあるまちづくりを進めます。

3. 主要事業の取り組み内容

- ・計画的な拠点誘導を行うため、既に集積している都市機能を生かし、住宅や商業・公共施設等が複合した土地利用を促進します。
- ・一定規模の開発可能地の創設と都市機能誘導区域の見直しを行い、誘導施設の配置を推進し、にぎわい創出を図ります。
- ・計画的な土地利用の促進のため、土地利用関係法の適切な運用と土地利用計画等により、土地の適正な利用と適切な管理を図ります。
- ・中心拠点や副拠点と地域を結ぶ公共交通の確保に取り組みます。
- ・自然豊かな美しい景観の保全のため、景観づくりの基準の見直しを行い、地域特性、風土特性を生かした景観計画を進めます。

4. 指標の目標と推移

No	指標名 ※下段：指標の取得方法	種別	単位		令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
1	「快適な居住環境の形成」に対する市民満足度	成果	点	目標値			65.6	65.6	65.6
	※まちづくりアンケート（ウェイト平均の100点換算）			実績値					
2	まちなか居住エリア（居住誘導区域）の人口密度（人/ha）	成果	-	目標値			27.7	28.1	28.7
	※住民基本台帳のデータを取得			実績値					
3	横手駅東口周辺における、賑わい再生を見据えた歩行者の増加率	活動	%	目標値			10	10	10
	※駅東口周辺の交通量調査			実績値					
				目標値					
				実績値					
				目標値					
				実績値					
				目標値					
				実績値					

5. 施策内事業費の推移

(単位：千円)

		令和 6年度(決算)	令和 7年度(予算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)	令和10年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	1,214,402	515,783	699,175	0	0
	(b) 県支出金	224,128	150,675	155,260	0	0
	(c) 地方債	1,433,100	265,200	224,300	0	0
	(d) 使用料・手数料	9,443	6,948	8,617	6,048	6,048
	(e) その他特定財源	21	1	1	1	1
	(f) 一般財源	282,445	63,204	101,713	273,220	581,220
事業費の小計		3,163,539	1,001,811	1,189,066	279,269	587,269

6. 施策の達成状況 (令和 7年度施策評価結果[評価対象：令和 6年度]より)

①成果の分析	横手駅東口で実施中の市街地再開発事業及び関連事業が、事業完了に向け着実に進捗している
②施策の有効性	市街地の活性化と持続可能で魅力ある都市形成のために必要不可欠な施策である。
③施策内事業の妥当性	安全で快適な暮らしを支える都市基盤整備を進めるための手段としての事業構成である。
④実施可能な改善内容	市街地開発事業など、今後数年で事業終期を迎える事業が複数あることから、施策を推進するための誘導事業の検討が必要になる。

7. 令和 8年度に向けた施策の方向性 (令和 7年度施策評価結果[評価対象：令和 6年度]より)

成果向上		★	
成果維持			
	コスト拡大	コスト維持	コスト縮減

★=目指す方向

方向性の理由	計画された事業を確実に実施することが、市街地の活性化・賑わいの創出に繋がり、施策の目標達成に大きく寄与することから、継続的に取り組む必要がある。
--------	--

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大=↑、維持=→、縮小=↓、ゼロコスト・休廃止=×)

No	予算科目・大事業コード				令和 6年度 (決算額)	令和 7年度 (予算額)	令和 8年度 (計画額)	令和 9年度 (計画額)	令和10年度 (計画額)	事業の 方向性		総合 評価点
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源	
	実施計画事業名称											
	担当課名											
1	08	04	01	02	4,332	11,368	7,296	17,500	17,500	-	-	-
	都市計画総務管理費											
2	08	04	01	03	1,469	2,438	2,744	2,892	17,892	→	→	97
	景観・屋外広告物対策事業											
3	08	04	01	04	5,520	6,439	5,877	6,129	6,129	-	-	-
	横手駅前前広場管理費											
4	08	05	01	02	4,657	5,129	5,357	5,129	5,129	↑	↑	80
	建築住宅総務費											
5	08	05	01	03	4,402	5,233	5,872	4,555	4,555	→	→	88
	建築確認費											
6	08	04	01	98	1,210,648	900,626	1,080,172	10,000	0	↑	↑	85
	まちなか再生推進事業											
7	08	04	06	02	1,817,280	43,200	9,000	0	0	→	→	87
	都市再生整備事業											
8	02	01	07	14	89,684	3,500	60,001	218,515	526,515	↑	↑	87
	副拠点エリア整備事業(十文字地域)											
9	08	04	02	01	14,187	15,486	6,251	6,353	6,353	↓	↓	88
	土地区画整理費											
10	02	01	07	15	11,360	8,392	6,496	8,196	3,196	↓	↑	83
	中心市街地活性化事業											
	地域創造戦略室				11,360	8,392	6,496	8,196	3,196			

令和 8年度 施策方針書

施策	★
実施計画	
中事業	

令和 8年2月策定

施策名	0505	安全安心な水道水の供給と快適な生活環境を守る下水の適正処理
------------	------	-------------------------------

施策担当課	上下水道部・経営管理課	
担当課長職・氏名	課長 二階堂 寛	

1. 基本計画の位置付け

基本構想	①将来像	-	時代を受け継ぎ 磨き上げ 凛々しく羽ばたくまち よこて
	②基本目標	-	四季を通じ暮らしやすいまちづくり
基本計画	③政策	05	地域の特色を生かし安心して暮らし続けられる、リスクに強いまちづくりを進めます
	④施策	0505	安全安心な水道水の供給と快適な生活環境を守る下水の適正処理
	⑤目指す将来の姿	-	水道水の水質や供給の安定性が確保され、健全な水道事業経営が維持されています。汚水処理の適正化による公共用水域の水質保全や雨水対策など、快適で衛生的、安全な社会環境が維持されています。

2. 取り組み方針

社会情勢の変化に対応した健全で効率的な水道経営を行うため、料金収入の安定的確保と併せ、水道施設の統廃合や事業の広域連携を合理的かつ計画的に進めます。また、安全で安心な水道水を安定供給するため、水質の監視及び計画的な設備更新と耐震化を進めます。

下水道事業では、持続可能な生活排水処理を推進するため、既存施設のストックマネジメント計画を作成し計画的な施設更新を進めるとともに、生活排水の適正な処理を推進するため、水洗化率の向上を図ります。また、集中豪雨等での内水氾濫に対応するため、公共下水道区域内の雨水幹線排水路の適切な維持管理を進めます。

3. 主要事業の取り組み内容

【水道】	<ul style="list-style-type: none"> ・水道事業（水道事業会計）に対する繰出金を支出 ・非公営水道組合が実施する水質検査に対する補助金を交付
【下水道】	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道事業（下水道事業会計）に対する繰出金を支出 ・合併処理浄化槽を設置する市民に対する補助金を交付

4. 指標の目標と推移

No	指標名 ※下段：指標の取得方法	種別	単位		令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
1	「上下水道の充実」に対する市民満足度	成果	点	目標値			73.1	73.1	73.1
	※まちづくりアンケート（ウェイト平均の100点換算）			実績値					
2	水道水がおいしく飲める水質の達成率	成果	%	目標値			96	96	96
	※検査実施浄水中、「おいしい水研究会」の数値基準を基とした割合			実績値					
3	下水道水洗化率	成果	%	目標値			86	87	88
	※下水道が利用可能な区域の居住人数と実利用者数割合			実績値					
				目標値					
				実績値					
				目標値					
				実績値					
				目標値					
				実績値					

5. 施策内事業費の推移

(単位：千円)

		令和 6年度(決算)	令和 7年度(予算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)	令和10年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	30,450	30,450	0	0	0
	(b) 県支出金	18,221	30,450	23,190	0	0
	(c) 地方債	132,000	114,500	66,400	34,000	17,500
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	0	0	0	0	0
	(f) 一般財源	1,396,368	1,459,297	1,514,323	1,323,251	1,278,039
事業費の小計		1,577,039	1,634,697	1,603,913	1,357,251	1,295,539

6. 施策の達成状況 (令和 7年度施策評価結果[評価対象：令和 6年度]より)

①成果の分析	成果指標のうち、水洗化人口については人口減少の影響により目標値は下回っている。水洗化率についても公共下水道については概成(令和7年度)が近づいていることもあり数値の上昇幅は以前と比較すると減少しているものの概ね成果は出ていると判断できる。
②施策の有効性	本施策は市民生活・社会活動の上で欠かせない安全で良質な水の供給と生活排水の適正な処理を継続的かつ安定的に維持するためのものであり、人口減少の局面にあっても継続的なサービスの維持・提供が必要である。そうしたことから施策の有効性は極めて高い。
③施策内事業の妥当性	手段としての事業の構成は、安全で良質な水の供給と生活排水の適正な処理を継続的に維持していくために必要な事業のみであり妥当性は高い。非公営水道における水環境については巡回による技術的指導・水質検査助成により安全な利用に資する事業を実施、都市下水路管理については市街地における雨水の排水に資する事業執行ができています。また、企業会計により実施している水道事業・下水道事業に対する繰出金についても基準外繰出は行っているものの過大ではない。いずれの施策内事業も妥当性に問題はない。
④実施可能な改善内容	特に水道事業・下水道事業における人口減少に合わせたサービスの供給体制(設備の維持更新・統廃合・他事業者との広域連携、コスト縮減に資する事業経営の効率化など)

7. 令和 8年度に向けた施策の方向性 (令和 7年度施策評価結果[評価対象：令和 6年度]より)

成果向上			
成果維持		★	
	コスト拡大	コスト維持	コスト縮減

★=目指す方向

方向性の理由	<p>本施策は市民生活・社会活動の上で欠かせない安全で良質な水の供給と生活排水の適正な処理を継続的かつ安定的に維持するためのものであり、人口減少の局面にあっても継続的なサービスの維持・提供が必要である。</p> <p>水道事業・下水道事業においては、事業環境の変化を踏まえた将来予測に基づく公営企業の一層の経営効率化・安定化を図ることで、適正な一般会計繰出金(補助金、負担金、出資金)支出につなげ、施策目的の実現を図っていく必要がある。</p>
--------	--

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大=↑、維持=→、縮小=↓、ゼロコスト・休廃止=×)

No	予算科目・大事業コード				令和 6年度 (決算額)	令和 7年度 (予算額)	令和 8年度 (計画額)	令和 9年度 (計画額)	令和10年度 (計画額)	事業の方向性		総合 評価点					
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源		事業費 一般財源	事業費 一般財源	事業費 一般財源	コスト	活動
	実施計画事業名称																
	担当課名																
1	04	01	07	04	65,666	115,061	90,220	0	0	→	→	86					
	浄化槽設置整備事業																
	下水道課				7,495	39,161	55,030	0	0								
2	04	01	07	05	54	735	735	735	735	→	→	76					
	水洗化資金融資利子補給費																
	下水道課				54	735	735	735	735								
3	04	03	01	01	297,418	317,717	243,178	180,809	153,957	-	-	-					
	上水道事業繰出金																
	経営管理課				174,918	218,217	188,778	146,809	136,457								
4	04	01	01	06	925	1,206	3,657	3,389	3,389	→	→	72					
	非公営水道事業																
	健康推進課				925	1,206	3,657	3,389	3,389								
5	08	04	98	98	1,093	6,289	0	0	0	→	→	81					
	都市下水道管理費																
	下水道課				1,093	6,289	0	0	0								
6	08	04	04	01	1,211,883	1,193,689	1,266,123	1,172,318	1,137,458	-	-	-					
	下水道事業繰出金																
	経営管理課				1,211,883	1,193,689	1,266,123	1,172,318	1,137,458								

令和 8年度 施策方針書

施策	★
実施計画	
中事業	

令和 8年2月策定

施策名	0506	公園環境の魅力向上
------------	------	-----------

施策担当課	建設部・都市計画課	
担当課長職・氏名	課長 高橋 惣平	

1. 基本計画の位置付け

基本構想	①将来像	-	時代を受け継ぎ 磨き上げ 凛々しく羽ばたくまち よこて
	②基本目標	-	四季を通じ暮らしやすいまちづくり
基本計画	③政策	05	地域の特色を生かし安心して暮らし続けられる、リスクに強いまちづくりを進めます
	④施策	0506	公園環境の魅力向上
	⑤目指す将来の姿	-	訪れる人が癒しを感じ、市民が誇れるような公園や緑地空間が、市民との協働により維持管理されています。

2. 取り組み方針

安全で快適に利用できるよう定期的な保守点検や適切な維持管理を進め、市民の声を反映した公園環境の整備を目指します。

3. 主要事業の取り組み内容

- ・長年親しまれてきた公園を後世に引継ぐため、ライフサイクルコストを低減するような改善整備を進めます。
- ・老朽化の進んだ施設について、横手市公園施設長寿命化計画により計画的な整備を図ります。
- ・市民が安全安心に公園利用ができるよう、遊具や公園施設の点検強化及び維持管理者の育成を行います。
- ・市民団体による公園管理を継続し、市民協働による環境美化活動を推進することにより、市民にとって愛着が感じられる公園を目指します。

4. 指標の目標と推移

No	指標名 ※下段：指標の取得方法	種別	単位		令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
1	「公園環境の魅力向上」に対する市民満足度	成果	点	目標値			67.5	67.5	67.5
	※まちづくりアンケート（ウェイト平均の100点換算）			実績値					
2	都市公園・遊具の維持管理に関する苦情への対応率	成果	%	目標値			100	100	100
	※本庁及び各地域局に届けられる苦情への対応率			実績値					
3	市民協働により管理する公園数（公園101箇所中の協働管理数）	成果	か所	目標値			49	50	51
	※業務所得（指定管理及び公共施設市民サポーターによる管理公園数）			実績値					
				目標値					
				実績値					
				目標値					
				実績値					
				目標値					
				実績値					

5. 施策内事業費の推移

(単位：千円)

		令和 6年度(決算)	令和 7年度(予算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)	令和10年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	15,395	0	15,000	15,000	15,000
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	15,800	0	15,000	15,000	15,000
	(d) 使用料・手数料	4,919	4,262	4,262	4,214	4,214
	(e) その他特定財源	19	24	24	24	22
	(f) 一般財源	128,613	139,183	139,373	119,362	119,435
事業費の小計		164,746	143,469	173,659	153,600	153,671

6. 施策の達成状況 (令和 7年度施策評価結果[評価対象：令和 6年度]より)

①成果の分析	目標に向かい着実に進捗している。
②施策の有効性	市民の誰もがくつろげる憩いの場として、また、災害時等の避難場所として、整備ならびに維持補修を続けていく必要性は高い。
③施策内事業の妥当性	施設の長寿命化計画に基づき、老朽化施設等の計画的な改修や更新、適正な維持管理を実施するために必要な事業である。
④実施可能な改善内容	公園内の遊具や四阿などのほか、橋りょうについても長寿命化計画に記載し、公園全体の総合的な長寿命化を目指している。

7. 令和 8年度に向けた施策の方向性 (令和 7年度施策評価結果[評価対象：令和 6年度]より)

成果向上			
成果維持		★	
	コスト拡大	コスト維持	コスト縮減

★=目指す方向

方向性の理由	市民に対し安全安心な憩いの場としての公共空間を継続的に提供していくため、引き続き長寿命化計画に基づく施設の更新、適正な維持管理等を実施していく必要がある。
--------	---

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大=↑、維持=→、縮小=↓、ゼロコスト・休廃止=×)

No	予算科目・大事業コード				令和 6年度 (決算額)	令和 7年度 (予算額)	令和 8年度 (計画額)	令和 9年度 (計画額)	令和10年度 (計画額)	事業の方向性		総合 評価点					
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源		事業費 一般財源	事業費 一般財源	事業費 一般財源	コスト	活動
	実施計画事業名称																
	担当課名																
1	児童遊園地維持管理事業				3,103	1,480	0	0	0	→	→	87					
	子育て支援課				3,103	1,480	0	0	0								
2	08	01	01	03	405	409	409	409	409	→	→	80					
	公共施設サポーター制度事業 建設課																
3	08	04	05	02	32,355	0	31,000	31,000	31,000	→	→	96					
	社会資本総合整備事業 都市計画課																
4	08	04	05	01	122,513	139,580	140,250	120,191	120,262	→	→	88					
	公園管理費 都市計画課																
5	11	02	03	01	6,370	2,000	2,000	2,000	2,000	↑	→	93					
	都市計画施設災害復旧事業 都市計画課																

第3次横手市総合計画 前期基本計画 施策方針書【政策6】

基本目標

市民一人ひとりのつながりで活気を生むまちづくり

【政策6】

市民と行政が協力し持続可能な地域づくりを進めます

《市民協働》

令和 8年度 施策方針書

施策	★
実施計画	
中事業	

令和 8年2月策定

施策名	0601	地域コミュニティの活性化
------------	------	--------------

施策担当課	まちづくり推進部・地域づくり支援課	
担当課長職・氏名	課長 高橋 良明	

1. 基本計画の位置付け

基本構想	①将来像	-	時代を受け継ぎ 磨き上げ 凛々しく羽ばたくまち よこて
	②基本目標	-	市民一人ひとりのつながりで活気を生むまちづくり
基本計画	③政策	06	市民と行政が協力し持続可能な地域づくりを進めます
	④施策	0601	地域コミュニティの活性化
	⑤目指す将来の姿	-	市民が主体となってまちづくりに参画し、さまざまな課題に対して、みんなで話し合い支え合うことによって、持続可能な地域コミュニティが築かれています。

2. 取り組み方針

市民一人ひとりが輝き、自分らしく住み慣れた地域で安心して暮らしていくために、地域の想いと主体性を尊重しながら、市民と行政の協働による地域づくりに取り組み、地域コミュニティの活性化を図ります。

また、将来にわたって持続可能な地域づくりを目指し、市民による主体的な活動を支援するとともに、地域資源を生かした特色あるまちづくりや、年齢や性別に捉われない誰もが活躍できる社会の実現を推進します。

3. 主要事業の取り組み内容

○市民主体による地域づくり活動の促進…地域住民一人ひとりが主役となり、多様な主体との連携や交流機会を創出する活動を支援し、地域コミュニティの充実につなげます。

○地域コミュニティ活動の拠点づくりと地域運営組織の基盤強化…地域のコミュニティ活動の拠点である「地区交流センター」の適正な維持管理と魅力ある施設づくりに努めます。

○男女共同参画の推進…男女共同参画に関する啓発活動や研修会等を行い、固定的な性別役割分担意識の解消に取り組みます。また、性別に関わらずすべての人があらゆる分野で活躍できる社会づくりを目指します。

4. 指標の目標と推移

No	指標名	※下段：指標の取得方法	種別	単位		令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
1	「地域コミュニティの活性化」に対する市民満足度 ※まちづくりアンケート（ウェイト平均の100点換算）		成果	点	目標値			69.4	69.4	69.4
					実績値					
2	地域運営組織数（累計） ※地区交流センター運営協議会の設立数（年度末設立数）		成果	団体	目標値			25	25	26
					実績値					
3	社会全体として男女行動参画社会になってきていると感じている市民の割合 ※まちづくりアンケート		成果	%	目標値			65	65	65
					実績値					
					目標値					
					実績値					
					目標値					
					実績値					
					目標値					
					実績値					

5. 施策内事業費の推移

(単位：千円)

		令和 6年度(決算)	令和 7年度(予算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)	令和10年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	6,000	215,800	71,200	85,900	0
	(d) 使用料・手数料	27,048	25,588	31,657	25,574	25,524
	(e) その他特定財源	11,326	24,988	19,681	7,542	7,542
	(f) 一般財源	589,200	684,440	674,584	662,673	655,654
事業費の小計		633,574	950,816	797,122	781,689	688,720

6. 施策の達成状況 (令和 7年度施策評価結果[評価対象：令和 6年度]より)

①成果の分析	<ul style="list-style-type: none"> ・R7年3月には浅舞地区において地域運営組織が設立され、28地区のうち24地区において運営協議会による事業運営が行われている。また地区交流センター同士の交流促進のため、地区交流センター連絡会を立ち上げるとともに、西部地区で研修会を実施した（南部・東部は令和7年度実施予定）。 ・R6年9月にAo-naが開館したことで、Y2ふらざ利用者数は減少傾向にある。しかし健康の駅や子育て支援施設、起業支援施設などが整備されており、今後も継続して多くの方に利用されることが見込まれる。
②施策の有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の主体的な地域活動と生涯学習を奨励し、市民協働による総合的な地域づくり活動を推進する事業であり、人口減少・少子高齢化の進展への対応や地域コミュニティの醸成を図ることにより、市全体に公益をもたらす事業である。
③施策内事業の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・地域コミュニティの維持向上を図り、地域資源を活かした特色ある地域づくりを推進するために欠かせない事業である。
④実施可能な改善内容	<ul style="list-style-type: none"> ・設立済地区への伴走型支援と未設立地区への立上げ支援を効果的に進める必要がある。 ・市民が主体となった地域づくり活動を支援するため、各種補助金制度を広く周知し活用を促す。

7. 令和 8年度に向けた施策の方向性 (令和 7年度施策評価結果[評価対象：令和 6年度]より)

成果向上			
成果維持		★	
	コスト拡大	コスト維持	コスト縮減

★=目指す方向

方向性の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の地域運営組織の活動を支援するとともに、全市での地域運営組織の設立を目指し、ワークショップや先進地研修などを実施する。 ・地域運営組織の持続可能な運営に向け、運営協議会委員や職員を対象とした研修を開催し、情報共有の場、学び合い・磨き合いの場を創出する。 ・地域づくり活動補助金など、各種支援制度の活用を促し、市民が主体となって地域課題の解決や地域の活性化に取り組む活動を支援する。 ・Y2ふらざは、市民のコミュニティ施設として多くの方から利用されており、よこてイーストとの連携により賑わい創出にもつながっている。
--------	--

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大＝↑、維持＝→、縮小＝↓、ゼロコスト・休廃止＝×)

No	予算科目・大事業コード				令和 6年度 (決算額)	令和 7年度 (予算額)	令和 8年度 (計画額)	令和 9年度 (計画額)	令和10年度 (計画額)	事業の 方向性		総合 評価点
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源	
	実施計画事業名称											
	担当課名											
1	02	01	07	04	78,587	81,301	83,120	139,795	78,358	→	→	83
	横手市交流センター費											
	地域づくり支援課				62,285	66,405	57,334	69,378	63,141			
2	02	01	08	01	19,784	18,980	4,179	4,113	4,113	→	→	69
	地域振興総務費											
	地域づくり支援課				19,784	18,766	3,965	3,899	3,899			
3	02	01	08	09	1,957	2,007	2,007	2,007	2,007	-	-	-
	大森町中心部活性化施設費											
	大森地域課				1,957	2,007	2,007	2,007	2,007			
4	02	01	08	06	34,614	35,536	35,410	35,440	35,440	→	→	81
	地区会議支援事業											
	地域づくり支援課				34,614	35,536	35,410	35,440	35,440			
5	02	01	08	06	8,616	13,319	11,450	11,450	11,450	→	→	90
	集会施設整備補助事業											
	地域づくり支援課				6,860	11,450	11,450	11,450	11,450			
6	02	01	09	01	48,947	83,305	98,533	73,513	73,348	→	→	85
	横手総合交流促進施設費											
	横手地域課				43,938	78,934	82,311	69,099	68,934			
7	02	01	09	02	0	0	0	0	0	-	-	-
	地域センター費											
	増田地域課				0	0	0	0	0			
8	02	01	09	02	2,501	3,023	4,028	19,438	3,023	→	→	-
	増田地区多目的研修センター費											
	増田地域課				2,251	2,775	3,259	2,790	2,775			
9	02	01	09	04	16,931	18,841	19,550	19,550	19,550	-	-	-
	十文字環境改善センター費											
	十文字地域課				16,716	18,594	19,221	19,221	19,221			
10	02	01	09	98	3,589	140,403	0	0	0	→	↑	80
	十文字西スポーツ交流センター費											
	十文字地域課				1,789	9,777	0	0	0			
11	02	01	09	05	3,622	209	6,521	209	209	→	→	82
	山内三又コミュニティセンター費											
	山内地域課				3,622	209	6,521	209	209			
12	06	01	09	10	1,120	1,136	1,213	1,238	1,238	-	-	-
	集落多目的施設費											
	平鹿地域課				1,120	1,135	1,212	1,237	1,237			

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大＝↑、維持＝→、縮小＝↓、ゼロコスト・休廃止＝×)

No	予算科目・大事業コード				令和 6年度 (決算額)	令和 7年度 (予算額)	令和 8年度 (計画額)	令和 9年度 (計画額)	令和10年度 (計画額)	事業の 方向性		総合 評価点														
	款	項	目	事業						事業費	事業費		事業費	事業費	事業費	コスト	活動									
																		実施計画事業名称				一般財源	一般財源	一般財源	一般財源	一般財源
																		担当課名				一般財源	一般財源	一般財源	一般財源	一般財源
13	02	01	09	07	2,097	511	0	0	0	-	-	-														
	大森コミュニティ交流センター費																									
	大森地域課				2,070	511	0	0	0																	
14	02	01	08	96	3,600	16,500	0	0	0	→	→	79														
	コミュニティ助成事業																									
	地域づくり支援課				0	0	0	0	0																	
15	02	01	08	95	344,424	385,542	213,656	140,214	124,317	→	→	87														
	地区交流センター費																									
	地域づくり支援課				330,753	326,482	148,480	118,354	116,807																	
16	02	01	09	05	0	0	0	0	0	-	-	-														
	雄物川福地コミュニティセンター費																									
	雄物川地域課				0	0	0	0	0																	
17	02	01	09	06	646	698	689	689	689	→	→	79														
	山内南郷コミュニティセンター費																									
	山内地域課				645	697	688	688	688																	
18	02	01	09	07	1,419	9,011	6,928	6,928	6,928	↑	↑	87														
	大雄コミュニティ交流センター費																									
	大雄地域課				1,390	8,981	6,838	6,838	6,838																	
19	02	01	08	03	22,479	26,230	17,685	17,343	17,153	→	→	76														
	地域づくり支援事業																									
	地域づくり支援課				21,769	25,830	17,285	16,943	16,753																	
20	02	01	08	04	17,623	22,800	20,600	21,000	21,000	→	→	76														
	地域づくり活動補助事業																									
	地域づくり支援課				17,623	22,800	20,600	21,000	21,000																	
21	02	01	08	05	6,198	4,250	4,000	4,000	4,000	→	→	81														
	町内会活動補助事業																									
	地域づくり支援課				6,198	4,250	4,000	4,000	4,000																	
22	集落支援員活用事業				0	0	0	0	0	-	-	-														
	地域づくり支援課				0	0	0	0	0																	
23	02	01	09	03	10,695	82,462	15,015	14,931	14,766	→	→	71														
	雄物川コミュニティセンター費																									
	雄物川地域課				10,400	45,362	14,795	14,715	14,550																	
24	02	01	09	10	4,125	4,752	16,521	16,252	16,552	-	-	-														
	農村体験学習施設費																									
	平鹿地域課				3,416	3,939	12,191	11,839	12,139																	

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大=↑、維持=→、縮小=↓、ゼロコスト・休廃止=×)

No	予算科目・大事業コード				令和 6年度 (決算額)	令和 7年度 (予算額)	令和 8年度 (計画額)	令和 9年度 (計画額)	令和10年度 (計画額)	事業の 方向性		総合 評価点
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源	
	実施計画事業名称											
	担当課名											
25	02	01	08	12	0	0	9,000	0	0	-	-	-
	狙半内地域交流施設整備事業 増田地域課											
26	02	01	07	17	0	0	1,700	1,700	1,700	-	-	-
	よこてイーストにぎわい創 出支援事業 地域づくり支援課											
27	02	01	09	08	0	0	15,000	15,000	15,000	-	-	-
	地域交流施設費 地域づくり支援課											
28	02	01	09	11	0	0	209,289	235,851	236,851	-	-	-
	地区交流センター事業 地域づくり支援課											
29	02	01	07	05	0	0	428	428	428	→	→	87
	男女共同参画社会推進事業 地域づくり支援課											
30	02	01	07	06	0	0	600	600	600	→	→	87
	自分らしい生き方・働き方 推進事業 地域づくり支援課											

令和 8 年度 施策方針書

施策	★
実施計画	
中事業	

令和 8年2月策定

施策名	0602	情報共有環境の充実と迅速な情報発信
-----	------	-------------------

施策担当課	総務企画部・秘書広報課	
担当課長職・氏名	秘書広報課長 菅原 徳子	

1. 基本計画の位置付け

基本構想	①将来像	—	時代を受け継ぎ 磨き上げ 凛々しく羽ばたくまち よこて
	②基本目標	—	市民一人ひとりのつながりで活気を生むまちづくり
基本計画	③政策	06	市民と行政が協力し持続可能な地域づくりを進めます
	④施策	0602	情報共有環境の充実と迅速な情報発信
	⑤目指す将来の姿	—	多様な媒体により必要な情報が迅速で分かりやすく共有されることで、誰一人取り残されることのない、より快適な市民生活が実現されています。

2. 取り組み方針

市民へ迅速かつ正確な行政情報を提供することで市政の透明性と信頼性の向上を図るとともに、市民と市政の現状や課題を共有できる環境を充実させます。
--

3. 主要事業の取り組み内容

<ul style="list-style-type: none"> 多様な媒体の特性を生かした広報活動の推進…広報誌やホームページをはじめ各種SNS・コミュニティFMなどを活用した情報発信、情報発信ツール（横手市情報センターやLINE）の管理運営 市民と行政との情報共有…情報通信基盤（市が保有するインターネット回線やコミュニティFM中継局等）の維持管理、デジタルデバイド解消に向けた各種講習会の開催

4. 指標の目標と推移

No	指標名 ※下段：指標の取得方法	種別	単位		令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
1	「広報・広聴の推進」に対する市民満足度	成果	点	目標値			71.3	71.3	71.3
	※まちづくりアンケート（ウェイト平均の100点換算）			実績値					
2	横手市公式SNS登録者数	成果	人	目標値			30,900	31,800	32,700
	※横手市公式SNS登録者の集計（年度末登録者数）			実績値					
				目標値					
				実績値					
				目標値					
				実績値					
				目標値					
				実績値					

5. 施策内事業費の推移

(単位：千円)

		令和 6年度(決算)	令和 7年度(予算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)	令和10年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	0	0	0
	(c) 地方債	0	0	2,700	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	247	265	265
	(e) その他特定財源	0	0	17,674	17,454	17,454
	(f) 一般財源	721	1,312	108,812	117,675	117,649
事業費の小計		721	1,312	129,433	135,394	135,368

6. 施策の達成状況 (令和 7年度施策評価結果[評価対象：令和 6年度]より)

①成果の分析	各情報発信媒体の特性に応じた情報発信を行っているが、市民の高いニーズに応じきれていない側面がある。市民の求める情報を迅速に発信するためにも情報収集に努め、発信媒体を有機的に結びつけることで、満足度を高めていくことが重要である。
②施策の有効性	市民への行政情報・災害情報の発信・提供という側面からも必要度の高い事業が多く、広報広聴活動は今後も質的な充実を図っていく必要がある分野である。本施策は有効である。
③施策内事業の妥当性	事業の構成自体には問題ないものとする。
④実施可能な改善内容	市報のあり方やホームページ・SNSでの情報発信内容の検討など、必要な人に必要な情報がより早く、正確に伝わる効果的な情報発信ができるよう、改善を図っていく必要がある。

7. 令和 8年度に向けた施策の方向性 (令和 7年度施策評価結果[評価対象：令和 6年度]より)

成果向上			
成果維持		★	
	コスト拡大	コスト維持	コスト縮減

★=目指す方向

方向性の理由	注目も要望も高い施策分野である。市民のスマートフォンなどによる情報取得が浸透しているが、市報など紙による情報発信・提供は今しばらく必要不可欠である。より一層市政への理解や関心へとつながるよう、新しい展望・展開を考えつつコスト削減を検討していくことは必要だが、現状の施策展開においては維持とすべきである。
--------	---

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大＝↑、維持＝→、縮小＝↓、ゼロコスト・休廃止＝×)

No	予算科目・大事業コード				令和 6年度 (決算額)	令和 7年度 (予算額)	令和 8年度 (計画額)	令和 9年度 (計画額)	令和10年度 (計画額)	事業の 方向性		総合 評価点
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源	
	実施計画事業名称											
	担当課名											
1	02	01	03	01	447	600	5,046	4,034	4,034	-	-	-
	広報費											
1	秘書広報課				447	600	4,753	3,884	3,884			
	02	01	03	02	0	0	48,855	57,926	57,900	→	→	90
2	行政情報発信事業											
	秘書広報課				0	0	47,367	56,438	56,412			
3	02	01	03	03	0	0	34,191	34,385	34,385	-	-	-
	市政協力員費											
総務課				0	0	34,191	34,385	34,385				
4	02	01	03	04	0	0	4,221	4,941	4,941	→	→	90
	情報発信戦略プロジェクト事業											
秘書広報課				0	0	4,221	4,931	4,931				
5	02	01	10	04	0	0	29,688	26,727	26,727	-	-	-
	地域情報通信網管理運営費											
情報政策課				0	0	11,037	10,845	10,845				
6	02	01	10	05	0	0	7,432	7,381	7,381	-	-	-
	コミュニティFM中継局運営費											
情報政策課				0	0	7,243	7,192	7,192				

令和 8年度 施策方針書

施策	★
実施計画	
中事業	

令和 8年2月策定

施策名	0603	市内外との交流連携の推進
------------	------	--------------

施策担当課	まちづくり推進部・横手の未来とものつくる課	
担当課長職・氏名	横手の未来とものつくる課長 高橋 美貴子	

1. 基本計画の位置付け

基本構想	①将来像	-	時代を受け継ぎ 磨き上げ 凛々しく羽ばたくまち よこて
	②基本目標	-	市民一人ひとりのつながりで活気を生むまちづくり
基本計画	③政策	06	市民と行政が協力し持続可能な地域づくりを進めます
	④施策	0603	市内外との交流連携の推進
	⑤目指す将来の姿	-	市民が自分の住むまちに誇りを持ち、市内外で活発に交流・連携の取組が行われることによって、新たな地域価値や賑わいが生み出されています。

2. 取り組み方針

人口減少抑制と地域の課題解決や活性化につなげるため、庁内外の連携による情報発信の強化や総合的な受け入れ体制の充実により、都市部からの若い世代等の移住・定住を促進します。

また、市内外に向けた当市の魅力の発信により認知度・関心度の向上を図るとともに、市内外の方との交流や公民連携の推進により、市民の地域への誇りの醸成と地域の活性化につなげます。

3. 主要事業の取り組み内容

- ・移住促進に向けた取組…移住を希望する方々の、様々なライフスタイルに応じた支援を実施
- ・定住促進に向けた取組…若い世代が定着し、希望するライフプランを叶えられるような取り組みを実施
- ・応援人口への市の魅力発信…ふるさと会への支援と相互交流、ふるさと納税などをきっかけに本市への興味・関心が高められるような情報発信を実施
- ・共創によるまちづくりの推進…公民連携により、新たな事業機会の創出や地域課題の解決につなげる取り組みを実施
- ・多文化共生の推進…異なる文化を持つ人々がそれぞれの文化を理解・尊重するための取り組みを実施
- ・他自治体との交流・連携の推進…文化や産業など幅広い分野での市民交流や相互協力を進める取り組みを実施

4. 指標の目標と推移

No	指標名	※下段：指標の取得方法	種別	単位		令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
1	「市内外との連携・交流の推進」に対する市民満足度	※まちづくりアンケート（ウェイト平均の100点換算）	成果	点	目標値			69.1	69.1	69.1
					実績値					
2	新規移住世帯数（年間）	※秋田県移住定住登録をし、横手市に移住・定住に至った世帯	成果	世帯	目標値			20	20	20
					実績値					
					目標値					
					実績値					
					目標値					
					実績値					
					目標値					
					実績値					

5. 施策内事業費の推移

(単位：千円)

		令和 6年度(決算)	令和 7年度(予算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)	令和10年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	0	0	0	0	0
	(b) 県支出金	0	0	22,900	6,900	6,900
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	0	0	0	0	0
	(e) その他特定財源	1,832	2,082	0	0	0
	(f) 一般財源	91,777	100,216	463,746	416,914	423,261
事業費の小計		93,609	102,298	486,646	423,814	430,161

6. 施策の達成状況 (令和 7年度施策評価結果[評価対象：令和 6年度]より)

①成果の分析	<ul style="list-style-type: none"> ・友好都市での物産販売やPRを通じて、友好都市交流を市民レベルで深めている ・留学生のホームステイや日本語教室を通じ、市民に国際交流の機会を提供している ・移住世帯数目標12世帯に対し実績23世帯 ・ふるさと納税寄附金額5億7,856万円 (目標5億5千万円) ・奨学金返還支援により、若者の地元就職のきっかけづくりや経済的不安の低減を図っている ・各地域ふるさと会総会や首都圏横手市ふるさと会交流会の実施により、交流が活発に行われた
②施策の有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・他自治体との連携や交流、国際交流は、市のPRやふるさとに対する誇りの醸成、多文化への理解促進、交流人口の増加に期待できる ・移住定住促進事業は人口の社会減抑制と地域の活性化のために有効である ・奨学金返還支援事業は、若者の経済的不安の軽減を図り、市内定住促進のため有効である ・ふるさと会の活発な活動は、様々な形で関係人口の増加に期待できる
③施策内事業の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでに移住定住促進事業の他、横手市に対する関与と関心が高まる事業の検討が必要である ・若者の市内定住や地元就職の促進のため、奨学金返還事業による経済的不安の軽減が必要である ・地域の活性化のためには、友好都市交流事業や多文化共生事業、ふるさと会支援事業など交流連携事業の展開と継続が必要である
④実施可能な改善内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が自発的に交流できるよう、友好都市交流や国際交流などの交流事業の周知を強化する ・奨学金返還支援制度、移住定住施策各種事業について、成果を検証し効果的な制度とする ・ふるさと納税寄附金額の増加に向け、返礼品の掘り起こしと磨き上げの他、使い道の周知や寄附者へ感謝を伝える取り組みなどを強化

7. 令和 8年度に向けた施策の方向性 (令和 7年度施策評価結果[評価対象：令和 6年度]より)

成果向上			
成果維持		★	
	コスト拡大	コスト維持	コスト縮減

★=目指す方向

方向性の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・人口の社会減抑制と地域の活性化を図るには、移住定住促進事業の他、様々な交流事業やふるさと納税PR事業など、多様な関係人口の創出や関係性を深化させるための事業の継続が不可欠である ・多様化する地域課題の解決と地域の活性化を図るためには、市民、各種団体、企業等との公民連携を推進する必要がある
--------	--

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大＝↑、維持＝→、縮小＝↓、ゼロコスト・休廃止＝×)

No	予算科目・大事業コード				令和 6年度 (決算額)	令和 7年度 (予算額)	令和 8年度 (計画額)	令和 9年度 (計画額)	令和10年度 (計画額)	事業の 方向性		総合 評価点
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源	
	実施計画事業名称											
	担当課名											
1	02	01	07	08	4,678	4,175	580	588	588	→	→	84
	友好都市交流事業											
	秘書広報課				4,523	3,963	580	588	588			
2	02	01	07	11	44,655	49,811	1,896	1,896	1,896	→	→	76
	多文化共生推進事業											
	地域づくり支援課				43,167	48,323	1,896	1,896	1,896			
3	02	01	07	07	33,951	34,354	13,051	13,051	13,051	↑	↑	87
	移住定住促進事業											
	横手の未来とともにつくる課				33,951	34,354	6,151	6,151	6,151			
4	02	01	07	10	5,984	9,599	314,059	357,000	386,000	→	↑	86
	ふるさと納税PR事業											
	横手の未来とともにつくる課				5,795	9,217	314,059	357,000	386,000			
5	02	01	07	09	0	0	8,051	8,146	8,646	→	→	80
	ふるさと会支援事業											
	横手の未来とともにつくる課				0	0	8,051	8,146	8,646			
6	10	01	02	07	0	0	3,718	0	0	→	→	78
	奨学金返還支援事業											
	学校教育課				0	0	3,718	0	0			
7	02	01	07	16	0	0	6,072	6,072	0	-	-	-
	共創推進総務費											
	横手の未来とともにつくる課				0	0	6,072	6,072	0			
8	02	01	07	18	0	0	2,269	2,500	2,500	-	-	-
	共創推進事業											
	横手の未来とともにつくる課				0	0	2,269	2,500	2,500			
9	02	01	03	05	0	0	53,550	34,561	17,480	→	↑	83
	地域おこし協力隊活用事業											
	横手の未来とともにつくる課				0	0	53,550	34,561	17,480			
10	02	01	07	03	0	0	83,400	0	0	↓	↑	74
	若者結婚生活応援事業											
	経営企画課				0	0	67,400	0	0			

第3次横手市総合計画 前期基本計画 施策方針書【政策7】

基本目標

市民から信頼される質の高い行政経営

【政策7】

横手を思い、市の繁栄を実現させる創造的な行政経営を
進めます《行政経営》

令和 8年度 施策方針書

施策	★
実施計画	
中事業	

令和 8年2月策定

施策名	0701	効率的な成果重視の行政経営の推進
------------	------	------------------

施策担当課	総務企画部・経営企画課	
担当課長職・氏名	経営企画課長 大友 孝之	

1. 基本計画の位置付け

基本構想	①将来像	-	時代を受け継ぎ 磨き上げ 凛々しく羽ばたくまち よこて
	②基本目標	-	市民から信頼される質の高い行政経営まちづくり
基本計画	③政策	07	横手を思い、市の繁栄を実現させる創造的な行政経営を進めます
	④施策	0701	効率的な成果重視の行政経営の推進
	⑤目指す将来の姿	-	多様な手法により計画的かつ戦略的に事業が執行され、市民満足度の高い行政経営が行われています。

2. 取り組み方針

総合計画を軸とした行政経営システムの運用により、行政評価結果や客観的なデータに基づく施策展開を推進します。また、限られた経営資源を重点施策に対して優先的に投入するなど、選択と集中による効果的かつ効率的な成果重視の行政運営に取り組みます。

3. 主要事業の取り組み内容

- ・ P D C A サイクルに基づいた行政運営の推進…第3次総合計画の進捗管理の徹底、行政評価の活用
- ・ D X の推進による行政運営の効率化…業務の効率化に向けた A I 等の活用
- ・ 情報セキュリティ対策の推進…セキュリティ意識向上に向けた研修等の実施
- ・ 持続可能な行政サービスの提供…窓口 D X S a S の運用開始

4. 指標の目標と推移

No	指標名 ※下段：指標の取得方法	種別	単位		令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
1	「横手市の取り組み全体」に対する市民満足度	成果	点	目標値			67.9	67.9	67.9
	※まちづくりアンケート（ウェイト平均の100点換算）			実績値					
2	「効率的な成果重視の行政経営」に対する市民満足度	成果	点	目標値			65.2	65.2	65.2
	※まちづくりアンケート（ウェイト平均の100点換算）			実績値					
				目標値					
				実績値					
				目標値					
				実績値					
				目標値					
				実績値					

5. 施策内事業費の推移

(単位：千円)

		令和 6年度(決算)	令和 7年度(予算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)	令和10年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	59,761	40,329	74,035	32,479	32,479
	(b) 県支出金	88,751	141,863	30,800	43,283	95,649
	(c) 地方債	112,200	104,600	92,900	0	0
	(d) 使用料・手数料	26,734	25,851	25,228	23,580	22,855
	(e) その他特定財源	111,301	173,999	126,025	27,597	25,997
	(f) 一般財源	1,287,095	1,575,779	1,616,274	1,686,196	2,062,284
事業費の小計		1,685,842	2,062,421	1,965,262	1,813,135	2,239,264

6. 施策の達成状況 (令和 7年度施策評価結果[評価対象：令和 6年度]より)

①成果の分析	施策全体の満足度や指標の達成状況を目標値として設定しているが、目標達成率が低い傾向にある。指標自体と目標値の設定が適切であるのかも含めて、R8年度からスタートする第3次総合計画の策定にあわせて、検証が必要と考える。
②施策の有効性	各施策の着実な推進を図るためには、効率的で効果的な行政経営を実現することが重要である。そのためには、俯瞰的な位置づけとなる当該施策の推進は不可欠であると考えます。
③施策内事業の妥当性	庁舎管理費や経常的な事務費など、行政経営の基盤となる事業により構成されている。個々の事業の内容や費用対効果については、継続した見直しが必要と考える。
④実施可能な改善内容	当該施策については、経常的な要素が強いため、他の施策との関連性も勘案しながら事業手法や投入コストなど全体的な見直しが継続的に必要である。

7. 令和 8年度に向けた施策の方向性 (令和 7年度施策評価結果[評価対象：令和 6年度]より)

成果向上		★	
成果維持			
	コスト拡大	コスト維持	コスト縮減

★=目指す方向

方向性の理由	行政経営における経常的な事業が多いため、他の施策も含めた全体の中で成果の向上とコストの削減を図る必要がある。庁舎の維持管理費などについては、物価高騰の影響によりコスト増の傾向が続いている。組織全体として、行革の視点も意識しつつ、行政評価の運用や事業のビルド&スクラップ、さらには行政DXなどの推進による業務の効率化など、多様な手法を通じて、行政経営の質の向上を目指すことが重要と考える。
--------	---

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大＝↑、維持＝→、縮小＝↓、ゼロコスト・休廃止＝×)

No	予算科目・大事業コード				令和 6年度 (決算額)	令和 7年度 (予算額)	令和 8年度 (計画額)	令和 9年度 (計画額)	令和10年度 (計画額)	事業の 方向性		総合 評価点
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源	
	実施計画事業名称											
	担当課名											
1	01	01	01	01	216,235	203,169	185,831	191,008	191,008	-	-	-
	議員人件費											
議会事務局					216,235	203,169	185,831	191,008	191,008			
2	01	01	01	03	28,676	43,380	38,165	38,404	38,404	-	-	-
	議会管理費											
議会事務局					28,217	42,900	37,715	38,015	38,015			
3	02	01	01	03	81,819	95,469	108,059	88,278	0	-	-	-
	非常勤職員人件費											
人事課					79,909	93,869	106,459	86,678	0			
4	02	01	01	04	10,190	10,815	11,640	0	0	-	-	-
	一般管理費(人事事務)											
人事課					10,130	10,755	11,580	0	0			
5	02	01	01	05	11,089	12,851	12,837	12,155	12,155	-	-	-
	一般管理費(秘書事務)											
秘書広報課					11,089	12,796	12,837	12,155	12,155			
6	02	01	01	06	9,834	11,655	13,814	11,631	11,631	-	-	-
	一般管理費											
総務課					7,940	8,823	10,992	8,535	8,535			
7	02	01	01	08	22,894	4,892	1,767	318	318	→	↑	87
	行政改革推進事業											
経営企画課					22,894	4,892	1,767	318	318			
8	02	01	01	09	240	2,509	407	338	338	→	→	94
	市制施行記念式典事業											
総務課					240	2,509	407	338	338			
9	02	01	02	01	59,536	73,246	71,217	63,927	63,927	-	-	-
	文書費											
総務課					59,426	73,183	71,160	63,868	63,868			
10	02	01	06	02	266,066	98,680	108,118	354,698	831,698	→	→	94
	庁舎管理費(本庁舎)											
総務課					131,234	77,783	72,712	333,241	810,241			
11	02	01	06	03	15,937	16,763	16,359	17,149	16,763	-	-	-
	庁舎管理費(条里南庁舎)											
横手地域課					15,473	16,345	15,941	16,731	16,345			
12	02	01	06	04	33,705	119,553	85,637	41,700	41,700	→	→	94
	庁舎管理費(条里北庁舎)											
消防本部総務課					32,265	49,548	37,313	40,543	40,543			

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大=↑、維持=→、縮小=↓、ゼロコスト・休廃止=×)

No	予算科目・大事業コード				令和 6年度 (決算額)	令和 7年度 (予算額)	令和 8年度 (計画額)	令和 9年度 (計画額)	令和10年度 (計画額)	事業の 方向性		総合 評価点					
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源		事業費 一般財源	事業費 一般財源	事業費 一般財源	コスト	活動
	実施計画事業名称																
	担当課名																
13	02	01	06	06	18,720	20,352	58,807	20,352	20,352	→	→	—					
	庁舎管理費 (増田庁舎)																
	増田地域課				18,281	20,269	25,929	20,120	20,120								
14	02	01	06	07	13,540	12,732	13,008	12,732	13,403	-	-	—					
	庁舎管理費 (平鹿庁舎)																
	平鹿地域課				13,216	12,439	12,703	12,439	13,110								
15	02	01	06	08	14,482	15,176	15,963	15,000	15,000	-	-	—					
	庁舎管理費 (雄物川庁舎)																
	雄物川地域課				14,434	15,140	15,927	14,964	14,964								
16	02	01	06	09	29,770	31,349	30,494	30,703	30,703	-	-	—					
	庁舎管理費 (大森庁舎)																
	大森地域課				28,934	30,830	29,936	30,703	30,703								
17	02	01	06	10	13,903	15,105	15,295	14,901	14,847	-	-	—					
	庁舎管理費 (十文字庁舎)																
	十文字地域課				13,875	14,621	14,805	14,411	14,357								
18	02	01	06	11	13,510	13,777	14,516	14,516	14,516	-	-	—					
	庁舎管理費 (山内庁舎)																
	山内地域課				13,175	13,380	14,181	14,181	14,181								
19	02	01	06	12	13,202	54,134	77,367	13,135	13,135	-	-	—					
	庁舎管理費 (大雄庁舎)																
	大雄地域課				13,167	18,810	14,285	13,105	13,105								
20					0	0	0	0	0	-	-	—					
	庁舎管理費 (県平鹿振興局 庁舎・農林部)																
	農業振興課				0	0	0	0	0								
21	02	01	06	05	4,751	4,526	4,325	4,418	4,418	-	-	—					
	庁舎管理費 (県平鹿地域振 興局庁舎)																
	建設課				4,751	4,526	4,325	4,418	4,418								
22	02	01	06	98	2,246	2,246	0	0	0	×	×	—					
	庁舎管理費 (水道庁舎)																
	総務課				2,246	2,246	0	0	0								
23	02	01	06	14	64,149	79,389	79,543	67,003	65,382	↓	↓	74					
	公用車管理費																
	財産経営課				64,149	79,389	79,543	67,003	65,382								
24	02	01	07	01	1,049	1,433	1,145	1,432	1,432	-	-	—					
	企画総務費																
	経営企画課				726	1,110	1,026	1,109	1,109								

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大＝↑、維持＝→、縮小＝↓、ゼロコスト・休廃止＝×)

No	予算科目・大事業コード				令和 6年度 (決算額)	令和 7年度 (予算額)	令和 8年度 (計画額)	令和 9年度 (計画額)	令和10年度 (計画額)	事業の 方向性		総合 評価点
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源	
	実施計画事業名称											
	担当課名											
25	02	01	07	02	3,010	7,827	2,123	1,907	1,907	↓	→	91
	総合計画策定事業											
	経営企画課				3,010	7,827	2,123	1,907	1,907			
26	02	01	10	01	2,457	2,989	4,745	3,517	3,517	-	-	-
	情報化総務事務費											
	情報政策課				2,457	2,989	3,845	3,517	3,517			
27	02	01	10	02	304,597	414,684	419,534	275,099	261,055	→	→	87
	情報システム運用管理費											
	情報政策課				211,778	263,770	388,575	275,099	261,055			
28	02	01	10	03	239,993	326,794	363,773	383,603	383,603	-	-	-
	ネットワーク管理費											
	情報政策課				239,993	326,794	361,473	383,603	383,603			
29	02	01	11	01	2,941	3,873	4,303	3,873	3,873	→	→	94
	検査管理事務費											
	契約検査課				2,941	3,873	4,303	3,873	3,873			
30	02	03	01	02	27,338	26,181	22,614	22,614	22,614	-	-	-
	戸籍事務費											
	市民課				0	0	6,783	7,570	8,318			
31	02	03	01	03	26,127	13,044	12,854	12,959	12,959	-	-	-
	住民基本台帳事務費											
	市民課				5,001	6,310	5,523	6,927	7,229			
32	02	03	01	04	685	272	525	272	712	-	-	-
	印鑑事務費											
	市民課				0	0	416	0	0			
33	02	03	01	05	20	20	20	20	20	-	-	-
	自動車臨時運行事務費											
	市民課				0	0	0	0	0			
34	02	03	01	06	49	203	573	573	573	-	-	-
	中長期在留者居住地届出等事務費											
	市民課				0	0	294	306	306			
35	02	03	01	07	2,918	2,874	3,662	2,947	2,947	-	-	-
	旅券事務費											
	市民課				2,069	2,025	2,819	2,164	2,199			
36	02	04	01	03	2,652	3,630	1,068	1,068	1,068	→	→	-
	選挙管理委員会総務費											
	選挙管理委員会事務局				1,414	2,236	1,067	1,067	1,067			

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大=↑、維持=→、縮小=↓、ゼロコスト・休廃止=×)

No	予算科目・大事業コード				令和 6年度 (決算額)	令和 7年度 (予算額)	令和 8年度 (計画額)	令和 9年度 (計画額)	令和10年度 (計画額)	事業の 方向性		総合 評価点
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源	
	実施計画事業名称											
	担当課名											
37	02	06	01	01	3,992	4,164	4,164	4,164	4,164	-	-	-
	非常勤特別職報酬 (監査委員)											
	監査委員事務局				3,992	4,164	4,164	4,164	4,164			
38	02	04	02	01	241	337	317	317	317	→	→	74
	選挙啓発事業											
	選挙管理委員会事務局				241	337	317	317	317			
39	02	04	03	01	0	0	21,933	36,183	0	-	-	-
	秋田県議会議員一般選挙費											
	選挙管理委員会事務局				0	0	0	0	0			
40	02	05	01	01	38	68	68	68	68	-	-	-
	統計総務費											
	総務課				38	68	68	68	68			
41	02	05	02	01	19	25	25	25	25	-	-	-
	学校基本調査費											
	総務課				1	0	0	0	0			
42	02	05	02	02	75	100	100	100	100	-	-	-
	秋田県年齢別人口流動調査費											
	総務課				0	0	0	0	0			
43	02	05	02	03	19	295	6,025	25	25	-	-	-
	経済センサス費											
	総務課				1	0	0	0	0			
44	02	06	01	03	1,114	2,106	2,085	2,179	2,179	-	-	-
	監査委員総務費											
	監査委員事務局				1,114	2,106	2,085	2,179	2,179			
45	02	04	01	01	1,170	1,170	1,170	1,170	1,170	→	→	-
	非常勤特別職報酬 (選挙管理委員)											
	選挙管理委員会事務局				1,170	1,170	1,170	1,170	1,170			
46	02	03	01	08	23,008	25,884	32,152	32,152	32,152	-	-	-
	個人番号カード等交付事務費											
	市民課				0	0	0	0	0			
47	02	04	92	98	0	54,826	0	0	65,791	→	→	-
	参議院議員通常選挙費											
	選挙管理委員会事務局				0	0	0	0	0			
48	02	04	04	01	18,249	37,233	0	0	21,899	→	→	-
	秋田県知事選挙費											
	選挙管理委員会事務局				0	0	0	0	0			

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大=↑、維持=→、縮小=↓、ゼロコスト・休廃止=×)

No	予算科目・大事業コード				令和 6年度 (決算額)	令和 7年度 (予算額)	令和 8年度 (計画額)	令和 9年度 (計画額)	令和10年度 (計画額)	事業の 方向性		総合 評価点
	款	項	目	事業						コスト	活動	
	実施計画事業名称				事業費	事業費	事業費	事業費	事業費			
	担当課名				一般財源	一般財源	一般財源	一般財源	一般財源			
49	02	04	97	98	0	131,544	0	0	0	→	→	—
	横手市長及び市議会議員選挙費 選挙管理委員会事務局											
50	02	05	02	97	0	0	0	3,100	0	-	-	—
	就業構造基本調査費 総務課											
51	02	05	02	98	0	0	0	720	4,710	-	-	—
	住宅・土地統計調査費 総務課											
52	02	03	01	09	9,572	10,013	10,682	10,682	10,682	-	-	—
	証明書等コンビニ交付費 市民課											
53	02	05	02	95	15,621	41	0	0	4	-	-	—
	農林業センサス費 総務課											
54	02	05	02	96	445	45,023	0	0	0	-	-	—
	国勢調査費 総務課											
55	02	01	07	98	0	0	0	0	0	-	-	—
	地方創生臨時交付金事業 経営企画課											
56	02	01	07	13	2,856	4,000	4,000	0	0	↑	↑	83
	ICT活用サービス推進事業 経営企画課											
57	02	05	02	96	2,206	0	0	0	0	-	-	—
	全国家計構造調査費 総務課											
58	02	01	98	98	757,766	0	0	0	0	×	×	93
	定額減税調整給付金給付事業 経営企画課											
59	02	01	10	06	0	0	82,433	0	0	-	-	—
	書かないワンストップ窓口 構築事業 情報政策課											

令和 8年度 施策方針書

施策	★
実施計画	
中事業	

令和 8年2月策定

施策名	0702	健全な財政運営の推進
------------	------	------------

施策担当課	財務部・財政課	
担当課長職・氏名	財政課長 稲川 顕	

1. 基本計画の位置付け

基本構想	①将来像	-	時代を受け継ぎ 磨き上げ 凛々しく羽ばたくまち よこて
	②基本目標	-	市民から信頼される質の高い行政経営まちづくり
基本計画	③政策	07	横手を思い、市の繁栄を実現させる創造的な行政経営を進めます
	④施策	0702	健全な財政運営の推進
	⑤目指す将来の姿	-	経営資源の最適化によるバランスの取れた健全な財政運営が堅持されています。

2. 取り組み方針

限られた財源のなか、市民ニーズの高まりに応じていくため、創意工夫による事業のビルド&スクラップを戦略的に進め、行政サービスの効率化、質の高度化を図ります。
 また、横手市財産経営推進計画に則り、公共施設の適正な再配置や廃止施設の解体を計画的に実施していくことで、将来にわたるコストの平準化を図り、安定的な財政運営を行います。

3. 主要事業の取り組み内容

- ・取組成果や政策効果を反映させた予算編成により、機動的な財政運営を行います。
- ・FM計画に基づく施設の再配置や用途廃止施設の解体を推進します。
- ・市税の適切な課税と税務手続きの電子化の推進、自主納付の促進と滞納処分強化による収納率向上を図ります。
- ・公有財産の適正管理を推進するとともに、多様な取組により積極的に自主財源の確保を図ります。

4. 指標の目標と推移

No	指標名 ※下段：指標の取得方法	種別	単位		令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
1	当初予算における財政調整基金繰入額	成果	億円	目標値			30億円以内	29億円以内	28億円以内
	※当初予算書			実績値					
2	市税収納率	成果	%	目標値			95.4	95.6	95.8
	※一般会計：現年分+滞納繰越分			実績値					
				目標値					
				実績値					
				目標値					
				実績値					
				目標値					
				実績値					

5. 施策内事業費の推移

(単位：千円)

		令和 6年度(決算)	令和 7年度(予算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)	令和10年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	455,268	381,000	0	0	0
	(b) 県支出金	21,555	0	17,385	46,398	42,753
	(c) 地方債	954,400	889,800	227,700	123,800	271,300
	(d) 使用料・手数料	2,969	2,605	2,639	2,678	170
	(e) その他特定財源	174,869	218,832	372,969	164,490	188,975
	(f) 一般財源	9,678,147	8,057,054	8,161,420	8,103,587	7,996,699
事業費の小計		11,287,208	9,549,291	8,782,113	8,440,953	8,499,897

6. 施策の達成状況 (令和 7年度施策評価結果[評価対象：令和 6年度]より)

①成果の分析	<ul style="list-style-type: none"> ・横手市財産経営推進計画において、再配置方針が「譲渡」等とされている施設を対象に、FM推進小会議を開催。指定管理者との譲渡に向けた協議結果等をローリングに反映させた。 ・将来負担比率、実質公債費比率ともに安全圏にある。市債残高としては令和6年度をピークに減少を見込むが、大型の建設事業実施に伴い各年度の元金償還額は高い水準で推移し、また、充当可能基金残高の減少も見込まれることから、各指標の変化に留意しつつ財政運営していく必要がある。
②施策の有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の適正な維持管理に努めるとともに、施設の長寿命化に向けた有利な財源の確保、公共施設の有効活用による自主財源の確保、市民サービスの安定的供給のための有利な財源の確保や独自財源の確保に知恵を絞る必要がある。 その取り組みの一つとして、令和6年度開館のAo-naにおいてネーミングライツを導入し、令和7年度においても市内6施設のネーミングライツパートナーを募集しているところである。
③施策内事業の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・税をはじめとする基本的な歳入の確保、標準財政規模に見合う適正かつ効率的な財政運営、基金の効果的な活用、財産経営推進計画の推進などについては、今後も継続した取り組みが求められ、本施策内事業実施の妥当性、重要性は高いものとする。
④実施可能な改善内容	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の在り方、適正配置について協議を行い、施設保有量の最適化に向けた取り組みを継続する。 ・一般財源の減少を前提とした事業のビルド&スクラップの取り組みを強化する。 ・自主財源の確保に対する取り組みを推進し、財政基盤の強化につなげる。

7. 令和 8年度に向けた施策の方向性 (令和 7年度施策評価結果[評価対象：令和 6年度]より)

成果向上		★	
成果維持			
	コスト拡大	コスト維持	コスト縮減

★=目指す方向

方向性の理由	<ul style="list-style-type: none"> ・人件費の増加や、物価・資材・光熱費の高止まりの状況が続き、経常経費が増加傾向にあるなか、市民サービスの向上に資する効果的な事業展開のためには、限りある経営資源を適切に配分し財政運営していくことが重要である。 既存の事務事業に係るコストを可能な限り圧縮すること、ビルド&スクラップ意識の徹底、事業実施にあたっての有利な財源の確保、自主財源の確保に関する取組を継続することで、持続可能な財政運営を推進していく。
--------	---

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大＝↑、維持＝→、縮小＝↓、ゼロコスト・休廃止＝×)

No	予算科目・大事業コード				令和 6年度 (決算額)	令和 7年度 (予算額)	令和 8年度 (計画額)	令和 9年度 (計画額)	令和10年度 (計画額)	事業の 方向性		総合 評価点
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源	
	実施計画事業名称											
	担当課名											
1	02	01	04	01	4,135	4,709	4,859	4,859	4,859	-	-	-
	財政管理費											
2	02	01	06	01	95,193	89,920	86,504	77,945	76,966	→	→	80
	財産管理費											
3	02	01	06	13	9,349	8,742	8,620	8,518	8,518	-	-	-
	公共用地借上費											
4	02	01	05	01	16,564	33,497	31,625	34,636	34,636	-	-	-
	会計管理費											
5	02	02	01	02	27,549	35,009	37,947	34,598	0	→	→	94
	税務事務費											
6	02	02	02	01	92,826	104,839	124,119	73,701	0	→	→	94
	賦課事務費											
7	02	02	02	02	19,429	24,210	30,432	24,888	25,037	→	→	97
	徴収事務費											
8	02	02	03	01	40,135	15,209	39,887	68,680	63,820	→	→	91
	地籍調査事業											
9	12	01	01	01	6,857,874	7,065,362	7,301,607	7,301,607	7,301,607	-	-	-
	公債償還元金											
10	12	01	02	01	226,483	309,956	571,320	571,320	571,320	-	-	-
	公債償還利子											
11	12	01	02	02	371	2,208	3,605	5,000	5,000	-	-	-
	一時借入金利子											
12	12	01	03	01	0	1	1	1	1	-	-	-
	公債諸費											

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大＝↑、維持＝→、縮小＝↓、ゼロコスト・休廃止＝×)

No	予算科目・大事業コード				令和 6年度 (決算額)	令和 7年度 (予算額)	令和 8年度 (計画額)	令和 9年度 (計画額)	令和10年度 (計画額)	事業の 方向性		総合 評価点					
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源		事業費 一般財源	事業費 一般財源	事業費 一般財源	コスト	活動
	実施計画事業名称																
	担当課名																
13	13	01	01	01	1,671,922	13,706	16,607	16,350	16,350	-	-	-					
	財政調整基金積立金																
	財政課				1,659,526	0	0	0	0								
14	13	01	02	01	171,139	5,892	9,239	8,232	8,232	-	-	-					
	減債基金積立金																
	財政課				166,236	0	0	0	0								
15	13	01	03	01	65	83	136	132	132	-	-	-					
	ふるさと水と土保全基金積立金																
	財政課				0	0	0	0	0								
16	13	01	03	02	9	17	33	15	15	→	→	-					
	子牛導入貸付事業基金積立金																
	農業振興課				0	0	0	0	0								
17	13	01	03	03	99	126	206	201	201	-	-	-					
	ふるさと振興基金積立金																
	財政課				0	0	0	0	0								
18	13	01	03	04	2,712	3,380	5,645	5,022	5,022	-	-	-					
	振興基金積立金																
	財政課				0	0	0	0	0								
19	13	01	03	05	19,588	661	610	596	596	-	-	-					
	ふるさと応援基金積立金																
	財政課				19,117	0	0	0	0								
20	13	01	03	06	2	3	5	3	3	-	-	-					
	農業災害復旧事業基金積立金																
	農業振興課				0	0	0	0	0								
21	14	01	01	01	0	50,000	50,000	50,000	50,000	-	-	-					
	予備費																
	財政課				0	50,000	50,000	50,000	50,000								
22	02	01	06	15	592,503	539,072	428,494	139,420	311,553	↑	↑	84					
	財産経営推進計画実施事業																
	財産経営課				312,903	211,372	5,043	420	420								
23	13	01	03	07	246,973	2,628	4,130	4,038	4,038	-	-	-					
	公共施設等総合管理推進基金積立金																
	財政課				244,651	0	0	0	0								
24	13	01	03	08	0	0	32	10,694	11,494	-	-	-					
	森林環境基金積立金																
	農林整備課				0	0	0	10,694	11,494								

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大=↑、維持=→、縮小=↓、ゼロコスト・休廃止=×)

No	予算科目・大事業コード				令和 6年度 (決算額)	令和 7年度 (予算額)	令和 8年度 (計画額)	令和 9年度 (計画額)	令和10年度 (計画額)	事業の方向性		総合 評価点					
	款	項	目	事業						事業費 一般財源	事業費 一般財源		事業費 一般財源	事業費 一般財源	事業費 一般財源	コスト	活動
	実施計画事業名称																
	担当課名																
25	02	01	07	12	1,191,998	1,039,765	25,953	0	0	↓	→	90					
	大型公共施設整備事業																
	地域創造戦略室				56,859	42,487	953	0	0								
26	13	01	03	98	290	200	0	0	0	-	-	-					
	中小企業経営安定基金積立金																
	商工労働課				0	0	0	0	0								
27	xx	xx	xx	98	0	0	0	0	0	-	-	-					
	横手駅東口新公益施設整備事業																
	教育総務課				0	0	0	0	0								
28	13	01	03	09	0	200,096	497	497	497	-	-	-					
	横手市民会館施設整備基金積立金																
	財政課				0	200,000	0	0	0								

令和 8年度 施策方針書

施策	★
実施計画	
中事業	

令和 8年2月策定

施策名	0703	人材育成と人材活用による組織力の向上
------------	------	--------------------

施策担当課	総務企画部・人事課	
担当課長職・氏名	人事課長 小松田 義博	

1. 基本計画の位置付け

基本構想	①将来像	-	時代を受け継ぎ 磨き上げ 凛々しく羽ばたくまち よこて
	②基本目標	-	市民から信頼される質の高い行政経営まちづくり
基本計画	③政策	07	横手を思い、市の繁栄を実現させる創造的な行政経営を進めます
	④施策	0703	人材育成と人材活用による組織力の向上
	⑤目指す将来の姿	-	変化する社会環境や市民ニーズに柔軟に対応しながら、多様な視点と連携のもと、職員的能力を最大限に発揮できる組織となっています。

2. 取り組み方針

各種人事制度や職員研修を効果的に展開し、職員一人ひとりの能力と意欲の向上を図るとともに、組織目標の共有や職場内におけるコミュニケーションの活発化、働きやすい環境づくりを進め、組織力の向上につなげます。

3. 主要事業の取り組み内容

- ・人材育成の強化…学びの成果を庁内で共有できる仕組みづくり、教育体系の充実、60歳を超えて働き続ける職員の知識・技術・経験の継承
- ・人員配置の最適化…定員適正化計画に基づいた適正な人員配置、組織機構の整理再編や外部委託の活用などによる効率的かつ持続可能な組織運営、新規採用職員の確保に向けた市役所業務の魅力・やりがいの積極的な発信
- ・多様で柔軟な働き方の推進と安全な職場づくり…ライフステージに応じて最適な働き方を選べる仕組みづくり、誰もが安心してキャリアを継続できる環境づくり、健やかに働き続けられる職場環境づくり

4. 指標の目標と推移

No	指標名 ※下段：指標の取得方法	種別	単位		令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度
1	「市職員の資質向上に関する取り組み」に対する市民満足度	成果	点	目標値			63.6	63.6	63.6
	※まちづくりアンケート（ウェイト平均の100点換算）			実績値					
2	女性の管理職級昇任昇格試験の受験率	成果	%	目標値			40	40	40
	※業務取得（対象者に占める受験者の割合）			実績値					
3	研修受講者数（年間）	成果	人	目標値			650	650	650
	※職員研修受講者数			実績値					
				目標値					
				実績値					
				目標値					
				実績値					
				目標値					
				実績値					

5. 施策内事業費の推移

(単位：千円)

		令和 6年度(決算)	令和 7年度(予算)	令和 8年度(計画)	令和 9年度(計画)	令和10年度(計画)
事業費	(a) 国庫支出金	206,748	56,780	54,693	53,524	53,524
	(b) 県支出金	143,142	159,230	161,117	161,095	161,095
	(c) 地方債	0	0	0	0	0
	(d) 使用料・手数料	2,055	49,238	48,679	252	252
	(e) その他特定財源	26,394	61,320	59,928	51,280	51,055
	(f) 一般財源	7,416,838	7,790,411	8,058,582	7,788,679	7,785,200
事業費の小計		7,795,177	8,116,979	8,382,999	8,054,830	8,051,126

6. 施策の達成状況 (令和 7年度施策評価結果[評価対象：令和 6年度]より)

①成果の分析	「職員の資質向上に関する取組」に対する市民満足度は、毎年度低い傾向にある。本施策の成果にゴールはなく、時宜に即した効果的な研修を展開しながら職員一人ひとりの成長を促し、組織力の向上につなげていく必要がある。
②施策の有効性	職員は、山積する諸課題に対峙し、時代に即した行政サービスを提供し続けるための重要なリソースであり、人材育成や能力開発を進めるための施策として永続的に取り組むべきである。
③施策内事業の妥当性	職員研修については不断の見直しを行ないながら継続し、内容を充実させていく必要がある。また、女性活躍や多様な働き方の推進、働きやすい職場環境の整備、職員の心身の健康管理にも重点的に取り組む必要がある。
④実施可能な改善内容	研修キャリアパス制度の導入や管理職へのチャレンジ促進、不祥事の発生防止に向け、より効果的な取り組みを検討する必要がある。

7. 令和 8年度に向けた施策の方向性 (令和 7年度施策評価結果[評価対象：令和 6年度]より)

成果向上		★	
成果維持			
	コスト拡大	コスト維持	コスト縮減

★=目指す方向

方向性の理由	限られた経営資源のなか、より効果的・効率的な行政運営を進めていくためには、職員一人ひとりが心身ともに健康で、かつ、その資質向上を通じた組織能力の向上が必須である。 人材育成に関するコストは維持しながら、成果向上を追求し続ける必要がある。
--------	---

8. 施策内事業一覧 (単位：千円) (方向性：拡大=↑、維持=→、縮小=↓、ゼロコスト・休廃止=×)

No	予算科目・大事業コード				令和 6年度 (決算額)	令和 7年度 (予算額)	令和 8年度 (計画額)	令和 9年度 (計画額)	令和10年度 (計画額)	事業の 方向性		総合 評価点
	款	項	目	事業						事業費	事業費	
	実施計画事業名称				一般財源	一般財源	一般財源	一般財源	一般財源			
	担当課名				一般財源	一般財源	一般財源	一般財源	一般財源			
1	01	01	01	02	7,689,480	8,008,718	8,277,462	7,947,822	7,947,822	-	-	-
	人件費											
	人事課				7,311,141	7,682,375	7,953,045	7,681,896	7,681,896			
2	02	01	01	01	61,310	61,402	61,353	61,379	61,379	-	-	-
	特別職人件費 (三役等)											
	人事課				61,310	61,402	61,353	61,379	61,379			
3	02	01	01	07	29,745	31,740	2,884	3,704	0	→	→	80
	職員研修事業											
	人事課				29,745	31,515	2,884	3,479	0			
4	02	01	12	02	298	695	566	535	535	-	-	-
	公平委員会総務費											
	監査委員事務局				298	695	566	535	535			
5	02	01	12	01	230	230	230	230	230	-	-	-
	非常勤特別職報酬 (公平委員)											
	監査委員事務局				230	230	230	230	230			
6	10	01	02	01	14,114	14,194	14,180	14,160	14,160	-	-	-
	特別職人件費 (教育長)											
	人事課				14,114	14,194	14,180	14,160	14,160			
7	02	01	01	10	0	0	26,324	27,000	27,000	-	-	-
	厚生費											
	人事課				0	0	26,324	27,000	27,000			